令和7年度 SYLLABUS 講義要項

子ども学科

山村学園短期大学

# 子ども学科 SYLLABUS もくじ

頁 科目名	担当教員名	頁 科目名	担当教員名	頁 科目名	担当教員名
【教養科目】		27 保育内容健康	伊藤/杉山	【教職に関する科目】	
1 日本国憲法	中川翔	28 保育内容人間関係	室井	53 教育方法•技術論	髙後/橋本
2 体育講義	佐藤	29 保育内容環境	野口/髙後	54 保育・教職実践演習(幼稚園) *	: 橋本/髙後/酒井
3 体育実技	佐藤	30 保育内容言葉	相沢	55 ICT教育の理論と方法	巣立/新井
4 保育英会話	Tod	31 保育内容表現	福泉/伊藤/酒井	【保育者の資質を高める科目】	
5 生命倫理	渡邊	32 音楽 I	福泉/数野/福士	56 子ども学演習I *	橋本/伊藤
6 コンピュータ演習	新井	33 音楽Ⅱ	福泉/数野/大導寺	57 子ども学演習Ⅱ *	橋本/伊藤
7 キャリアアップセミナー I *	橋本/伊藤		中川悠/福士/町田	58 子ども学ゼミナール I *	野口/相沢/髙後/酒井/橋本
8 キャリアアップセミナーⅡ *	橋本/伊藤	34 図画工作	酒井		室井
9 キャリアアップセミナーⅢ *	室井/巣立/酒井/福泉	35 幼児体育	伊藤	59 子ども学ゼミナールⅡ *	山村/伊藤/宇田川/巣立/福泉
10 キャリアアップセミナーⅣ *	室井/巣立/酒井/福泉	36 乳児保育 I	巣立	60 乳児小児救命法	髙後/マスターワークス
11 保育入門	山村/専任教員	37 乳児保育 Ⅱ	山田	61 アウトドア演習A	去田
【保育の本質・目的に関する科目	]	38 子どもの健康と安全	田中	62 アウトドア演習B	堀口/山村
12 保育原理 *	室井	39 インクルーシブ教育・保育 Ⅱ	宇田川	63 ソーイング演習	成田
13 教育原理 *	宇田川/髙後	40 社会的養護Ⅱ	巣立	64 ナチュラルアート	酒井
14 子ども家庭福祉	橋本	41 保育・教育相談の理論と方法	室井/原田	65 ダンスムーブメント	伊藤
15 社会福祉	橋本	42 保育内容健康の指導法	伊藤/杉山	【実習科目】	
16 子ども家庭支援論	巣立	43 保育内容人間関係の指導法	室井	66 実習指導 I *	室井/相沢/宇田川/巣立/橋本
17 社会的養護 I	巣立	44 保育内容環境の指導法	野口/髙後	67 実習指導Ⅱ *	室井/相沢/宇田川/巣立/橋本
18 保育•教職論	野口	45 保育内容言葉の指導法	相沢	68 実習指導Ⅲ *	室井/相沢/宇田川/巣立/橋本
19 インクルーシブ教育・保育 I	宇田川	46 保育内容表現の指導法	福泉/伊藤/酒井	69 保育実習 I *	室井
【保育の対象の理解に関する科	目】	47 子ども文化演習A	大島	70 施設実習 I *	宇田川
20 保育の心理学 *	山村/巣立	48 子ども文化演習B	福泉/伊藤/酒井	71 教育実習 [ *	巣立
21 子ども家庭支援の心理学	原田	49 ピアノ I	福泉/数野/大導寺/中川悠	72 保育実習Ⅱ *	橋本
22 子どもの理解と援助	半田/原田		福士/町田/宮尾	73 施設実習Ⅱ *	宇田川
23 子どもの保健	田中	50 ピアノⅡ	福泉/数野/大導寺/中川悠	74 教育実習Ⅱ *	相沢
24 子どもの食と栄養	田中		福士/町田/宮尾	【その他】	
【保育の内容・方法に関する科目		51 SDGsと教育・保育	野口/髙後	75 カリキュラムツリー	
25 保育•教育課程論	髙後	52 ダイバーシディと教育・保育	宇田川/橋本/室井	76 実務教員科目一覧・略歴 *	· 実務教員科目
26 保育内容総論 *	相沢				

授業科目名		日本国憲法		教員名		中川 翔伍				
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義			
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇幼稚園教諭2科	〇幼稚園教諭2種免許状必修[66条の6] ナンバリング 2D101								
授業内容を示す キーワード	憲法、自由、人権	憲法、自由、人権、民主主義、公共の福祉、三権分立、地方自治								
授業の概要	皆さんの誰しもが 憲法はとっつきに ニュースや新聞に	私たちは数多くの法が張り巡らされた社会に生きています。目に見えないので意識しにくいとは思いますが、皆さんの誰しもが法律と共に生活しています。そして、全ての法律の基本となっているのが憲法です。憲法はとっつきにくいというのが正直なところだと思います。しかし、本講義を受講した後、きっと皆さんはニュースや新聞に書いてあることの意味がわかるようになるでしょう。それは皆さんが見ている世界を広げたということです。皆さんが豊かな教養を持った素敵な先生になることを祈念して、できる限りわかりやすく憲法をお伝えします。								
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】	憲法理念や国家の成り立ち等の基礎的な教養を習得し、人権感覚を芽生えさせる。								
授業の方法等	授業と小テスト(質時に解説します。	第2講より開始)を軸 小テストの返却も2	の授業及び自主学院 まにします。その日間 次回の講義の冒頭 適宜ソクラテスメソ	学んだこと で行います	をその日に小		次回講義開始			
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記 ■提出物 9% ■その他〔小テス									
DPに掲げる学力の割合	DP1:4	0% DP2:10% [	DP3:10% DP4:	10% DP	5:20% DP	6:10% 〔合計	100%]			
教 科 書	「保育者のための 高乗 正臣 成		ISBN:978-479230	6571]						
参考書	適宜、資料を配付	します。								
関連科目	社会福祉、子ども	家庭福祉								
質問受付の 方 法	授業後直接又は. す。	受業後直接又はメール(shogonakagawa2000@gmail.com、nakagawa@maru-soleil.jpいずれも可)で受け付けます。								
履修上の注意	授業に関心が持っの範疇にとどめて		思いますが、周りに	迷惑をかり	ナる行為一切	「 「を禁じます。 最何	低でも自己責任			

受業計画		自己紹介、ガイダンス、憲法総論
٤	1	〈予習〉テキストの目次や気になるところを読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
時間外学習		立憲民主政と改憲論(問題状況の把握にとどめる)、天皇制
	2	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		子どもの人権、外国人の人権、公共の福祉(制約)、労働基本権
	3	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		平等権、幸福追求権等各権利
	4	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		精神的自由権① 思想・良心の自由、信教の自由、政教分離、学問の自由
	5	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	6	【オンデマンド(遠隔等)】精神的自由権② 表現の自由(1)(表現内容規制と内容中立規制、知る権利、検閲)
	6	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		【オンデマンド(遠隔等)】精神的自由権③ 表現の自由(2)(結社、集会、通信)
	7	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		【オンデマンド(遠隔等)】経済的自由権① 職業選択の自由、営業の自由
	8	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		経済的自由権② 財産権、正当補償
	9	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		人身・居住移転の自由、刑事手続上の権利
	10	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		社会権① 生存権、教育を受ける権利
	11	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		社会権② 勤労権、参政権、その他社会権
	12	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		三権分立、国会、内閣
	13	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
		裁判所と司法審査制
	14	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
	15	地方自治
	15	〈予習〉テキストの該当項目を読む 90分 〈復習〉当日の授業のレジュメを読む 90分
定期試験		:期試験[筆記]60分 もり返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分

授業科目名		体育講義 教員名 佐藤 志穂								
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	講義			
卒業・免許・資格 と の 関 係			条の6〕			ナンバリング	2D102			
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	体育、スポーツ、イ	体育、スポーツ、健康								
授業の概要	を目指します。運	人の身体活動に関する基礎的な理論、スポーツ、運動、健康づくりの実践や指導に関する基礎的知識の習得を目指します。運動技能を身につける(学習する)プロセスに加え、社会のなかで、スポーツが文化としてどのように捉えられているのか、また、生と性に関することも含め、スポーツ・健康に関する幅広い知識を習得します。								
	心事のひとつとな	っています。本講	軍や健康志向の高 養では、人間の身々 習得をねらいとします	の基本的						
授業のねらいと 到 達 目 標	(1)体育、スポー (2)生活の中で、	上記の事柄の実践	関する基礎的な理証 長や指導に関する基 弋社会における諸問	礎的な知	識を身につけ	けることができる				
授業の方法等	その内容を元に、						います。			
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記 ■その他〔レポー ■授業への取り約	トの提出・プレゼン	ッテーション 〕30%							
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:10	)% DP2:30% [	DP3:10% DP4:	10% DP5	5:10% DP	6:30% 〔合計	<del>[</del> 100%]			
教科書	使用しません。必	要に応じてプリント	を配付します。							
参考書	適宜、資料を配付	します。								
関連科目	体育実技、幼児体	本育、保育内容健康	ŧ							
質問受付の方 法	授業の前後に、教	文室内または講師担	空室にて、いつでも	受け付けま	す。					
履修上の注意	にしましょう。 やむ い。 欠席、遅刻の	を得ず授業を欠席場合は、どのような	・込みます。 資料は でする場合は、資料 は場合でも理由を報うに、積極的な態度	・課題の把 告してくだ	握、授業内? さい。質問は	容を確認するよ t、いつでも受け	うにしてくださ			

授業計画	1	オリエンテーション(授業内容、評価の方法の説明)、 体育とスポーツ-スポーツとは何か-、体について知る1 〈予習〉シラバスを読む、スポーツについて、身体の構造について調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
時間外学習		体について知る2 性と生
	2	〈予習〉性と生について調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
		体について知る3 現代の健康問題
	3	〈予習〉健康問題について調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
		コンディショニング、飲酒・喫煙・薬物
	4	〈予習〉栄養、休養、運動の関わりについて、飲酒、喫煙、薬物について調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
		病気と怪我
	5	〈予習〉運動に関する病気や怪我について調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
		スポーツの歴史1 古代ギリシャ・古代ローマ
	6	〈予習〉配付資料を読み、古代ギリシャ・古代ローマの中で関心がある事柄を調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
		スポーツの歴史2 中世・近代
	7	〈予習〉配付資料を読み、中世・近代の中で関心がある事柄を調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
		現代社会とスポーツ
	8	〈予習〉配付資料を読み、関心がある事柄を調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
		スポーツ文化1 文化とは何か、スポーツ文化の内容
	9	〈予習〉配付資料を読み、関心がある事柄を調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
		スポーツ文化2 スポーツマンシップとフェアプレイ、スポーツとジェンダー
	10	〈予習〉配付資料を読み、関心がある事柄を調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
		スポーツ文化3 スポーツとジェンダー、スポーツと産業
	11	〈予習〉配付資料を読み、関心がある事柄を調べる 45分 〈復習〉配付資料等をまとめる 45分
		まとめ、グループプレゼンテーション
	12	〈予習〉これまでの配付資料等をまとめる 45分 〈復習〉配布資料等をまとめる 45分
定期試験		] 型期試験[筆記]60分 長り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分

授業科目名		体育実技 教員名 佐藤 志穂							
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	実技		
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必 〇幼稚園教諭2種	○保育士資格必修[体育] ○幼稚園教諭2種免許状必修[66条の6] ナンバリング 2D103							
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	スポーツ、体育、	スポーツ、体育、運動							
授業の概要			曽進には、身体を動 を通して心身の健						
		【ねらい】 健全な発育や心身の健康の維持・増進には、身体を動かすことが重要な役割を果たします。本授業では、スポーツを教材にし、身体活動の実践を通して心身の健康について理解することを目指します。							
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】 (1)スポーツ種目や運動の実践を通して、身体の構造や機能を理解し、心身の健康を維持し、その増進を図ることができる。 (2)他者との協働を行う中で、コミュニケーション能力を培うことができる。								
授業の方法等			90分12回(合計48時 を理解するための時			ゲームを行う。			
成績評価の基準と方法	■定期試験〔実技 ■その他〔提出物 ■授業への取り約	力〕10%							
D Pに掲げる 学 カ の 割 合	DP1:10	0% DP2:20% [	DP3:10% DP4:	20% DP5	5:10% DP	6:30% 〔合計	†100%]		
教 科 書	なし(適宜資料を	配付)							
参考書	なし(適宜資料を	配付)							
関連科目	体育講義、幼児体	「育、ダンスムーブ	メント						
質問受付の方 法	授業の前後に、体	<b>「育館または講師技</b>	空室にて、いつでも	受け付けま					
履修上の注意	<ul><li>・授業の中では安</li><li>・運動に適した服</li><li>ものを持参しまし</li></ul>	全を守ることに対し 装(ジャージなど)、	場合でも理由を報告 して十分に注意した 運動靴を必ず用意 加を期待します。	がら行って	くべださい。	ーツを楽しむ上 <sup>・</sup>	で必要な		

受 業 計 画		オリエンテーション、からだほぐしの運動1
٤	1	〈予習〉シラバスを読む 呼吸法・体のほぐし方について調べる 45分 〈復習〉これから行うスポーツ種目について調べる 45分
持間 外 学 習		からだほぐしの運動2
	2	〈予習〉ストレッチなどについて調べる 45分 〈復習〉授業内で行った運動を実践する 45分
		卓球1 ラケットに慣れる
	3	〈予習〉卓球について調べる 45分 〈復習〉卓球のゲームを調べる 45分
		卓球2 シングルスのゲーム
	4	〈予習〉シングルスのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
		卓球3 ダブルスのゲーム
	5	〈予習〉ダブルスのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
		卓球4 団体戦
	6	〈予習〉団体戦について調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	_	バレーボール1 ボールに慣れる、パス練習
	7	〈予習〉バレーボールについて調べる 45分 〈復習〉バレーボールのゲームについて調べる 45分
		バレーボール2 サーブ練習、ゲームを行う
	8	〈予習〉バレーボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
		バレーボール3 ゲームを行う
	9	〈予習〉バレーボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	10	バレーボール4 チームの連係、ゲームを行う
	10	〈予習〉バレーボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	11	バスケットボール1 パス、ドリブル、シュート
	11	〈予習〉バスケットボールについて調べる 45分 〈復習〉バスケットボールのゲームについて調べる 45分
	10	バスケットボール2 3×3のゲーム
	12	〈予習〉3×3でのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	10	バスケットボール3 オールコートでのゲーム
	13	〈予習〉バスケットボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	1.4	バスケットボール4 攻撃と守備の連係、ゲームを行う
	14	〈予習〉バスケットボールのゲームについて調べる 45分 〈復習〉ゲームを振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
	15	バスケットボール5 様々なシュート、ゲームを行う
	15	〈予習〉バスケットボールについて調べる 45分 〈復習〉授業を振り返り、自分の課題を見つめ直す 45分
三期 試験		:期試験〔実技 〕80分 い返り・フィードバック〔実技試験の講評を行う〕10分

授	業和	単 目	名	保育英会話 <b>教員名</b> Tod Spence-Perkins									
配	当	年	次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習			
	♥·免 の			〇幼稚園教諭2科	重免許状必修〔66	条の6〕			ナンバリング	2D104			
	<b>集内</b> 和			保育所·幼稚園·	保育所・幼稚園・認定こども園 英会話								
授	<b>業</b> 0	の概	要	保育所や幼稚園、認定こども園等で使うであろう英語や日常英会話の学習をします。									
				【ねらい】 教科書に沿ってP	内容を理解し、よく値	吏う表現を反復練習	して役割を	と決めて使い	い慣れるようにす	<b>ప</b> .			
	業の: 達				、認定こども園等に こ、少しでも対応でも	- 海外にルーツを持 きるようにする。	つ子どもや	親がいて、	日本語を母国語	としていない場			
授:	業の	方法	去等			書に沿って授業を進 ブループでのディス			参してください。				
成基	積言準と	呼価と方	i の 法	■定期試験〔筆記 ■授業への取りが ■提出物 20% ■その他[小テス	祖み・態度 10%								
	Pに カ 0			DP1:1	0% DP2:10% [	DP3:50% DP4:	10% DP5	5:10% DP	6:10% 〔合計	†100%]			
教	看	<b>a</b>	#	「保育の英会話」	(ISBN:978-48934	70775〕赤松直子、	久富陽子	著 萌文書	<b>*</b>				
<b>参</b>	7	与	#	適宜紹介、資料を	を配付します。								
関	連	科	目	保育実習 I・II 、	教育実習Ⅰ・Ⅱ								
賞方	問多	受 付	あ法	授業時間中に質	受業時間中に質問を受け付けます。								
履化	修上	の治	主意	授業中に寝る・周します。	ーーーー りに迷惑になるよ <sup>っ</sup>	うな私語は授業の妨	 方げとなるえ	為、【授業へ	の取り組み・態度	麦】を厳格に評価			

授業計画		テキストに沿って進めます。第1回は「お名前を教えて下さい」というテーマで挨拶の学習 
٤	1	〈予習〉Unit1を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉授業の内容を忘れる前に反復練習。100分
時間外学習		「園にようこそ!」というテーマで挨拶の学習
	2	〈予習〉Unit2を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉ミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		時間と数
	3	〈予習〉Unit3を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉前回のミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		地図と道案内
	4	〈予習〉Unit4を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		クラスメイトとの出会い
	5	〈予習〉Unit5を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		送り迎え
	6	〈予習〉Unit6を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		保育所・幼稚園での仕事
	7	〈予習〉Unit7を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		食事に関する表現
	8	〈予習〉Unit8を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		生活習慣の表現
	9	〈予習〉Unit9を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		子ども同士の交流の表現
	10	〈予習〉Unit10を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		怪我と病気
	11	〈予習〉Unit11を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		電話での対応
	12	〈予習〉Unit12を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		遠足
	13	〈予習〉Unit13を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		赤ちゃんのケア
	14	〈予習〉Unit14を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
		卒園
	15	〈予習〉Unit15を読んで分からない単語は辞書で調べる。80分 〈復習〉今までのミニテストと授業の内容を声に出して身に付くまで反復練習。100分
定期試験		E期試験[ 筆記 ] 60分 もり返り・フィードバック[ 定期試験の解説を行う ] 30分

授業科目名		生命倫理		教員名		渡邊 智寛	;			
配当年次	1.2	開講時期	後期	単位数	1 授業形態 講義					
卒業・免許・資格 と の 関 係						ナンバリング	3D105			
		職業専門家と社会、生命の尊厳・生命の質、リプロダクティブライツ、生殖補助医療、子どもの自己決定、脳 死・臓器移植、安楽死・尊厳死								
授業の概要	な背景をもってい わり方といった問	生命が関わる倫理的問題の検討を通して、そこではどんな考え方が衝突しているのか、それらの考えがどんな背景をもっているのかを学びます。私たちにとって常に身近である生命の取り扱い、生命の価値、生命の終わり方といった問題を、自分の問題として深く考えます。社会に散見されるこれらの問題は、多くの場合きわめて重要でありながら、しかし同時に、容易に解決することが困難でもあることを、深く理解します。								
	に陥ることなく、自	1ら思考し判断する	た現代社会では、高 実践力が欠かせま 「。他人の意見を理	せん。専門	引的な知識を	獲得したうえで				
授業のねらいと 到 達 目 標	(1) 生命倫理的諸 (2) 各学説の意味 (3) 各問題に対し	と目的を理解する 自分の意見を形成								
授業の方法等	講義を中心に授う ICT(EduNavi)を活 また、アクティブラ	舌用した双方向型( ラーニングの手法を	います。 です。一部、授業内で の授業および自主等 取り入れ、「ディスン に合わせて適宜変	空習支援を カッション」	行います。 「グループワ		で行うことを計画			
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記 ■授業内課題〔リ	記〕60% アクションペーパ-	−、確認テスト等〕4	0%						
D Pに掲げる 学 カ の 割 合	DP1:0	0% DP2:30%	DP3:40% DP4:0	)% DP5	:10% DP6	:20% 〔合計	100%]			
教科書	なし(適宜資料を	配付します)								
参考書	適宜、資料を指示	・紹介します。								
関連科目										
		講義前後の時間帯に、教室及び講師控室にて。 たたは、メールにて。[ bioethics.mn@gmail.com ]								
履修上の注意		客に関連するテレヒ 話し合うことなども	ご・新聞・インターネ・ ・強く薦めます。	ット等の情	報になるべく	多く接するよう。	)掛けてくださ			

授業計画		導入: 倫理学とはなにか ―倫理と道徳、倫理と社会
ا الله	1	〈予習〉シラバス「キーワード」から3つ選択し、ネット情報を活用しその内容を簡単に把握する 90分 〈復習〉授業内容の整理・確認 90分
時間外学習		生命倫理学とはなにか ―生命倫理的諸問題、専門職と社会
	2	〈予習〉初回授業で示されたテーマから3つ選択し、ネット情報を活用しその内容を簡単に把握する 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
		人工妊娠中絶① —日本の現状、歴史的経緯、国際比較、関係法規
	3	〈予習〉日本における中絶の歴史的経緯や現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
		人工妊娠中絶② ―生存権と選択権、優生思想と新優生思想、生殖と社会
	4	〈予習〉中絶に関わる諸権利と優生思想の概要の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
		生殖補助医療① ―人工授精、体外受精、代理出産、望む子を得ること
	5	〈予習〉生殖補助医療の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
		生殖補助医療② ―選択的出産、受精卵を用いた研究、技術が変える親子関係
	6	〈予習〉生殖補助医療にまつわる倫理的問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
		生命のはじまりに対する介入 ―「健康な」「優秀な」子を望むこと
	7	〈予習〉授業「人工妊娠中絶」「生殖補助医療」「遺伝子操作」の振り返り90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認90分
		脳死と臓器移植① 一パーソン論、脳死と社会的死
	8	〈予習〉脳死及び臓器移植の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
		脳死と臓器移植② ―判定基準の問題、臓器移植の新要件、脳死は死か
	9	〈予習〉脳死・臓器移植がもたらす倫理的問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
		安楽死・尊厳死・治療停止① —安楽死・尊厳死とは、事例、安楽死許容条件
	10	〈予習〉安楽死および尊厳死の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
		安楽死・尊厳死・治療停止②——リヴィング・ウィルとDNAR、死の迎え方と社会
	11	〈予習〉安楽死・尊厳死や死の自己決定がもたらす倫理的問題の概要・現状の確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
		自律尊重・自己決定 ―社会の利益と個人の権利、自己決定権とその限界
	12	〈予習〉自己決定権が社会においてどのように受け入れられ・用いられているのかを確認 90分 〈復習〉授業内容の整理・再確認 90分
定期試験		・ 2期試験[筆記]60分 ξり返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分

授業科目名		コンピュータ演習	घ	教員名		新井 誠						
10 未 14 日 1	7/1/1 UW											
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習					
	◎卒業必修 ○幼稚園教諭2科	<ul><li>◎卒業必修</li><li>○幼稚園教諭2種免許状必修[66条の6]</li><li>力ンパリング</li><li>1D106</li></ul>										
授業内容を示す キ ー ワ ード	コンピュータ・イン	/ターネット・ICT・セ	キュリティ・SNS・AI	・パワーポ	イント・ワート	・・エクセル						
授業の概要	コンピュータの使	用方法と情報セキ	ュリティについて学	びます。								
	析、表現に大きく	分けることができま	情報活用能力が求 Eす。これらの能力を I活用の危険性につ	演習によ	り習得します	。あわせてコンヒ						
授業のねらいと 到 達 目 標	この科目において 具体的には次の ・インターネットの ・プレゼンテーシ: ・ワープロソフトを	D4点です。 D利便性および危険 ヨンソフトを使って、 E使って、図や表を	の基礎的な部分を 注性を踏まえて活用 説得力のあるプレ- 取り込んだビジネス タの加工ができるこ	できること ゼンができ 文書を作り	。 ること。							
授業の方法等	提出します。 各テーマ終了回 ICTを活用して2割事前に指定された 授業終了後は、記す)	には、応用演習課 数室(208・201)に記 たページ(プリント・ 果題シートに完成し	、演習(実技)を中心 題の発表・討論を行 设置のパソコンで演 教科書)を良く読み た日付を記入してこ めは各90分とします	います。 習を展開し 授業に臨ん ファイルに	します。 んでください。							
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆 ■授業への取りが ■提出物〔演習	組み・態度 30%										
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:2	0% DP2:30%	DP3:20% DP4:	10% DP!	5:10% DP	6:10% 〔合計	100%]					
教科書	数研出版 数码	シリーズこれだけ 研出版編集部編 資料は、適宜配付	! Office2019」(ISB します。	N:978-44	10702723〕							
参 考 書	適宜、資料を配付	ーーーーー 対します。										
関連科目	教育方法·技術語	侖 ICT教育の理	論と方法									
質問受付の 方 法	主に授業の前後	 に受付けます。(出	動日であればいつ	でも遠慮な		能な限り対応しる						
履修上の注意	は保存しないでく 高等学校共通必	ださい) 履修教科「情報」を	には、各自のUSBメ ·習得済を前提として の科学 Jor「社会と「	て演習を進	めます。	パソコンのハート	ドディスク内に					

授業計画		オリエンテーション(コンピュータを上手に使えるようになろう)
٤	1	〈予習〉高校時代の教科書で、習得した内容を振り返る。90分 〈復習〉配付資料の空欄をのノートに清書しファイルに綴じる。90分
時間外学習		OS(オペレーティングシステム) Microsoft Windows を使ってみよう。
	2	〈予習〉高校時代の教科書で、OSの内容を振り返る。90分 〈復習〉配付資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分
		インターネットの仕組みを理解して、安全にコンピュータを使うための方法を身につけよう。
	3	〈予習〉教科書p156~を読み、疑問点に下線を引き整理する。90分 〈復習〉配付資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分
		パワーポイントを使ってプレゼンをしてみよう。
	4	〈予習〉教科書p108~を読み、疑問点に下線を引き整理する。90分 〈復習〉配付資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分
		プレゼンテーション(発表文書)を作成してみよう。(1)パワーポイント を使ってみよう。
	5	〈予習〉教科書p108~を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
		プレゼンテーション(発表文書)を作成してみよう。(2)パワーポイント の便利な機能を使おう。
	6	〈予習〉教科書p108~を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
		プレゼンテーション(発表文書)を作成してみよう。(3)パワーポイントを使いこなそう。
	7	〈予習〉教科書p108~を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
		作成した文書を、パワーポイント使って(プレゼン討論を含む)をしてみよう。
	8	〈予習〉教科書p108~を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
		ワードを使って文書を作成してみよう。
	9	〈予習〉教科書p16~を読み、疑問点に下線を引き整理する。90分 〈復習〉配付資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分
		ビジネス文書を作成してみよう。(1)ワード の便利な機能を使おう。
	10	〈予習〉教科書p16~を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
		ビジネス文書を作成してみよう。(2)ワード のを使いこなそう。
	11	〈予習〉教科書p16~を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
		ビジネス文書を作成してみよう。(3)ワード で「おたより」を作り発表しよう。
	12	〈予習〉教科書p16~を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
		表計算ソフトを使ってデータ処理をしてみよう。
	13	〈予習〉教科書p66~を読み、疑問点に下線を引き整理する。90分 〈復習〉配付資料の空欄をノートに清書しファイルに綴じる。90分
	<b>.</b> .	エクセルの基本操作を使ってデータ処理をしよう。
	14	〈予習〉教科書p66~を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
		エクセルの便利な機能を使ってデータ処理をしよう。
	15	〈予習〉教科書p66~を読み、演習課題に必要なデータを準備する。90分 〈復習〉演習内容をノートに清書し、出力結果をファイルに綴じる。90分
定期試験		:期試験[ 実技・筆記 ] 70分 {り返り・フィードバック[ 定期試験の解説を行う ] 20分

授業科目名	キャ	リアアップセミナー	— I *	教員名	橋本	淳一/伊藤	えつ子					
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習					
卒業・免許・資格 と の 関 係	◎卒業必修	9卒業必修 ナンパリング 1D107										
授業内容を示す キーワード		]年次教育、学力の3要素を基準とした入学前教育との連携、個人面談、保育に関する専門性、自己理解、 験										
授業の概要	性・社会貢献」の活かして具体的・	学力の3要素を基準とした入学前教育との連携を念頭に、初年次教育として「知識・理解」「態度・習慣」「人間生・社会貢献」の観点から、保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を舌かして具体的・実践的なテーマを取り上げ、それぞれのキャリアアップを目指します。また、個人面談を行うとともに、クラスでの保育の実践・行事に関する活動に参加し、保育の専門性の理解に努めます。										
			さキャリアアップテー 自覚を高め、キャリ			育者としての必	要な専門的知					
授業のねらいと 到 達 目 標	保育者に必要とさ 揮できる。		マナーを定着させる 態度、マナー、対人l									
授業の方法等	体で講義・演習形います。また、アク	式で行います。そ フティブラーニング	る指導や行事、保育 の際、ICT(EduNavi の手法を取り入れ、 ・フィールドワーク】を	)を活用した 【PBL/反軸	た双方向型( 気授業/ディス	の授業を行い自	主学習支援を行					
成績評価の基準と方法	■授業への取り約 ■提出物 50%	且み・態度 50%										
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:20	0% DP2:20% I	DP3:10% DP4:	20% DP5	5:20% DP	6:10% 〔合計	†100%]					
教 科 書		・ブック』山村学園第 科は適宜配布しま										
参考書	Natural保育検定 その他、必要な資	ミテキストWeb版 『料は適宜配布しま	<b>ます</b> 。									
関連 科目	子ども学演習Ⅰ・	Ⅱ 子ども学ゼミナ	├―ルӀ・Ⅱ キャリ	アアップセ	ミナーI・皿	· IV						
質問受付の 方 法	各担任、授業担当	当者に直接、または	はEduNaviを利用して	質問してく	ださい。							
履修上の注意	てもそれぞれの摂 園・保育園で行う	受業の異なった観点 演習です。また、学	ミナー I とは、学習に なから展開する場合 と内行事等の関係に は十分注意し	かあります こより、授業	、なお、保育 内容や開講	育体験 I・Ⅱ 等に	は学外の幼稚					

授業計画	١,	ガイダンス  初年次教育①②③初年次教育・授業の臨み方・保育者らしさ  									
٤	1	〈予習〉シラバス・学生便覧(学年歴・学生生活の案内等)を熟読 45分 〈復習〉学習計画をまとめる 45分									
時間外学習		初年次教育④⑤シラバスの見方、カリキュラムの見方・レポートの書き方、ノートの書き方、個人面談①									
	2	〈予習〉シラバスについて理解する、自分のレポート、ノートの書き方を振り返る 45分 〈復習〉今回のテーマに関する学びをまとめる 45分									
		初年次教育⑥⑦コミュニケーションスキル、情報収集の方法と個人情報の保護、個人面談②									
	3	〈予習〉自分のこれまでのコミュニケーションの取り方について考える、個人情報の保護について考える 45分									
		〈復習〉今回のテーマに関する学びをまとめる 45分 初年次教育のまとめ、個人面談③									
	4	(予習)初年次教育全体を振り返る 45分									
		〈復習〉初年次教育の今回のテーマに関する学びをまとめる、自分自身の課題を整理する 45分									
		キャリサポ学習① キャリサポ学習の意義について学ぶ									
	5	〈予習〉自分自身の課題と卒業後の進路について考える 45分 〈復習〉自分自身の課題を整理し、理解する 45分									
		保育体験I(ふれあい体験)									
	6	〈予習〉園見学のイメージづくり 45分 〈復習〉振り返りシートをまとめる 45分									
		保育体験Ⅱ(園見学)①									
	7	〈予習〉ふれあい体験のイメージづくり 45分 〈復習〉振り返りシートをまとめる 45分									
		ナチュラル保育検定事前学習									
	8	〈予習〉Edu-Navi等を活用した事前学習 45分 〈復習〉事前学習内容の定着 45分									
		保育体験Ⅱ(園見学)②									
	9	〈予習〉園記録のイメージづくり 45分 〈復習〉見学記録をまとめる 45分									
		キャリサポ学習② 自己分析									
	10	〈予習〉これまでの自分を自省的に見つめなおす 45分 〈復習〉振り返りシートをまとめ、現在の自己を客観的に認識する 45分									
		キャリサポ学習③ キャリアップと就職を考える									
	11	〈予習〉前期の自らのキャリアップの取り組みを考える 45分 〈復習〉学習ポートフォリオに取り組む 45分									
		キャリサポ学習④ 人との関わり方を考える									
	12	〈予習〉ホスピタリティについて考える 45分 〈復習〉学習ボートフォリオを完成させる 45分									
		キャリサポ学習⑤ 履歴書の書き方を知る									
	13	〈予習〉履歴書について情報収集を行う 45分 〈復習〉内容を整理する 45分									
		埼玉県労働局講座(アルバイトの労働条件)									
	14	〈予習〉労働条件を理解し講座の目的・内容を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分									
		あいサポーター養成講座									
	15	〈予習〉障がいや障がいがある人への関わり方を考える 45分 〈復習〉講座で得た知識・スキルの定着を図る 45分									
定期,試験的	◆定	別試験は実施せず。									

授業科目名	++	リアアップセミナ・	- Ⅱ *	教員名	橋本	淳一 / 伊藤	えつ子				
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習				
卒業・免許・資格 と の 関 係	◎卒業必修					ナンバリング	1D602				
授業内容を示す キ ー ワ ー ド			:した入学前教育との	の連携、体験	験、自己理角	翼、キャリア形成	、保育に関する				
授業の概要	性・社会貢献」の活かして具体的・	学力の3要素を基準とした入学前教育との連携を念頭に、初年次教育として「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」の観点から、保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的なテーマを取り上げ、それぞれのキャリアアップを目指します。また、個人面談を行うとともに、クラスでの保育の実践・行事に関する活動に参加し、保育の専門性の理解に努めます。									
			こキャリアアップテー 自覚を高め、キャリ			育者としての必	要な専門的知				
授業のねらいと 到 達 目 標	保育者に必要とさ 揮できる。		マナーを定着させる 態度、マナー、対人								
授業の方法等	ICT (EduNavi)を活また、アクティブラ	ーニングの手法を	います。 の授業及び自主学: ・取り入れ、【PBL/版 ・ワーク】を授業内で	え転授業/ラ	ディスカッショ	ン・ディベート/ク	ブループワーク/				
成績評価の基準と方法		且み・態度 50%									
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:20	0% DP2:20%	DP3:10% DP4:	20% DP5	5:20% DP	6:10% 〔合計	†100%]				
教 科 書		・ブック』山村学園領 科は適宜配布しる									
参考書	Natural保育検定 その他、必要な資	ミテキストWeb版 そ料は適宜配布しる	ます。								
関連 科目	子ども学演習Ⅰ・	ども学演習Ⅰ・Ⅱ 子ども学ゼミナールⅠ・Ⅱ キャリアアップセミナーⅠ・Ⅲ・Ⅳ									
質問受付の 方 法	各担任、授業担当	当に直接、またはE	duNaviを利用して質	間してくだ	さい。						
履修上の注意	てもそれぞれの技	受業の異なった観点	ミナー I とは、学習に 点から展開する場合 合がありますので、	があります	で。また、学内	引行事等の関係	により、授業内				

受集計画		キャリサポ学習⑥ 職業研究①保育士資格
٤	1	〈予習〉免許·資格を生かした職業について調べる 45分 〈復習〉資格と職業について学んだことを定着化する 45分
寺間 外 学 習		キャリサポ学習⑦ 職業研究①幼稚園教諭免許
	2	〈予習〉免許·資格を生かした職業について調べる 45分 〈復習〉免許と職業について学んだことを定着化する 45分
		里山保全体験学習[鳩山町石坂の森]
	3	〈予習〉里山保全体験学習(実地体験)の目的・内容を理解する 45分 〈復習〉里山体験学習(実地体験)の振り返り 45分
		キャリサポ学習⑧ 履歴書の書き方①
	4	〈予習〉履歴書に記載する内容について考えて〈る 45分 〈復習〉履歴書に関する知識の定着化と自身の履歴書のスタイルを決める 45分
	_	実習報告会及び懇談会
	5	〈予習〉教育実習を振り返るとともに、今後の実習の準備、保育の実践について考える 45分 〈復習〉当日の知見をまとめる 45分
	•	グループ別学習(プレゼミナール)③
	6	〈予習〉グループの計画を点検する 45分 〈復習〉グループで立てた計画をイメージトレーニングしてみる 45分
	_	保育体験皿(施設見学)・教育実習振り返り
	7	〈予習〉施設見学の準備、教育実習 I を振り返る 45分 〈復習〉見学記録をまとめる、教育実習 II に向けた課題を整理する 45分
		ナチュラル保育検定事前学習
	8	〈予習〉Edu-Navi等を活用した事前学習 45分 〈復習〉事前学習内容の定着 45分
		山緑祭、Yamamura Juhla 準備
	9	〈予習〉クラスとグループでの企画を考える 45分 〈復習〉クラスとグループでの討議を振り返る 45分
	10	山緑祭、Yamamura Juhla 準備
	10	〈予習〉クラスとグループでの準備を確認する 45分 〈復習〉クラスとグループでの活動を振り返る 45分
		キャリサポ学習⑨ 履歴書の書き方②
	11	〈予習〉キャリアサポート学習内容を理解し準備をする 45分 〈復習〉振り返り 45分
	10	キャリサポ学習⑩ 進路講演会
	12	〈予習〉キャリアサポート学習内容を理解し準備をする 45分 〈復習〉振り返り 45分
	10	認知症サポーター講座
	13	〈予習〉認知症サポーター講座を受講する目的・内容を理解する 45分 〈復習〉振り返り 45分
包期 試験	◆定	期試験は実施せず。

授業科目名	キャ	リアアップセミナ・	— <b>Ⅲ</b> *	教員名		井 佑美 / 巣式 5井 誠 / 福泉					
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習				
卒業・免許・資格 と の 関 係	◎卒業必修					ナンバリング	2D109				
授業内容を示す キ ー ワ ード	現職施設長等に	よる職業・業界説	明、個人面談、履歴	書作成 保	育に関する	専門性向上講座	ェ 行事準備				
授業の概要	して具体的・実践	様々な進路を念頭に、保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的なテーマに沿って講演や指導を行い、それぞれのキャリア形成を目指します。また、個人面談を行うとともに、クラスでの保育の実践・行事に関する活動に参加し、保育の専門性の理解に努めます。									
			こキャリアアップテー 自覚を高め、キャリ			育者としての必	要な専門的知				
授業のねらいと 到 達 目 標	保育者に必要とる 揮できる。		マナーを定着させる 態度、マナー、対人l								
授業の方法等	ど、クラス単位又 また、ICT(EduNa の手法を取り入れ	は学年全体で講義 vi)を活用した双方	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ます。 自主学習支	え援を行いま	す。また、アクラ	ティブラーニング				
成績評価の基準と方法	■授業への取り約 ■提出物 50%	且み・態度 50%									
DPに掲げる学力の割合	DP1:2	0% DP2:20%	DP3:10% DP4:	20% DP5	:20% DP	6:10% 〔合計	†100%]				
教科書		・ブック』山村学園st 【料は適宜配付しる									
参考書	Natural保育検定 その他、必要な資	ミテキストWeb版 【料は適宜配付しる	ます。								
関連科目	子ども学演習Ⅰ・	Ⅱ 子ども学ぜミナ	ト━ルⅠ・Ⅱ キャリ	アアップセ	ミナーI・Ⅱ	·IV					
質問受付の方 法	各担任、授業担当	当に直接、またはE	duNaviを利用して質	問してくだ	さい。						
履修上の注意	であってもそれぞ	れの授業の異なっ	ップセミナーⅢとは、 った観点から展開す る場合がありますの	る場合があ	ります。また	上、学内行事等(	D関係により、授				

受業計画		就職活動のガイダンスと職業・職種の研究
٤	1	〈予習〉進路、就職活動をイメージする 45分 〈復習〉進路、就職活動の計画を立ててみる 45分
時間 外 学 習		学長による公務員講座説明、県社会福祉事業団紹介
	2	〈予習〉就職活動に対し準備する 45分 〈復習〉新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
		彩の国さいたま人づくり広域連合による公務員(保育士職)説明会
	3	〈予習〉自分の居住する市町村の公立保育園や保育職受験について下調べする 45分 〈復習〉新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
		卒業生による進路講演会
	4	〈予習〉就職活動に対し準備する 45分 〈復習〉報告会での新しい見聞、知見のまとめ、振り返り 45分
		履歴書作成・個人面談①
	5	〈予習〉自己紹介の内容について考える 45分 〈復習〉個人面談の内容を踏まえ、自分の進路について整理する 45分
		履歴書作成:個人面談②
	6	〈予習〉自己紹介の内容について、特に自分の強みについて考える 45分 〈復習〉個人面談の内容を踏まえ、自分の進路について整理する 45分
		ナチュラル保育検定事前学習
	7	〈予習〉Edu-Navi等を活用した事前学習 45分 〈復習〉事前学習内容の定着 45分
		ナチュラル保育検定
	8	〈予習〉Edu-Navi等を活用した事前学習 45分 〈復習〉事前学習内容の定着 45分
		就職用作文の書き方①
	9	〈予習〉自分の作文の書き方を確認する 45分 〈復習〉作文の書き方の基本を定着化させる 45分
		就職用作文の書き方②
	10	〈予習〉自分の作文を下書きする 45分 〈復習〉自分の作文を推敲する 45分
		個別面談
	11	〈予習〉自己紹介の内容について、特に自分の強みについて伝える練習をする 45分 〈復習〉個人面談の内容を踏まえ、自分の進路の方向性についてまとめる 45分
		プレコンセプションケア講習
	12	〈予習〉プレコンセプションケアについて下調べする 45分 〈復習〉プレコンセプションケアに関する学習内容の定着 45分
定期試験	◆定	関試験は実施せず。

授業科目名	++	リアアップセミナ・	-IV *	教員名		井 佑美 / 巣立 5井 誠 / 福泉						
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習					
卒業・免許・資格 と の 関 係	◎卒業必修	③卒業必修 ナンパリング 2D110										
授業内容を示す キーワード	学内就職説明会	学内就職説明会 2年生による就職報告会 履歴書作成 面接練習 行事準備										
授業の概要	して具体的・実践	様々な進路を念頭に、保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的なテーマに沿って講演や指導を行い、それぞれのキャリア形成を目指します。また、個人面談を行うとともに、クラスでの保育の実践・行事に関する活動に参加し、保育の専門性の理解に努めます。										
			こキャリアアップテー 自覚を高め、キャリ			育者としての必	要な専門的知					
授業のねらいと 到 遠 目 標	揮できる。		マナーを定着させる 態度、マナー、対人									
授業の方法等	義・演習形式で行 また、アクティブラ	います。また、ICT ラーニングの手法を	D準備活動、外部譜 (EduNavi)を活用し 取り入れ、【PBL/版 でリーク】を授業内で	た双方向型 支転授業/テ	型の授業をイ ディスカッシ≡	か自主学習支	援を行います。					
成績評価の基準と方法	■授業への取り約 ■提出物 50%	祖み・態度 50%										
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:2	0% DP2:20%	DP3:10% DP4:	20% DP5	:20% DP	6:10% 〔合計	†100%]					
教 科 書		〜ブック』山村学園? 『料は適宜配付しる										
参考書	Natural保育検定 その他、必要な資	ミテキストWeb版 【料は適宜配付しる	ます。									
関連 科目	子ども学演習Ⅰ・	Ⅱ 子ども学ぜミカ	ト━ルӀ・Ⅱ キャリ	アアップセ	ミナーI・Ⅱ	•ш						
質問受付の方 法	各担任、授業担当	当に直接、またはE	duNaviを利用して質	問してくだ	さい。							
履修上の注意	であってもそれぞ	れの授業の異なっ	ップセミナーⅢとは、 った観点から展開す る場合がありますの	る場合があ	ります。また	こ、学内行事等の	D関係により、授					

受 業 計 画		後期オリエンテーション(進路決定の手順と履歴書の書き方)
٤	1	〈予習〉進路、就職活動 45分 〈復習〉進路の計画を立ててみる 45分
寺間 外 学 習		学内就職説明会①
	2	〈予習〉就職活動に対し準備する 45分 〈復習〉新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
		学内就職説明会②
	3	〈予習〉就職活動に対し準備する 45分 〈復習〉新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
		免許・資格申請手続き説明会
	4	〈予習〉就職活動に対し準備する 45分 〈復習〉新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
		履歴書作成、面接練習、個人面談 (担任等による個別指導)①
	5	〈予習〉就職活動に対し準備する 45分 〈復習〉新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
		実習報告会及び懇談会
	6	〈予習〉教育実習を振り返るとともに、今後の保育の実践について考える 45分 〈復習〉当日の知見をまとめる 45分
		履歴書作成、面接練習、個人面談(担任等による個別指導)②
	7	〈予習〉就職活動に対し準備する 45分 〈復習〉新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
		履歴書作成、面接練習、個人面談(担任等による個別指導)③
	8	〈予習〉就職活動に対し準備する 45分 〈復習〉新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
		ナチュラル保育検定事前学習
	9	〈予習〉Edu-Navi等を活用した事前学習 45分 〈復習〉事前学習内容の定着 45分
		Yamamura Juhla Juhla / 山緑祭準備 ②
	10	〈予習〉グループでの準備を確認する 45分 〈復習〉グループでの活動を振り返る 45分
		ナチュラル保育検定
	11	〈予習〉Edu-Navi等を活用した事前学習 45分 〈復習〉事前学習内容の定着 45分
		Yamamura Juhla Juhla / 山緑祭準備 ④
	12	〈予習〉グループでの準備を確認する 45分 〈復習〉グループでの活動を振り返る 45分
		社会人のマナーとコミュニケーション
	13	〈予習〉社会人としてのマナーを考える 45分 〈復習〉振り返りと確認 45分
		就職活動報告書の作成と就業規則と離職やその手続きに関する知識
	14	〈予習〉就職後の生活をイメージする 45分 〈復習〉新しい見聞、知見のまとめ振り返り 45分
		後期試験に向けて、建学の精神アンケート、学習ポートフォリオ等
	15	〈予習〉2年間の学習を振り返り、職業生活に向けての抱負を考える 45分 〈復習〉振り返りを確認する 45分
包期 試験	◆定	期試験は実施せず。

授業科目名		保育入門		教員名		専任教員						
配当年次	1 開講時期 半期 単位数 2 授業形態 3											
卒業・免許・資格 と の 関 係		ナンパリング 4D111										
		本短大と山村国際高校との高大連携科目。山村国際高校での授業内で実施。短大での自然観察+ワーク ショップ、地元の保育所での体験学習を含む。										
授業の概要	2 後半は、ペー	1 前半は、絵本の読み聞かせ、造型技術について学ぶ。 2 後半は、ペープサート、音遊びについて学ぶ。 3 夏季休業中には、保育所などでの体験学習を行う予定。										
授業のねらいと 到 達 目 標	2 保育に必要な 3 音遊びを通して 4 児童童文化に触 5 保育所での体 【到達目標】 1 保育育に必要な きる。	保育の楽しさを感じられるような授業内容とする。 保育に必要な絵本の読み聞かせ、造形の技術等の基本的な技能を身につける。 音遊びを通して、表現することを学ぶ。 児童文化に触れ、ペープサートを作成し、発表する。 保育所での体験学習を行い、保育現場の理解を深める。 到達目標】 保育を学ぶために必要な科目や専門性の全体像を説明できる。 保育に必要な絵本の読み聞かせ、手遊び、造形技術などの基本的な技能を実際に活用することがで										
授業の方法等	を予定。	の授業15回(100分 ニバス形式で授業	·×15回)、短大での を担当する。	)自然観察	+ワークショ	ップ、保育所での	の体験学習半日					
成績評価の基準と方法	■授業への取り約	且み・態度 100%										
DPに掲げる学力の割合	DP1:30	0% DP2:10% I	DP3:20% DP4:	10% DP5	5:20% DP	6:10% 〔合計	†100%]					
教 科 書	適宜、必要な資料	4を配付します。										
参考書	適宜、必要な資料	4を配付します。										
関連科目	保育士養成に係る	る科目全般。										
質問受付の 方 法	授業時間中またの	は授業前後で質問	を受け付けます。									
履修上の注意			D必要卒業単位数I 山村国際高校とのE									

				<del>-</del>
授業計画		オリエンテーション		専任教員⑧
٤	1	〈予習〉なし。 〈復習〉作成したプリントで復習を行う。170分	10	〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
時間外学習		専任教員①		専任教員⑨
	2	〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	11	〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
		専任教員②		専任教員⑩
	3	〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	12	〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
		専任教員③		専任教員⑪
	4	〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。91分	13	〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
		専任教員④		
	5	〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。92分	14	自然観察+ワークショップ(本学にて)
				専任教員①
	6	自然観察+ワークショップ(本学にて)	15	〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
		専任教員⑤		専任教員②
	6	〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分	16	〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分
		専任教員⑥		
	7	〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分		
		専任教員⑦		
	8	〈予習〉プリント実施。80分 〈復習〉プリント実施。90分		
	9	保育体験学習(近隣保育園にて)		
		L	_	
定期試験	◆接	<b>受業へ取り組む態度で評価する。</b>	◆授	受業へ取り組む態度で評価する。

保育の本質・目的に関する科目

授豸	集和	目	名		保育原理 *		教員名		室井 佑美	
配	当	年	次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義
卒業				◎卒業必修 ○保育士資格必	修〔保育原理 〕	-			ナンパリング	1D201
授業 キ -				保育所保育 養語	雙 教育 思想 保	育士 保育所保育技	旨針 子ど	も・子育て支	援新制度	
授;	東の	級	要	保育に関する法律をとらえ、考えてい 保育士として保	聿、制度を把握し、 いきます。 育現場で勤務経験	育の原理を学びます 現状と課題を理解し 験を有する実務家教 他の視点など、多角	ノます。その 員であり、	のうえで、「保 保育の現場	育とは何か」とい	いう保育の本質 視点、子どもや
						修科目です。保育士 資質向上を目指す意			ヾ原理を学びます	「。保育の本質
授業				(2)保育の思想や なる。 (3)保育の意義及	b歴史の変遷を理 なび目的を自分なり	の基本について説明解し、現在の保育に 別にとらえながら、現 姿を考えようとする。	関する法代社会に	制度や施策の		
授業	きの:	方 法	等	ICT(EduNavi)を流	舌用した双方向型	ます。一部、授業内で の授業及び自主学₹ を取り入れ、【PBL/反	<b>写支援を</b> 行	ういます。		- •
成業				■定期試験〔筆詞 ■授業への取り約		業内成果提出物 50	1%			
D P 学 ブ				DP1:4	10% DP2:20%	DP3:20% DP4:	10% DF	5:0% DP6	6:10% 〔合計	100%]
教	科	ļ	*	〇「保育所保育指 〇「幼稚園教育要 〇「幼保連携型認	旨針解説」(ISBN:9 見領解説」(ISBN:9 思定こども園教育・	业辞典」(ISBN:978- 178-4577814482)/I 178-4577814475)/ダ 保育要領解説」(ISE 14/フレーベル館	了生労働省 て部科学省	â(編集)/フレ â(編集)/フレ	/一ベル館	・ルヴァ書房
*	考	<del>;</del>	#	適宜資料を配付し	します。					
関	連	科	目	保育·教職論 教	育原理 子ども家	庭福祉 保育内容約	念論			
賞問方	明 受	付	の法	毎回提出するコー	ーネル式ノート、教	員のオフィスアワー	などで受け	け付けます。		
履修	上	の注	意	配布資料については 授業については ましょう。その他、 習習慣を身につい	ては、2穴ファイル 事前に受講回で学 法制度や施策な。 ナてください。	ル式ノートの書き込。 などに整理し、学ん ぶ専門用語に付箋 どは所轄省庁のホー 、EduNaviの資料、記	だことをま を付ける、 ・ムページ	とめておきま 事後は改め <sup>、</sup> を参照するな	しょう。 て見直すなど、予 などして、主体的I	こ知識を得る学

授業計画		オリエンテーション(保育原理の学習内容と学習方法)、保育とは何か(理念と概念)
٤	1	〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉第1回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。〔180分〕
時間外学習		「保育所」の法的・制度的位置づけ、最新の動向
	2	〈予習〉昨年度第2回授業資料を通読する。 第2回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。〔60分〕 〈復習〉第2回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。〔120分〕
		「幼稚園」の法的・制度的位置づけ、最新の動向
	3	〈予習〉昨年度第3回授業資料を通読する。 第3回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。〔60分〕 〈復習〉第3回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。〔120分〕
		「認定こども園」の法的・制度的位置づけ、最新の動向
	4	〈予習〉昨年度第4回授業資料を通読する。 第4回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。〔60分〕 〈復習〉第4回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。〔120分〕
		地域型保育事業(小規模保育・家庭的保育・事業所内保育・居宅訪問型保育)の制度的位置づけ、最新の動向
	5	〈予習〉昨年度第5回授業資料を通読する。 第5回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。〔60分〕 〈復習〉第5回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。〔120分〕
		日本の保育施策の動向(子ども・子育て支援新制度を中心に)
	6	〈予習〉昨年度第6回授業資料を通読する。 第6回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。〔60分〕 〈復習〉第6回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。〔120分〕
		諸外国における保育・教育思想と歴史的変遷
	7	〈予習〉昨年度第7回授業資料を通読する。 第7回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。〔60分〕 〈復習〉第7回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。〔120分〕
		【オンデマンド型(遠隔)授業】日本における保育・教育思想と歴史的変遷
	8	〈予習〉昨年度第8回授業資料を通読する。 第8回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。〔60分〕 〈復習〉第8回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。〔120分〕
		多様な保育内容、保育方法(日本、諸外国も含めて)
	9	〈予習〉昨年度第9回授業資料を通読する。 第9回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。〔60分〕 〈復習〉第9回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。〔120分〕
		保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の変遷と構成、内容の詳細
	10	〈予習〉昨年度第10回授業資料を通読する。 第10回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。[60分] 〈復習〉第10回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。[120分]
		保育所保育指針における保育の基本(基本原則、養護、目標、内容、環境・方法)
	11	〈予習〉昨年度第11回授業資料を通読する。 第11回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。[60分] 〈復習〉第11回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。[120分]
		子どもの理解に基づく保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)とPDCAサイクル
	12	〈予習〉昨年度第12回授業資料を通読する。 第12回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。〔60分〕 〈復習〉第12回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。〔120分〕
		保育者としての資格・免許(保育士/幼稚園教諭/保育教諭等)
	13	〈予習〉昨年度第13回授業資料を通読する。 第13回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。[60分] 〈復習〉第13回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。[120分]
		【オンデマンド型(遠隔)授業】多様な保育内容、保育方法(日本、諸外国も含めて)
	14	〈予習〉昨年度第9回授業資料を通読する。 第14回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。[60分] 〈復習〉第14回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。[120分]
		【オンデマンド型(遠隔)授業】保育者としての資格・免許(保育士/幼稚園教諭/保育教諭等)
	15	〈予習〉昨年度第13回授業資料を通読する。 第15回で学ぶ専門用語をテキストから見つけ、インデックス・付箋を付ける。[60分] 〈復習〉第15回コーネル式ノートをまとめる。学んだ用語を読み返す。[120分]
京 相 計 略	◆定	Z期試験〔筆記〕60分

- **定 期 試 験** ◆定期試験[筆記]60分 ◆振り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分

授業科目名	教育原理 * 教員名 宇田川 和久 / 高後 仁								
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義		
卒業・免許・資格 と の 関 係	◎卒業必修 ○保育士資格必修[教育原理] ○幼稚園教諭2種免許状必修 [教育の基礎的理解に関する科目/教育の 理念並び教育に関する歴史及び思想、教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)]								
授業内容を示す キーワード	学校教育、教育思	!想、教育史、学習!	旨導要領、教育制度						
授業の概要	教諭に必要な、学 知識を学習します また、教育者とし	教育の目的や歴史を踏まえながら、人間形成において最も重要な乳幼児期の保育に携わる保育士・幼稚園 教諭に必要な、学校教育に関わる理念、教育制度、学習指導要領、教育課程、学習指導等に関する基礎的な 知識を学習します。 また、教育者として教育現場や教育行政での勤務経験を有する実務教員であることから、教育現場での教育 者の視点、子ども・保護者の視点等を多角的に現状を伝え、教育の専門的知識に活かしていく力を養いま す。							
授業のねらいと 到 達 目 標	します。 【到達目標】 (1)教育の意義・E (2)学校教育の制度に (3)教育の制度に (4)教育実践のさる	教育の目的や意義·方法等について学習し、保育士·幼稚園教諭として必要な基本的な知識や考え方を習得します。							
授業の方法等	います。必要に応 を行います。	じて課題を提示し	ラーニングの手法を、レポート作成・発表 ・向型の授業及び自	・協議など	ご学生の主体	的な取り組みの			
成績評価の基準と方法		組み・態度 10%							
DPに掲げる学力の割合	DP1:10	0% DP2:30%	DP3:20% DP4:	10% DP	5:10% DP	6:20% 〔合計	+100%]		
教 科 書	『ワークで学ぶ 孝	效育原理』〔ISBN∶9	78-4623098668〕	ネルヴァ	書房				
参考書	文部科学省ホーム	ムページ							
関連科目	保育原理								
質問受付の方 法	適宜研究室等で対	対応します。							
履修上の注意	講義の記録、配付	けした印刷物等は、	A4ファイルに学習	/	て整理するこ	と。			

授業計画		保育者・教師になるための「教育原理」の学び〔担当:宇田川〕
٤	1	〈予習〉 序章を読み教育とは何かについて自分の考えをまとめる。90分 〈復習〉 授業中に配付したレジュメを整理する。90分
時間外学習		教育とは何か〔担当:宇田川〕
	2	〈予習〉第1章を読み教育の目的について自分の考えをまとめる。90分 〈復習〉 授業中に配付したレジュメを整理する。90分
		学校とは何か〔担当:宇田川〕
	3	〈予習〉 第2章を読み学校の役割について自分の考えをまとめる。90分 〈復習〉 授業時に配付したレジュメをまとめる。90分
		魅力ある保育者・教師とは何か〔担当:高後〕
	4	〈予習〉 第3章を読み保育者及び教師の役割について自分の考えをまとめる。 90分 〈復習〉 授業時に配付したレジュメをまとめる。 90分
		「学び」について考える〔担当:高後〕
	5	〈予習〉 第4章を読み、これまでの「学び」の変遷と、「学び」とはいかなる活動かを考える。90分 〈復習〉 授業時に配付したレジュメをまとめる。 90分
		西洋の教育思想[担当:高後]
	6	〈予習〉 第5章を読み、近代教育に貢献した人物の業績を調べてくる。 90分 〈復習〉 授業中に配付したレジュメをまとめる。 90分
		世界の保育・教育〔担当:高後〕
	7	〈予習〉 第12章を読み、世界各国の保育・教育について調べてくる。90分 〈復習〉 授業時に配付したレジュメをまとめる。90分
		日本の教育思想 [担当:高後]
	8	〈予習〉第6章を読み、寺子屋、手習塾等、庶民教育の実態について調べて〈る。90分 〈復習〉 授業時に配付したレジュメをまとめる。 90分
		近代公教育制度の成立と展開 [担当:高後]
	9	〈予習〉 第7章を読み、日本の近代教育成立について整理する。 90分 〈復習〉 授業時に配付したレジュメをまとめる。 90分
		戦後における学校教育の展開〔担当:高後〕
	10	〈予習〉第8章を読み、戦後の教育の在り方について整理する。 90分 〈復習〉 授業中に配付したレジュメをまとめる。 90分
		遊びと学び〜幼児期から児童期へ〜〔担当:高後〕
	11	〈予習〉第9章を読み、幼児教育の基本、保育内容について調べて〈る。 90分 〈復習〉 授業中に配付したレジュメをまとめる。 90分
		子どもの権利と保育・教育〔担当:高後〕
	12	〈予習〉第10章を読み、子どもの権利条約の内容について整理する。90分 〈復習〉 授業中に配付したレジュメをまとめる。90分
		社会教育と生涯学習〔担当:宇田川〕
	13	〈予習〉第11章を読み、生涯学習論について調べて〈る。90分 〈復習〉 授業中に配付したレジュメをまとめる。90分
		新しい保育・教育の課題と保育者・教師①〔担当:宇田川〕
	14	〈予習〉第13章を読み、教育の新たな取組について調べる。90分 〈復習〉 授業中に配付したレジュメをまとめる。90分
		新しい保育・教育の課題と保育者・教師②、まとめ〔担当:宇田川〕
	15	〈予習〉全体を振り返り、この教育原理での自身の学びについて整理する。90分 〈復習〉 授業中に配付したレジュメ、試験対策についてまとめる。90分
定期試験		:期試験[ 筆記 ] 60分 り返り・フィードバック[ 定期試験の解説を行う ] 30分

授業科目名		子ども家庭福祉	:	教員名		橋本 淳一	-		
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義		
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必	〇保育士資格必修〔子ども家庭福祉〕 ナンパリング 1D203							
授業内容を示す キ ー ワ ード	保育士 保育所的養護	R育士 保育所 子どもの人権擁護 子ども家庭福祉の主要な法律・制度 子ども・子育て支援新制度 社会 内養護							
授業の概要	系、地域子育てま	現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷、子どもの人権、子ども家庭福祉の制度や実施体系、地域子育て支援、子ども虐待・DV、社会的養護、次世代育成支援等子ども家庭福祉の現状と課題、動向と展望について学びます。							
		ねらい】 保育が福祉の一分野であることを理解し、保育、子ども・子育て支援を中心に、子どもや家庭に関する実情や 制度について、福祉の観点から捉え直すことをめざす。							
授業のねらいと 到 達 目 標	保育者に必要な- 援、子ども虐待、	【到達目標】 保育者に必要な子ども家庭福祉の意義や歴史的変遷、制度と法律、実施体系などを理解している。子育て支援、子ども虐待、障害のある子ども、社会的養護その他子どもと家庭をめぐるさまざまな問題を理解し、その対応を主体的に考えることができる。							
授業の方法等	ICT (EduNavi)をデカッションやグル-				ティブラーニ	ングの手法を取	り入れ、【ディス		
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記 ■授業への取りが ■提出物 10%								
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:4	0% DP2:20% [	DP3:10% DP4:	10% DP	5:10% DP	6:10% 〔合言	†100%]		
教 科 書		うだも家庭福祉 青志編著 萌文書材	](ISBN:978-89347 \$	4445]					
参 考 書	『ひと目でわかる	保育者のための児	童家庭福祉データ	ブック2025	』中央法規出	出版			
関連科目	社会福祉 子ども	家庭支援論 社会	:的養護 Ⅰ・Ⅱ イン	クルーシフ	ブ教育・保育	I - П			
質問受付の 方 法	担当教員に直接	、またはEduNaviを	利用して質問してく	ださい。					
履修上の注意	各回配布するプリ	リントの管理と整理	は自己責任で行っ <sup>-</sup>	てください。					

	オリエンテーション~子ども家庭福祉の意義と保育~
1	〈予習〉テキスト第1章1・4を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	子ども家庭福祉の現代的背景
2	〈予習〉テキスト第1章2を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	子どもの権利とそれを守る取り組み
3	〈予習〉テキスト第1章3第7章2を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	子ども家庭福祉の歴史的変遷
4	〈予習〉テキスト第2章を下読み90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着90分
	【オンデマンド型(遠隔)授業】子ども家庭福祉の主要な法律
5	〈予習〉テキスト第3章を下読み90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着90分
	世界における子どもの権利の実情①
6	〈予習〉テキスト第2章1・2・3を下読み90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着90分
	世界における子どもの権利の実情②
7	〈予習〉前回プリントの読み返し90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着90分
	【オンデマンド型(遠隔)授業】子ども家庭福祉の行政と実施機関
8	〈予習〉テキスト第4章1を下読み90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着90分
	子ども家庭福祉の施設と専門職
9	〈予習〉テキスト第4章2・3・4を下読み90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着90分
	社会的養護の意味と施設
10	〈予習〉テキスト第6章3を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	子ども家庭支援の展開  ~母子保健、ひとり親家庭、子ども虐待・DV、貧困家庭・外国籍の子どもへの対応~
11	〈予習〉テキスト第5章1・2・4、第6章の1・2・5・6・7を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	地域子育て支援と子ども・子育て支援新制度
12	〈予習〉テキスト第2章5第6章8第7章4を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	【オンデマンド型(遠隔)授業】障害のある子どもの福祉
13	〈予習〉テキスト第3章2を下読み 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	【オンデマンド型(遠隔)授業】授業のまとめ
14	〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉授業プリントを読み直し理解を定着 90分
	【オンデマンド型(遠隔)授業】試験対策 問題演習
15	〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉問題演習を振り返り、試験対策資料を作成する 90分
	2期試験[筆記]60分 もり返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分
	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 14 15 ◆森

授業科目名		社会福祉		教員名		橋本 淳一				
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義			
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必	)保育士資格必修〔社会福祉〕 ナンパリング 2D204								
授業内容を示す キ 一 ワ ード	ノーマライゼーショ	ーマライゼーション インクルージョン アドボカシー 社会福祉基礎構造改革								
授業の概要	現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点、社会福祉の 法律・制度や実施体系、社会福祉における利用者保護の仕組み、社会福祉の動向と課題等について学びま す。									
授業のねらいと			や保育がどう繋がっ 専門的方法・技術が							
			概念、歴史、制度と ういて理解し、適用・			<b>侖や方法・技術、</b>	及び社会福祉			
授業の方法等	ICT (EduNavi)をデカッションやグル-				ティブラーニ	ングの手法を取	り入れ、【ディス			
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記録 ■授業への取りが ■提出物 10%									
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:4	0% DP2:20% I	DP3:10% DP4:1	10% DP	5:10% DP	6:10% 〔合計	†100%]			
教科書		のすすめ』(ISBN:9 <sup>後</sup> 栄・西川ハンナ 学								
参考書	『国民福祉の動向	 ]』厚生統計協会								
関連科目	子ども家庭福祉	子ども家庭支援論	â 社会的養護 I・I	 I インクル	 レーシブ教育	・保育Ⅰ・Ⅱ				
質問受付の 方 法	担当教員に直接、	、またはEduNaviを	利用して質問してく	ださい。						
履修上の注意	各回配付するプリ	リントの管理と整理	は自己責任で行って	てください。	,					

受業計画		社会福祉の理念と対象、社会福祉における利用者保護に関わる仕組み
٤	1	〈予習〉テキスト第2章を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
時間外学習		日本の社会福祉のあゆみ① 前近代から昭和初期まで
	2	〈予習〉テキスト第4章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
		日本の社会福祉のあゆみ② 戦後の社会福祉の展開
	3	〈予習〉テキスト第4章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
		イギリスを中心とする欧米の社会福祉のあゆみ
	4	〈予習〉テキスト第4章2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
		社会福祉の法体系と実施機関
	5	〈予習〉テキスト第3章2.3を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
		社会福祉と障害に関する海外事例研究① ~重度身体障害~
	6	〈予習〉テキスト第8章1を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
		社会福祉と障害に関する海外事例研究② ~社会保障~
	7	〈予習〉テキスト第8章2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
		日本の社会保障・保険制度① 年金・健康保険
	8	〈予習〉テキスト第3章1.2を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
		日本の社会保障・保険制度② 公的扶助・生活保護
	9	〈予習〉テキスト第6章1を下読みする90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる90分
		地域の福祉とボランティア、社会福祉の専門職、相談援助の技術
	10	〈予習〉テキスト第5・7章を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
		子どもと家族の福祉
	11	〈予習〉テキスト第6章2を下読みする90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる90分
		障害をもつ人の福祉
	12	〈予習〉テキスト第6章3を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを読み返し理解を定着させる 90分
		[オンデマンド型(遠隔)]高齢者の福祉
	13	〈予習〉テキスト第6章4を下読みする 90分 〈復習〉授業プリントを完成させ、理解を定着させる 90分
		[オンデマンド型(遠隔)]授業のまとめ
	14	〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉授業プリントを完成させ、理解を定着させる 90分
		【オンデマンド型(遠隔)】問題演習
	15	〈予習〉これまでのプリントを読み返す 90分 〈復習〉問題演習を振り返り授業プリントを完成させ、理解を定着させる 90分
定期試験		期試験[ 筆記 ] 60分   り返り・フィードバック[ 定期試験の解説を行う ] 30分

授業科目名		子ども家庭支援論 教員名 巣立 佳宏								
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2 授業形態 講義					
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必修〔子ども家庭支援論 〕 ナンパリング 1D205									
		①子ども家庭支援の意義 ②家庭支援を取り巻く社会的状況 ③保護者支援(傾聴と信頼関係)とコミュニケーションカ ④関連機関との連携								
授業の概要	①心豊かな子どもの成長を促す家族の役割を理解します。 ②現在社会の中で子どもを取り巻く家庭の状況・問題や課題を意識します。 ③保育者としての支援方法や具体的なかかわり方を学びます。 ④子育て支援政策を理解し、地域の関係機関等のつながりを理解します。									
	【ねらい】 ①心豊かな子どもを育てる為に、保育者と保護者との信頼関係を築くことが、保育者として基本であること 自覚する。 ②信頼関係を築く具体的な事例を通して、支援方法を認識・実践する。 ③支援政策動向を理解し、地域の関係機関等のつながりを認識する。									
授業のねらいと 到 達 目 標	授業のねらいと 到 遠 目 標 ①子育でに関する支援の意義・目的を理解する。 ②保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。 ③子育て家庭に対する 支援の体制について理解する。 ④子育で家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。 ⑤子どもへの保育課題、保護者の支援方法を様々な事例を通して、解決方法を見いだすことができる。									
授業の方法等	また、アクティブラ	ーニングの手法を	の授業及び自主学 取り入れ、【PBL/5 「ワーク】を授業内で	₹転授業/	ディスカッショ	ン・ディベート/ク	ブループワーク/			
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記 ■授業への取りが ■提出物 20% ■その他[ 小テス	Ⅱみ・態度 10%								
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:4	0% DP2:10% I	DP3:20% DP4:	10% DP5	5:10% DP	6:10% 〔合計	100%]			
教 科 書		論」(ISBN:978-4 協会 松原康雄 村	805887882)  田典子 南野奈津	子編集中	中法規					
参考書	適宜、資料を配付	します。								
関連科目	子ども家庭福祉	社会福祉 保育・	教育相談の理論とフ	—— 5法						
		)研究室等で受けた 通して適宜質問なと	付けます。 ごを受け付けます。							
履修上の注意			:プリントは各自で管 オン等を持参してく		いず持参する	00				

1 mm	l	111_1 = 1 1 1/12# 0 # 1 T 1/12   T 1/12
授業計画	١.	オリエンテーション(授業の流れ及び目標説明) 子ども家庭支援の意義と必要性
٤	1	〈予習〉児童憲章・児童福祉法・保育所保育指針・幼稚園教育要領を調べる。90分 〈復習〉各学生が調べてきた法的根拠を振り返る。90分
時間外学習		各種制度なかでの保育・子育て支援の位置づけと支援の目的及び機能
	2	〈予習〉各種制度を調べる。 〈復習〉配付されたプリントを見返す。90分
		子ども家庭支援施策・次世代育成支援施策を支える社会の流れ
	3	〈予習〉子ども支援関連用語を調べる。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
	4	【オンデマンド型(遠隔)】 子ども家庭の福祉を支える社会資源(フォーマルサービス・インフォーマルサービス)の理解 〈予習〉子ども支援関連用語を確認する90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
		保育の専門性を活かした子ども家庭支援と意義
	5	〈予習〉ソーシャルワークの役割を確認する。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
		子どもの育ちの喜びの共有の意義
	6	〈予習〉具体的なコミュニケーションを考える。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
		保育士に求められる基本的態度(バイステックの7原則)
	7	〈予習〉リフレーミングを考える。 90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。 90分
	8	【オンデマンド型(遠隔)】 保育士のコミュニケーション力を高める① ジェノグラムを使った子ども・保護者の関係性 〈予習〉配付された事例から子ども・保護者の姿を読み解く。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
		保育士のコミュニケーション力を高める② 事例を通してジェノグラムを使った課題の分析と解決手法
	9	〈予習〉事前配付されたプリントと読む。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
		保育士のコミュニケーションカを高める③ 文章コミュニケーション(園だより・連絡帳の書き方)
	10	〈予習〉事前配付されたプリントと読む。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
		保育士のコミュニケーション力を高める④ 言語的コミュニケーション(リフレーミングを通した助言の言葉)の実践
	11	〈予習〉事前配付されたプリントと読む。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
		特別なニーズを持つ家族の姿と援助① 育てにくい子ども・障害のある子どもと親への対応
	12	〈予習〉事前配付されたプリントと読む。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
		特別なニーズを持つ家族の姿と援助② 乳幼児の虐待種類・定義・症状
	13	〈予習〉事前配付されたプリントと読む。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
		【オンデマンド型(遠隔)】要保護児童及びその家庭に対する支援
	14	〈予習〉事前配付されたプリントと読む。90分 〈復習〉配付プリントにまとめる。90分
		世界の子育て支援と日本の子育て支援(世界の保育環境)、子ども家庭支援の今後の課題
	15	〈予習〉世界の保育環境を調べる。90分 〈復習〉子どもの未来の責任と協力者であることを認識をする。90分
定期試験		Z期試験[筆記]60分 をり返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分

授業科目名		社会的養護 I		教員名		巣立 佳宏	!			
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義			
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必	〇保育士資格必修〔社会的養護 I 〕 ナンパリング 1D206								
授業内容を示す キーワード	社会的養護、児童	社会的養護、児童虐待、家庭養護、里親、権利擁護								
授業の概要	虐待、育児放棄など様々な理由で社会的支援を受けながら生活している子どもたちとその家族を適切に支援するために必要となる援助者としての姿勢、援助計画の立て方、援助の進め方、援助において活用できる社会的資源などについて学習します。									
	【ねらい】 社会的養護を担得します。	社会的養護を担う専門職の一員である保育士に必要とされる考え方や姿勢、制度とその活用の在り方を習								
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】  1、現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について理解する。 2、社会的養護と児童福祉の関連性及び児童の権利擁護について理解する。 3、社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 4、社会的養護における児童の人権擁護及び自立支援等について理解する。 5、社会的養護の現状と課題について理解する。									
授業の方法等	また、アクティブラ	ーニングの手法を	の授業及び自主学習 で取り入れ、【PBL/反 でワーク】を授業内で	転授業/-	ディスカッショ	コン・ディベート/!	ブループワーク/			
成績評価の基準と方法		∄み・態度 10%								
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:4	0% DP2:20%	DP3:20% DP4:	10% DP	5:0% DP6	6:10% 〔合計	100%]			
教 科 書	「新基本保育シリ 相澤仁、林浩康		蒦 I 」 <mark>第2版</mark> (ISBN:	978-4805	887899)					
多考書	適宜、資料を配付	けします。								
関連科目	社会的養護Ⅱ、∃	子ども家庭福祉、施	記実習 Ⅰ・Ⅱ							
質問受付の 方 法			ごを受け付けます。							
履修上の注意	る自身の考えをま	とめ、社会的養護	ごろからニュースや に対する理解を図っ るため、スマートフォ	るようにして	てください。		 語や記事に対す			

集計 画		社会的養護の理念と概念
٤	1	〈予習〉社会的養護に関する法令等を含め情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
計間 外 学 習		社会的養護の歴史的変遷
	2	〈予習〉社会的養護の歴史について情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		子どもの人権擁護と社会的養護
	3	〈予習〉子どもの人権に関する新聞記事等を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		社会的養護の基本原則
	4	〈予習〉児童福祉法の改正に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		【オンデマンド型(遠隔)】社会的養護における保育士等の倫理と責務
	5	〈予習〉保育士の倫理綱領について整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	_	社会的養護の制度と法体系
	6	〈予習〉社会的養護の制度に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		【オンデマンド型(遠隔)】社会的養護のしくみと実施体系
	7	〈予習〉社会的養護の制度について整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		【オンデマンド型(遠隔)】社会的養護とファミリーソーシャルワーク
	8	〈予習〉ソーシャルワークに関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		社会的養護の対象と支援のあり方
	9	〈予習〉児童虐待に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		【オンデマンド型(遠隔)】家庭養護と施設養護
	10	〈予習〉里親と施設養護の現状について情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		社会的養護にかかわる専門職
	11	〈予習〉施設保育士に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	40	社会的養護に関する社会的状況
	12	〈予習〉「新しい社会的養育ビジョン」に関する情報を整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		施設等の運営管理の現状と課題
	13	〈予習〉社会的養護の施設等に関する情報を整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		[オンデマンド型(遠隔)]被措置児童等の虐待防止の現状と課題
	14	〈予習〉児童心理治療施設等の情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		社会的養護と地域福祉の現状と課題
	15	〈予習〉地域福祉に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
三期 試験		Z期試験[筆記]60分 もり返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分

授業科目名		保育・教職論		教員名		野口 一夫	:		
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義		
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必修[保育者論] 〇幼稚園教諭2種免許状必修[教育の基礎的理解に関する科目 /教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応含む)]								
授業内容を示す キーワード	保育者(保育士・幼稚園教諭・保育教諭) 求められる資質・能力 こども家庭庁 幼保連携型認定こども園								
授業の概要		保育者としての専門性と豊かな人間性を兼ね備え、地域社会に貢献できる骨太な保育士・幼稚園教諭・保育 教諭の養成とその基礎となる役割や資格、そして資質・能力のあり方、組織とリーダーシップを習得します。							
			に、保育者とは何か ]連法規等を踏まえ				能力は何か、そ		
授業のねらいと 到 達 目 標			<b>教諭)に対する意識</b> 携∙協働の重要性を				じ、さらに保育		
授業の方法等			・中心に調べ学習・ 向や公務員試験の				入れ、保育所・幼		
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記録を表現である。 ■授業への取りを表現である。 ■提出物 30%								
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:4	0% DP2:10% [	DP3:20% DP4:1	10% DP5	5:10% DP	6:10% 〔合訂	†100%]		
教 科 書	なし(毎回資料を	 配付)							
参 考 書	「幼稚園教育要領	├解説」厚生労働省 [解説」文部科学省		F、文部科学	学省、厚生労	・働省 フレーベル	レ館		
関連科目	保育原理 教育原	·····································							
質問受付の 方 法	担当教員 随時								
履修上の注意	レポートは毎回提	出します。 レポー	-ト等の資料を整理	·保存する	「A4版ファイ	ル」を用意してく	ください。		

授業計画	1	「保育」のもつ意味 ~先人にみる「子ども観」 こども家庭庁 幼児期の終わりまでに育ってほしい 姿10 親の心得
٤		《予習〉先人の「子ども観」について調査 45分 《復習〉幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10の理解 45分
   時間外学習		保育士・幼稚園教諭・保育教諭の違い~本県の幼稚園・保育所・認定こども園の実態
	2	〈予習〉保育士と幼稚園教諭の違い調べ 45分 〈復習〉本県の幼稚園・保育所・認定こども園の実態 45分
		保育者の要件・地位 ~T(時)P(場所)O(場合) 江戸しぐさ
	3	〈予習〉T(時)P(場所)O(場合)調べ 45分 〈復習〉「江戸しぐさ」に学ぶ 45分
		保育者としての免許・資格 ~職業病
	4	〈予習〉保育士と幼稚園教諭の違い調べ 45分 〈復習〉本県の幼稚園・保育所・認定こども園の実態 45分
		保育士の専門性と役割 ~保育の基本と役割 省察とは 施設保育士
	5	〈予習〉保育士と幼稚園教諭の違い調べ 45分 〈復習〉本県の幼稚園・保育所・認定こども園の実態 45分
		幼稚園教諭の専門性と役割 ~地方公務員法(服務 欠格事由等) 幼稚園・保育園の一日
	6	〈予習〉地方公務員法を調査 45分 〈復習〉実習に際し、幼稚園、保育園の一日を学ぶ 45分
		保育士・幼稚園教諭の職務の具体的な内容 ~5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現) SIDS
	7	〈予習〉5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の調査 45分 〈復習〉勤務体制を学ぶ 45分
		最近の乳幼児・児童の傾向 ~LD、ADHD、アスペルガー症候群等発達障害
	8	〈予習〉LD、ADHD、アスペルガー症候群等の調査 45分 〈復習〉症状と対処の仕方を学ぶ 45分
		様々な保育課題と対応の在り方1 ~夜尿症、じょうずなほめ方・しかり方等
	9	〈予習〉症状の理解 45分 〈復習〉対応の仕方を学ぶ 45分
		様々な保育課題と対応の在り方2~しつけ、虐待、放任、過保護等
	10	〈予習〉症状の理解 45分 〈復習〉対応の仕方を学ぶ 45分
		今求められる理想の保育者像 ~都市化、少子化、核家族化等
	11	〈予習〉それぞれの実情調べ 45分 〈復習〉その対応 45分
		今、保育者に求められる資質・能力 ~組織に馴染む 園長・主任等のリーダーシップ
	12	〈予習〉〈予習〉組織の調査 45分 〈復習〉組織に馴染む 園長・主任等のリーダーシップの考察 45分
		保育所・幼稚園と家庭の役割 ~ドロシー・ロー・ノルト
	13	〈予習〉ドロシー・ロー・ノルト調査 45分 〈復習〉保育所・幼稚園と家庭の役割の理解 45分
		適性の理解と進路選択 ~認可と無認可 保育のやりがい 保育士を辞める理由
	14	〈予習〉公務員試験に見る傾向 45分 〈復習〉国や県の社会福祉事業団への理解 45分
		振り返り アンケート
	15	〈予習〉全学習の振り返り 45分 〈復習〉論作文の書き方の理解 45分
定期試験		2期試験[筆記]60分 もり返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分

授業科目名	インク	フルーシブ教育・イ	保育I	教員名	宇田川 和久					
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2 授業形態 講義					
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格選択必修 〇幼稚園教諭2種免許状必修 〔教育の基礎的理解に関する科目/特別の 支援を必要とする幼児、児童及び生徒に関する理解〕									
授業内容を示す キ ー ワ ー ド					性、就学支持	爰、特別支援学村	交、			
授業の概要	インクルーシブ教育システムの理念である障害のあるなしにかかわらず共に学ぶことの重要性について学びます。また、このシステムを構築するため、特別支援教育を推進する必要があることを学びます。さらに、特別支援教育は、特殊教育の対象であった障害に加えLD、ADHD、高機能自閉症等も対象とし、子どもたち一人一人の教育的ニーズを踏まえ、その持てる力を最大限に高めるための教育として今後極めて重要になることを障害に関する基礎的な知識や教育の現状や課題などを通して学びます。									
授業のねらいと 到 達 目 標	ます。その上で、 援するために必要 【到達目標】 (1)障害力を援教育 (2)特別支援教育 (3)特別支援教育 (4)個に応じた指導	障害者を取り巻く社会環境の変化を理解し、インクルーシブ教育システムの必要性とその在り方について考えます。その上で、特別支援教育の意義や制度等について理解し、特別な教育的ニーズのある子どもたちを支援するために必要な基礎的・基本的な知識や考え方を習得します。								
授業の方法等	ブラーニングの視 図るため、ビデオ	点を取り入れ授業 現聴やレポート発	な学びを進めるたきを進めます。また、表などを通して、学方向型の授業及び	障害のある 生との双方	る子どもたち 向性のある	の支援の実際に 授業展開を目指	こついて理解を			
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記 ■授業への取りが ■提出物 10% ■その他[ ハテス	Ⅱみ・態度 30%								
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:40	0% DP2:10% I	DP3:20% DP4:	10% DP5	5:10% DP	6:10% 〔合計	†100%]			
教 科 書			支援教育」(ISBN: 社:ミネルヴァ書房		85378)					
参 考 書	適宜、資料を配付	します。								
関連科目	インクルーシブ教	育・保育Ⅱ								
質問受付の 方 法	適宜研究室等で対	対応します。								
履修上の注意	講義等の記録、酢	己付した印刷物等の	ま、A4ファイルに学	習ノートとし	して整理して	下さい。				

授業計画		特別支援教育の理念と制度①(特殊教育から特別支援教育へ)
٤	1	〈予習〉障害者について自分の関心のあることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
時間外学習		特別支援教育の理念と制度②(インクルーシブ教育システムと特別支援教育)
	2	〈予習〉障害のある子どもたちに関する新聞記事等を読み自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		通常の学級担任の気づきとアセスメント
	3	〈予習〉不登校の子どもたちの状況について調べ、自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		発達障害の心理特性①(自閉スペクトラム症を中心に)
	4	〈予習〉発達障害について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		発達障害の心理特性②(LD,ADHDを中心に)
	5	〈予習〉(1)で学んだ内容等について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		知的障害のある子どもの理解と指導の実際
	6	〈予習〉知的障害について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		【オンデマンド型(遠隔)】視覚障害のある子どもの理解と指導の実際
	7	〈予習〉視覚障害について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		【オンデマンド型(遠隔)】聴覚障害のある子どもの理解と指導の実際
	8	〈予習〉聴覚障害について関心あることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		【オンデマンド型(遠隔)】肢体不自由及び病弱の子どもの理解と指導の実際
	9	〈予習〉肢体不自由及び病弱について関心のあることを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		【オンデマンド型(遠隔)】特別の指導「自立活動」
	10	〈予習〉「自立活動」の指導について調べて整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		【オンデマンド型(遠隔)】関係機関や保護者との連携
	11	〈予習〉保護者との連携の必要性について自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
	40	特別支援学校における教育の実際
	12	〈予習〉特別支援学校に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		特別支援学級における教育の実際
	13	〈予習〉特別支援学級に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		通級による指導の実際
	14	〈予習〉通級による指導に関する情報を収集する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		今後の特別支援教育の方向性
	15	〈予習〉特別支援教育の意義等について自分の考えを整理する。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
定期試験		:期試験〔筆記〕60分 もり返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

保育の対象の理解に関する科目

授業科目名		保育の心理学 * 教員名 山村 穂高/巣立 佳宏									
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義				
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇幼稚園教諭2科 /教育に関する	②卒業必修 ○保育士資格必修〔保育の心理学〕 ○幼稚園教諭2種免許状必修〔教育の基礎的理解に関する科目 /教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携 及び学校安全への対応を含む)〕									
授業内容を示す キーワード	子どもの発達理角	子どもの発達理解、発達と保育実践、子ども観・保育観									
授業の概要	いて理解し、それ	子どもの発達の基礎を学び、保育実践と関連付けながら理解します。子どもが自ら発達しようとする心理について理解し、それを捉えて支援する環境づくりや保育実践を考察します。 見場経験のある教員が発達段階に応じた映像や事例を示しながら授業を行います。									
授業のねらいと 到 達 目 標	た支援についてま	子どもの発達に関わる心理学の基礎を知り、子ども理解を深め、初期経験の重要性を理解する。発達に応じた支援について考察する。									
授業の方法等	また、アクティブラ	舌用した双方向型の ーニングの手法を ン/実習・フィールド	取り入れ、【PBL/	反転授業/テ	ディスカッショ	シ・ディベート/ク	ブループワーク/				
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記 ■授業への取りが ■提出物 20% ■その他[ 小テス	Ⅱみ・態度 10%									
DPに掲げる学力の割合	DP1:4	0% DP2:20%	DP3:20% DP4	1:10% DP5	5:0% DP6	6:10% 〔合計	100%]				
教 科 書	「子どもとかかわる	る人のための心理	学」〔ISBN:978-4	893473691]	沼山博、三	浦主博 萌文	書林				
参考書	適宜、資料を配付	します。									
関連科目	乳児保育Ⅰ、乳児	見保育Ⅱ、子ども家	『庭支援の心理学	、子どもの理	解と援助						
質問受付の 方 法	適宜、担当教員の また、EduNaviを迫			,							
履修上の注意	EduNavi利用する	ため、スマートフォ	ン等ICT機器を持	参してくださし	,\ <sub>0</sub>						

授業計画	1	【オンデマンド型(遠隔)授業】 発達を踏まえた主体的学習及びそれを支える指導の基礎について 〔担当:山村〕 〈予習〉教科書を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
時間外学習		幼児、児童及び生徒の学習に関する理論について [担当:山村]
M IN 71 子 日	2	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
		子どもの発達理解①(言葉のはじまり) [担当:巣立]
	3	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
		子どもの発達理解②(愛着、自己と他者) [担当:巣立]
	4	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
		子どもの発達理解③(自己抑制と自己主張) [担当:巣立]
	5	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
		【オンデマンド型(遠隔)授業】子どもの発達理解④(心の理論)〔担当:巣立〕
	6	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
		子どもの発達理解⑤(遊びの変化) [担当:巣立]
	7	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
		子どもの発達に応じた保育援助①(乳児) [担当:巣立]
	8	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
		子どもの発達に応じた保育援助②(幼児) [担当:巣立]
	9	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
		【オンデマンド型(遠隔)授業】異年齢集団による保育実践 〔担当:巣立〕
	10	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
		子どものアニミズム 〔担当:巣立〕
	11	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
		子どもの想像力とは〔担当:巣立〕
	12	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
		発達に支援を必要とする子ども〔担当:山村〕
	13	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
		生涯発達と生きる力の生成 〔担当:山村〕
	14	〈予習〉指定のプリントを読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
		現代社会に育つ子どもの発達と支援 [担当:山村]
	15	〈予習〉指定のプリントを読み理解する。90分 〈復習〉ワークシートを作成。90分
定期,試験的		期試験[ 筆記 ] 60分   り返り・フィードバック[ 定期試験の解説を行う ] 30分

授業科目名	子ども家庭支援の心理学 教員名 原田 友毛子										
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義				
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必	O保育士資格必修〔子ども家庭支援の心理学〕 ナンパリング 2D302									
授業内容を示す キ 一 ワ 一 ド	生涯発達 家庭・	上涯発達 家庭・家庭の理解 子育て家庭に関する現状と課題 子どもの精神保健とその課題									
授業の概要	家族・家庭の意義 習得します。また	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性や発達課題などについて学びます。 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係について発達的な観点から捉える視点を 習得します。また、子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解しその知見を保育現場で活か せる力を身に付けます。子どもの精神保健とその課題について理解します。									
	【ねらい】 子どもやその家庭 能を身に付ける。		包括的な内容を理解	まし、子ども	とその家庭	支援について基	本的な知識・技				
授業のねらいと到達 目標	(2)親子関係・家 よいかにつて (3)子育て家庭に るようにする。	族関係を家庭ライン理解できる。 関する現状と課題 保健とその課題に	E発達について理解 フサイクル論や家庭 について個々の事 ついて学び、子ども	システム	論かの視点だ	の基本的事項に	ついて説明でき				
授業の方法等	毎回のレスポンス時の重要な内容	スカードへの振り返 については「プチ復 用し、事例検討も交	の理論を保育者視りを各自が発表した 関という形で振りさ ミスたアクティブラー	りして授業 区りを行い	業内容の理解 学習の定着	な な な 図ることとしま	目指します。前 す。				
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記 ■授業への取りが ■提出物 30%										
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:3	30% DP2:20%	DP3:20% DP4:	20% DP	5:0% DP6	6:10% 〔合計	100%]				
教 科 書	「子ども家庭支援	の心理学 第3版	][ISBN:978-47793	07683〕原	信夫、井上美	美鈴編著 北樹出	出版				
参考書	「こども家庭支援」「こども家庭支援	の心理学」白川佳- の心理学」本郷一:	子•福丸由佳編 中: 夫•神谷哲司編著 :	央法規 建帛社							
関連科目	保育の心理学	子どもの理解と援助	カ 子ども家庭支援	 倫 子ども	の保健 保育	・教育相談の理	型論と方法 と方法				
質問受付の方 法	授業終了直後、記	または講師控室にで	て対応します。								
履修上の注意			てください。また、学 を期待します。教科								

授業計画		生涯発達とライフサイクル
	1	〈予習〉シラバスの熟読 90分
٤		〈復習〉子ども家庭支援の心理学の全体構造について整理する90分
時間外学習		乳幼児期から学童期前期にかけての発達
	2	〈予習〉教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく90分 〈復習〉乳幼児期から児童期前期までの発達について教育相談でも扱った内容を整理しまとめる90分
		学童期後期から青年期にかけての発達
	3	〈予習〉教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく90分 〈復習〉学童期後期から青年期までの発達について教育相談でも扱った内容を整理しまとめる90分
		成人期から老年期にかけての発達
	4	〈予習〉教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく90分 〈復習〉自分の家族などの体験談も交えてどのように生きるかについて思索する90分
		家族・家庭の意義と機能
	5	〈予習〉自身の家族などと関連付けて教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく90分 〈復習〉本時のねらいに即したニュースなどを自身の感想を交えて整理する90分
		親子関係・家族関係の理解
	6	〈予習〉自身の家族などと関連付けて教科書を熟読し基礎的な事項を理解しておく90分 〈復習〉本時のねらいに即したニュースなどを自身の感想を交えて整理する90分
		子育ての経験と親としての育ち
	7	〈予習〉親になることについて思索し教科書を熟読し理解しておく90分 〈復習〉親になること、あるいは親として、自分自身の考えをまとめる90分
		子どもと家庭の状況
	8	〈予習〉少子高齢化、世帯構造の変化などについて教科書に加えて検索しておく90分 〈復習〉保育者の立場として自分自身がどう対応していくか考えをまとめる90分
		ライフコースと仕事・子育て
	9	〈予習〉教科書を熟読しライフコースと仕事・子育てについて思索する 90分 〈復習〉ライフコースと仕事・子育てについて自身の感想をまとめる 90分
		多様な家庭とその理解
	10	〈予習〉ひとり親家庭の実態などを教科書やニュースなどから理解しておく90分 〈復習〉多様な家庭への支援はどのようにすることが適切なのかをまとめる90分
		特別な配慮を要する子どもと家庭
	11	〈予習〉特別な配慮を要する子どもとはどのような事か教科書を熟読する 90分 〈復習〉保育所としてどのような配慮が必要なのか整理する 90分
		なぜ子どもの精神保健を学ぶのか 子どもの生活・生育環境とその影響
	12	〈予習〉環境の力が及ぼす影響について教科書を熟読する 90分 〈復習〉配付資料やルーマニアの事例などから発達の可逆性について考えを整理する 90分
		子どもの心の健康にかかわる問題
	13	〈予習〉様々な障害や疾患などについて教科書を熟読する 90分 〈復習〉心の健康に関わる問題を抱えた子どもに対しての適切な保育について整理する 90分
		災害と子ども
	14	〈予習〉配付された資料を熟読する 90分 〈復習〉災害と精神的な健康にどのような関係があり、保育者としてどう関わるかまとめる 90分
		こども家庭支援の心理学のまとめをする
	15	〈予習〉配付された資料や教科書を再度読み込む 90分 〈復習〉子ども家庭支援の心理学についての知見をどの程度理解できたかノート整理をする 90分
定期試験		期試験[筆記]60分 『り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分

授業科目名	子どもの理解と援助 教員名 半田 佳織 / 原田 友毛子									
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習			
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇幼稚園教諭2科	〇保育士資格必修[子どもの理解と援助] 〇分稚園教諭之種免許状必修[道徳、総合的な学習の時間等の指導法及 が生徒指導、教育相談等に関する科目/幼児理解の理論及び方法]								
授業内容を示す キーワード	子ども理解、発達	の過程への理解の	と支援、記録方法と	活用、子育	で支援、保証	育者の援助と共	感的理解			
授業の概要	るつまずきの要因	保育実践の場における乳幼児理解の意義と重要性を理解し、乳幼児期の子どもの発達や学びの過程で生じるつまずきの要因を把握するために必要な原理や観察・記録の在り方について、個々の乳幼児の発達段階や集団との関わり、家庭との連携を含めて考察する力を事例やグループ討議を通して学びます。								
	【ねらい】 子ども理解のため 育実践で活用でき		基礎的態度を理解す	すると共に	、子どもを理	解する方法を具	体的に学び、保			
授業のねらいと 到 達 目 標	(2)子どもの理解で (3)観察・記録の意 (4)保護者の心情	【到達目標】 (1)乳幼児期の子どもの遊び及び生活の実態に即した幼児理解の意義を理解する。 (2)子どもの理解を深めるための基礎的な態度を理解する。 (3)観察・記録の意義と目的、目的に応じた観察法等の基礎的な事柄を例示することができる。 (4)保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解する。 (5)特別な配慮、就学への配慮等の実践的な配慮を具体的に学ぶ。								
授業の方法等	ます。 この学習をもとに	、アクティブラーニ 3 常から表現力を	のいて必要な事項を ングの手法を用いて 磨き、主体的に課題	<b>ごグループ</b>	ワークを授業	きを展開します。	自分の考えを述			
成績評価の基準と方法	■定期試験[レパ ■授業への取りが ■提出物 30%									
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:3	0% DP2:10%	DP3:20% DP4:	20% DP5	5:10% DP	6:10% 〔合計	h100%]			
教 科 書			シリーズ ⑩)」〔ISBI 治・森俊之 中央法		5857908]					
参考書	適宜、資料を配付	けします。								
関連科目	「幼稚園教育要領	[] 文部科学省、「·	保育所保育指針」厚	生労働省	、「幼保連携	型教育保育要领	到内閣府			
質問受付の方 法	適宜、授業中及び	<b>が必要に応じて講</b> 館	<b>・</b> 控室等で対応しま	す。						
履修上の注意		るパワーポイント <i>の</i> 学習ノートとして鏨	)講義資料や、その を理すること。	他参考文献	状、講義の記	録、作成した課	題レポート等			

授業計画		幼児理解の意義と必要性(現代的な課題と乳幼児の心身の発達) [担当:半田] 
٤	1	〈予習〉シラバスの熟読と自己の学びへの展望を考える 45分 〈復習〉幼児理解に関わる現代的課題を調べて整理する 45分
時間外学習		幼児の発達や学びのとらえ方(遊びや生活を通しての経験的・対話的な深い学び) [担当:半田]
	2	〈予習〉幼児期の遊びの特徴や生活の様子を調べる 45分 〈復習〉幼児期の学びで展開される経験的・対話的な学びについて事例をまとめる 45分
	3	幼児の発達に関わる多様な課題 (特別な支援を要する子ども、要保護家庭などの現代的な課題と支援方法) [担当:半田] 〈予習〉特別な支援を要する子どもの特徴や要保護家庭について調べ学習をする 45分 〈復習〉特別な支援について学んだ内容を整理して課題を理解する 45分
		幼児理解を深める保育者の姿勢(保育者の子ども観・保育観の重要性)[担当:半田]
	4	 〈予習〉保育者の専門性について調べ、自分の保育に対する考えをまとめる 45分 〈復習〉子どもとはどのような存在か、保育とは何をすることかといった授業で学んだことを復習する 45分
	5	〈予習〉規範意識の発達について調べる 45分 〈復習〉集団生活における規範の重要性を整理する 45分
		観察・記録の方法と分析・考察の視点(観察法の利点とその活用法) [担当:半田]
	6	〈予習〉観察の視点や様々な観察法について事前に教科書を熟読する 45分 〈復習〉事例への回答を記入し観察の視点を理解する 45分
		観察・記録のまとめについての発表と協議(記録に基づく省察と評価とアセスメント) 〔担当:半田〕
	7	〈予習〉観察・記録をまとめて発表の準備を行う 45分 〈復習〉観察・記録のまとめについての発表の省察を行う 45分
		子ども理解のための保護者との情報共有〔担当:半田〕
	8	〈予習〉保護者支援の主な内容や保護者の困り感を教科書等で事前に学習 45分 〈復習〉ロールプレイで気づいたことをまとめる 45分
		特別な支援を必要とする子どもの理解と援助①(発達的視点と子どもへの支援検討)〔担当:原田〕
	9	〈予習〉発達障害の特徴を整理して事前に理解する 45分 〈復習〉事例で扱われた障害特性を整理して障害への理解を深める 45分
		特別な支援を必要とする子どもの理解と援助②(保護者への支援とその連携を検討)〔担当:原田〕
	10	〈予習〉保護者の困り感を事前に調べる 45分 〈復習〉教科書の指定したページをまとめる(特別支援雄理解) 45分
		家庭や地域との連携と支援体制と子育て支援の課題検討〔担当:原田〕
	11	〈予習〉自分を取り巻く地域資源を5つ以上あげてその特徴や利便性等ノートに整理する 45分 〈復習〉自分たちで考えた課題検討についての感想を書く45分
		子ども理解についてのまとめ [担当:半田]
	12	〈予習〉各自の子ども理解に関する学びについてをまとめる45分 〈復習〉子ども理解に関して考えた課題検討について感想を書く45分
定期試験		と 思期試験[レポート] らり返り・フィードバック[コメントを入れて成績等配付時に返却]

授業科目名		子どもの保健		教員名	田中 直代					
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	講義				
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必	〇保育士資格必修〔子どもの保健〕 ナンパリング 1D304								
授業内容を示す キーワード	健康、母子保健等	建康、母子保健手帳、スキャモン、パーセンタイル成長曲線、虐待、感染症、集団生活前健診								
授業の概要	達していますが、 ない生活を送るた	子どもの保健は子どもの身体の健康を維持増進することを目的とした実践活動です。子どもは日々発育・発達していますが、先天的条件、養育や環境の条件を受けやすいです。子どもが順調な発育・発達をし、支障のない生活を送るためには大人や社会の適切な対応が必要となります。子どもの将来の健康状態を予測し、自立して健康に過ごせるよう保健的働きかけの重要性を学びます。								
	の意義を理解し、 期発見に努め、可 の必要性を理解し を理解するために	【ねらい】 乳幼児期の心身の健康状態はその後の人生の健康や生活の基礎になります。子どもの心身の健康と保健 の意義を理解し、身体発育、生理機能、運動機能の発達について学び、子どもの健康状態を観察し不調の早 期発見に努め、子どもの病気や救急疾患、事故、アレルギーについて適切な予防法や危機管理、健康管理 の必要性を理解します。一人一人の発育・発達を把握し保護者、他職種と情報共有することが重要であること を理解するために学びます。								
授業のねらいと 到 達 目 標	らいと 【到達目標】 (1)子どもの心身の発育・発達に対する保健活動の意義を理解する。 (2)スキャモンの器官別発育曲線について説明できる。 (3)子どもの心身の健康状態の把握すべき項目を挙げることができる。 (4)子どもの救急疾患の特徴とその対応を挙げることができる。 (5)子どもの免疫の発達と感染症の特徴を挙げることができる。 (6)保健活動が他職種間の連携・協働下での適切な対応が重要であることに気づく。									
授業の方法等	<ul><li>・テキスト中心に</li><li>・授業の最後にグ</li></ul>	テいます。子どもに ゛ループディスカッシ	リントによる講義形: 関する医療や保健 ションを行います。 の説明に色鉛筆が	のニュース						
成績評価の基準と方法			ノノート点検〕 10%							
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:4	0% DP2:10% I	DP3:20% DP4:1	0% DP	5:10% DP	6:10% 〔合計	†100%]			
教科書	「子どもの保健テ	キスト」〔ISBN:978	-4787825315〕 小々	林美由紀	診断と治療	社				
参 考 書	「子どもの発育・多その他、適宜、資		- 育児サポートにも	大活躍!	一」診断と治	療者				
関連 科目	子どもの健康と安	·····································								
質問受付の 方 法	授業中、授業前後	受業中、授業前後で随時受け付けます。								
履修上の注意	配付したプリント		早退・欠席をしないで ・に学習ノート、ファイ 習に使用します。							

授業計画		子どもの健康と保健 (1)保健活動の意義と目的
_	1	〈予習〉初回のため、なし
٤		〈復習〉第1章1「子どもの保健とは」「日本の保育所の歴史と保健活動」を読む。90分
時間外学習		子どもの健康と保健 (2)子どもの出生と母子保健の意義
	2	〈予習〉1章2「母子健康手帳の歴史」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
		子どもの健康と保健 (3)現代社会における子どもの健康に関する現状と課題
	3	〈予習〉第1章3図1「出生数および合計特殊出生率の年次推移」からわかることを見出す。 90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 90分
		子どもの発育・発達と保健 (1)子どもの身体発育
	4	〈予習〉第2章1「乳幼児の身体計測の仕方」を読む。 90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 90分
		子どもの発育・発達と保健 (2)子どもの運動機能の発達
	5	〈予習〉第2章1「新生児の原始反射」を読む。 90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 90分
		子どもの発育・発達と保健 (3)生理機能の発達と生活習慣
	6	〈予習〉第2章2「生活習慣の時代変化」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 90分
		地域における保健活動と子どもの虐待防止
	7	〈予習〉第3章「海外での子育て支援」を読む。 90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 90分
		子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握
	8	〈予習〉第4章「子どもの健康状態の把握」を読む。 90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 90分
		【オンデマンド型(遠隔)授業】子どもの病気 (1)子どもの免疫の発達と感染症の特徴
	9	〈予習〉第5章1「感染症の歴史」を読む。 90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 90分
		【オンデマンド型(遠隔)授業】子どもの病気 (2)感染症の予防および適切な対応
	10	〈予習〉第5章2「感染経路と対策」を読む。 90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 90分
		子どもの病気 (3)救急疾患の特徴と適切な対応
	11	〈予習〉第5章3表1「年度別·家庭用品などにおける子どもの誤飲事故述べ報告件数」を読む。 90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 90分
		子どもの病気 (4)新生児の病気、新生児期にわかる先天性の病気の特徴と対応
	12	〈予習〉第5章4「低出生体重児の発育」、「出生前診断の課題」を読む。 90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 90分
		子どもの病気 (5)アレルギー疾患の特徴と適切な対応
	13	〈予習〉第5章5「食物アレルギーと離乳食開始の変遷」を読む。 90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 90分
		【オンデマンド型(遠隔)授業】子どもの病気 (6)慢性疾患の特徴と適切な対応
	14	〈予習〉第5章6「子どもの慢性疾患とは」を読む。 90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 90分
		保護者との情報共有と家族の支援 /まとめ
	15	〈予習〉第6章「障害児や慢性疾患児への子ども同士の理解」を読む。 90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 90分
定期試験		期試験[筆記]60分 もり返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分

授業科目名		子どもの食と栄養	<u> </u>	教員名		田中 直代					
配当年次	2	開講時期	時期 前期 単位数 2 授業形態 演習								
卒業・免許・資格との関係		CR育士資格必修〔子どもの食と栄養〕     ナンパリング     2D305									
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	五大栄養素、水分	5大栄養素、水分、乳汁栄養、食育、食物アレルギー、児童福祉施設									
授業の概要	礎、子どもの成長 ある「3・1・2弁当名	子どもが健康に発育し、成長するためには適切な量と質の食事は大切であることを理解します。栄養学の基礎、子どもの成長による生理的変化や栄養状態を評価する方法を理解します。また、料理選択型栄養教育である「3・1・2弁当箱法」、「育児用ミルクの調乳」、「離乳食の試食」について演習を行います。これらを通して、子どもや保護者に支援となる知識や技術を修得します。									
	食の伝承を受けれ 食を楽しみます。	継ぎ豊かな食生活 体調不良、食物ア		れるように ある子どもに	食に関心を 対する食事	持ち、子どもや係 の対応を理解し	装者とともに ます。これらを				
授業のねらいと 到 達 目 標	と 【到達目標】 (1)健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的な知識を理解する。 (2)子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。 (3)食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会・文化とのかかわりの中で理解する。 (4)家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題を説明することができる。 (5)特別な配慮を要する子どもの食と栄養について適切に対応することができる。										
授業の方法等	・演習(①3・1・2手 食の試食を行いる ・授業の最後にク	よ 当箱法の実習を									
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記 ■提出物(ファイ)	記〕60% レノート点検)10%	(演習について3回	) 30%							
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:4	0% DP2:10%	DP3:20% DP4:	10% DP5	:10% DP	6:10% 〔合計	100%]				
教 科 書			21749341) 児玉浩 食品成分表」(ISBN			大修館書店					
参考書			手引き」財団法人母: 峰雄監修 ミネルウ		会編 母子	衛生事業団					
関連科目	保育内容健康	儿児保育 I 乳児(	 呆育 II								
質問受付の 方 法	授業中、授業前後	B業中、授業前後で随時受付ます。 									
履修上の注意	ださい。エプロン、	三角巾、弁当箱を	としないでください。 日意します。配付うあります。色鉛筆を	資料は授業	中に書き込	みをし、A4判2穴					

授業計画		子どもの健康と食生活
٤	1	〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉第1章を読む。配付したプリントを見返す。90分
時間外学習		栄養・食に関する基本的知識 (1)消化吸収の仕組み
	2	〈予習〉第2章1を読む。 90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 90分
		栄養・食に関する基本的知識 (2)タンパク質の代謝と栄養学的意義
	3	〈予習〉第2章3を読む。食品成分表よりタンパク質を多く含む食品を調べる。 90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
		栄養・食に関する基本的知識 (3)糖質、脂質の代謝と栄養学的意義
	4	〈予習〉第2章4.5を読む。食品成分表で炭水化物、脂質、コレステロールを多く含む食品を調べる。 90分 〈復習〉配付したブリントを見返す。 90分
		栄養・食に関する基本的知識 (4)ビタミンの代謝、ミネラルの代謝と栄養学的意義、食物繊維と水分
	5	〈予習〉第2章6.7を読む。食品成分表で水溶性ビタミン、脂溶性ビタミン等多く含む食品を調べる。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
		栄養・食に関する基本的知識 (5)妊婦・授乳婦の食事摂取基準、食事バランスガイド
	6	〈予習〉第2章9.10を読む。食品成分表で葉酸を多く含む食品を調べる。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
		栄養·食に関する基本的知識 (6)学童·思春期の食事摂取基準 3·1·2弁当箱法(演習)
	7	〈予習〉第3章7を読む。配付したプリントを読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
		子どもの発育・発達と栄養・食生活 (1)乳幼児期の咀嚼機能の発達と食事提供
	8	〈予習〉第3章2「咀嚼機能の発達の目安について」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
		子どもの発育・発達と栄養・食生活 (2)乳児期栄養-乳汁栄養
	9	〈予習〉第3章5「母乳栄養の利点と留意点」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
		子どもの発育・発達と栄養・食生活 (3)乳児期栄養-乳汁栄養 調乳(演習)
	10	〈予習〉第3章5「育児用ミルクの調乳方法」を熟読する。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
		子どもの発育・発達と栄養・食生活 (4)乳児期栄養-離乳食期栄養
	11	〈予習〉第3章6「幼児期の成長と発達」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
		子どもの発育・発達と栄養・食生活 (5)乳児期栄養-離乳食期栄養(演習)
	12	〈予習〉第3章6, 配付したプリントを読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
		食育の基本と実践
	13	〈予習〉第4章「食育基本法の概要」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
		児童福祉施設や家庭における食と栄養
	14	〈予習〉第5章1.2.3「児童福祉施設での食事の提供で注意すべき点」を読む。90分 〈復習〉配付したプリントを見返す。90分
		特別な配慮を要する子どもの食と栄養 / まとめ
	15	〈予習〉第7章1「食物アレルギー」を読む。90分 〈復習〉定期試験対策資料を作成する。180分
定期試験		□期試験〔筆記〕60分 長り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

保育の内容・方法に関する科目

授業科目名	保育·教育課程論 <b>教員名</b> 髙後 仁									
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	講義			
卒業・免許・資格 と の 関 係		〇保育士資格必修〔保育の計画と評価〕 〇幼稚園教諭2種免許状必修〔教育課程の意義及び編成の方法〕 ナンパリング 2D401								
授業内容を示す キ 一 ワ ード	幼稚園教育要領	功稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育·保育要領								
授業の概要		幼稚園及び保育所におけるカリキュラムを考え、保育士養成課程の保育の計画と評価と幼稚園教諭養成課 程の教育課程論について学ぶ。								
		所における、カリキ 」な知識・技能を養	ュラムを理解し、実 う。	際のカリキ	テュラムに沿っ	って指導計画が	作成できる保育			
授業のねらいと 到 達 目 標	上記のねらいを選		カリキュラムについ しっかり指導計画の			推園教諭として〕	<b>登質の向上と子</b>			
授業の方法等	グの手法も取り入	、れ、理解を深めて	かな内容の提示する いく。授業時間内に の授業を行います。				クティブラーニン			
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記 ■授業への取りが ■提出物 30%									
DPに掲げる学力の割合	DP1:4	0% DP2:10%	DP3:30% DP4:	10% DP	5:0% DP6	6:10% 〔合計	100%]			
教 科 書	保育者養成シリー	-ズ「教育・保育課ネ	程論」(ISBN 978486	33591479)	高橋弥生•	大沢裕 編著	(株)一藝社			
参考書	「幼稚園教育要領	け解説」厚生労働省 解説」文部科学省 こども園教育・保育		、文部科	学省、厚生労	付働省 フレーベル	レ館			
関連科目	保育·教職論、教	育方法•技術論、偽	<del></del>							
質問受付の方 法	適宜研究室等で	対応します。								
履修上の注意	講義の記録、配付	けした印刷物等はA	4ファイルに学習ノ	ートとして	整理してくだ	さい。				

授業計画	教育要領の性格、位置づけ並びにカリキュラム編成の基本
٤	<ul><li>1 〈予習〉教科書第1章1を読み込む 90分 〈復習〉ブリントをまとめる 90分</li></ul>
時間外学習	教育要領改訂の変遷、主な改定内容と社会的背景
	<ul><li>2 〈予習〉教科書第1章3を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分</li></ul>
	保育課程・教育課程の必要性
	3 〈予習〉教科書第2章1・2を読み込む 90分 〈復習〉ブリントをまとめる 90分
	保育所保育指針と保育の全体的な計画編成の基本と留意点
	4 〈予習〉教科書第3章を読み込む 90分 〈復習〉ブリントをまとめる 90分
	【オンデマンド(遠隔)】幼稚園教育課程の基本と編成に向けて
	5 〈予習〉教科書第4章を読み込む 90分 〈復習〉ブリントをまとめる 90分
	【オンデマンド(遠隔)】教育課程編成の留意点
	6 〈予習〉教科書第5章を読み込む 90分 〈復習〉ブリントをまとめる 90分
	【オンデマンド(遠隔)】指導計画作成の手順と留意点
	7 〈予習〉教科書第6章を読み込む 90分 〈復習〉ブリントをまとめる 90分
	保育方法と指導計画及び記録による反省
	8 〈予習〉教科書第7章を読み込む 90分 〈復習〉ブリントをまとめる 90分
	指導要録の構成と記載法
	9 〈予習〉教科書第8章を読み込む 90分 〈復習〉ブリントをまとめる 90分
	保育の基本と保育指導計画
	10 〈予習〉教科書第9章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	幼稚園における指導計画
	11 〈予習〉教科書第10章を読み込む 90分 〈復習〉ブリントをまとめる 90分
	保育形態に応じた指導計画
	12 〈予習〉教科書第11章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	年間計画と行事
	13 〈予習〉教科書第12章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	カリキュラム・マネジメントの意義と重要性
	14 〈多習〉教科書第13章を読み込む 90分 〈復習〉プリントをまとめる 90分
	評価の基本的考え方や対象
	15 〈予習〉教科書第15章を読み込む 90分 〈復習〉ブリントをまとめる 90分
	▶定期試験〔筆記〕60分 ▶振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授業科目名		保育內容総論 * 教員名 相沢 和恵								
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習			
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇幼稚園教諭2科	<ul><li>○卒業必修</li><li>○保育士資格必修〔保育内容総論〕</li><li>○幼稚園教諭2種免許状必修〔領域および保育内容の指導法に関する科目/保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)〕</li></ul>								
授業内容を示す			きと教育 生活と遊び	「個と集	団 総合的な	指導				
授業の概要	具体的な乳幼児( す。 保育士として保育 せ、遊びや生活の	乳児保育、幼児教育の施設において、園生活全体を通じて総合的に指導するという考え方を理解した上で、 具体的な乳幼児の姿と関連付けながら、環境構成、保育実践をするために必要な知識・技術を身に付けます。 ま育士として保育現場や教育現場での勤務経験を有する教員であることから、子どもの具体的な姿と関連させ、遊びや生活の中でどのような経験をしているのか、五領域のねらいおよび内容とのつながりを意識した、相互的、総合的な視点を伝え、保育の専門的知識に活かすことができます。								
授業のねらいと 到 達 目 標	実態に即した具体す。 【到達目標】 (1)幼児教育内容」 (2)乳幼児の発達 (2)乳幼児の発達	就学前教育における見方・考え方と保育内容との関連を理解します。指導計画の全体像を理解し、乳幼児の実態に即した具体的な保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)につなげられる知識と技術を養います。  【到達目標】  (1)幼児教育および乳児保育の基本を踏まえ、「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育内容」「こついて説明し、それぞれの関連性を概説できる。 (2)乳幼児の発達、興味や関心、生活を取り巻く実情に即した指導計画を立案できる。 (3)保育の多様な展開について、園行事や社会的イベントなども踏まえながら、求められる在り方を説明でき								
授業の方法等	うことがあります。	ーニングの手法を	・取り入れ、【グルー の授業を行います。	プワーク/	プレゼンテー	ション/模擬保育	育】を授業内で行			
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記 ■授業への取り約 ■提出物 20%									
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:20	0% DP2:10%	DP3:20% DP4:2	20% DP!	5:10% DP	6:20% 〔合計	†100%]			
教 科 書	「演習 保育内容約	総論 あなたならど <sup>-</sup>	うしますか?」酒井雪	と子・守巧	編著/〔ISBN	: 978-48934728	09]/萌文書林			
参考書	〇「保育所保育指 〇「幼稚園教育要 〇「幼保連携型認	針解説」(ISBN:9 孫解説」(ISBN:9	いる」(ISBN:978-49 78-4577814482)/厚 78-4577814475)/ダ 保育要領解説」(ISE 省/フレーベル館	了生労働省 て部科学省	î(編集)/フレ î(編集)/フレ	~一ベル館	ズノ兎ブックス			
関連科目	保育内容(健康	人間関係 環境 人間関係 環境 インクルーシブ	言葉 表現)の指導	 法		-				
質問受付の 方 法	適宜、担当教員0	)研究室で受け付	けます。							
履修上の注意	授業の実施場所 学習の積み重ね	、準備物、服装等1を重視するため、	とした振る舞いをして こついては、事前の さむを得ず授業を欠 動的に行動してくだ	指示をよく 席する場			へ資料、課題の			

授業計画	<b>I</b>	オリエンテーション、幼児教育(就学前教育)の基本と保育内容の全体構造
٤	1	〈予習〉初回のため、なし。 〈復習〉実習で経験した保育内容に関する事例を作成する。180分
   時 間 外 学 習	9	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における
	2	保育内容の理解と実習での学びとの関連付け 〈予習〉実習で経験した保育内容に関する事例を作成する。90分
	_	〈復習〉実習で経験した保育内容に関する事例を考察する。90分
		生活や遊びを通しての総合的な指導の実際と保育者の役割
	3	〈予習〉第3回のテーマに沿ったエピソードを自らの実習経験から事例にまとめる。90分 〈復習〉第3回の授業内容の要点をまとめる。90分
		養護および教育が一体的に展開する保育の実際と保育者の役割
	4	〈予習〉第4回のテーマに沿ったエピソードを自らの実習経験から事例にまとめる。90分 〈復習〉第4回の授業内容の要点をまとめる。90分
		個と集団の発達を踏まえた、環境を通して行う保育の実際と保育者の役割
	5	〈予習〉第5回のテーマに沿ったエピソードを自らの実習経験から事例にまとめる。90分 〈復習〉第5回の授業内容の要点をまとめる。90分
		乳幼児の実態に沿った、物や人との関わりを深める情報機器・教材の活用と実際
	6	〈予習〉第6回のテーマに沿ったエピソードを自らの実習経験から事例にまとめる。90分 〈復習〉第6回の授業内容の要点をまとめる。90分
		乳幼児にとっての行事の意味と園行事の在り方と実際
	7	〈予習〉第7回のテーマに沿ったエピソードを自らの実習経験から事例にまとめる。90分 〈復習〉第7回の授業内容の要点をまとめる。90分
		幼児教育、乳児保育における指導計画の考え方と作成の手順・配慮点(行事運営)
	8	〈予習〉第7回のテーマに沿った指導案を作成する。[60分] 〈復習〉模擬保育ができるよう、教材等事前準備を行う。[120分]
		保育内容を相互的、総合的に活かした模擬保育の実践と、子ども理解に基づく評価の在り方
	9	〈予習〉模擬保育ができるよう、環境構成等事前準備を行う。[150分] 〈復習〉他グループの模擬保育を評価する。[30分]
	10	模擬保育と振り返り(時間/環境構成/保育者の援助/臨機応変な対応)
		〈予習〉模擬保育を自己評価し、発表できるようにする。90分 〈復習〉実践した指導案、保育実践をグループ評価する。90分
		家庭や地域、社会資源等との連携を踏まえた保育の実際と保育者の役割
	11	〈予習〉地域社会と連携を実践する保育の事例を読み、考えをまとめる。90分 〈復習〉第11回の授業内容の要点をまとめる。90分
		小学校等との連携を踏まえた保育の実際と保育者の役割
	12	〈予習〉小学校等の連携を踏まえた保育の事例を読み、考えをまとめる。90分 〈復習〉第12回の授業内容の要点をまとめる。90分
		特別な支援を必要とする子どもの保育の実際と保育者の役割
	13	〈予習〉特別な支援を必要とする子どもの保育の事例を読み、考えをまとめる。90分 〈復習〉第13回の授業内容の要点をまとめる。90分
		多文化共生の保育の実際と保育者の役割
	14	〈予習〉多文化共生の保育の事例を読み、考えをまとめる。90分 〈復習〉第14回の授業内容の要点をまとめる。90分
		保育内容総論のまとめ
	15	〈予習〉これまでの事例と考察を振り返り、自らの子どもへの見方・考え方の癖を捉える。90分 〈復習〉保育内容総論での学びと自らの保育観をまとめる。90分
定期試験		定期試験[筆記]60分 振り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分

授業科目名		保育内容健康		教員名	伊藤	えつ子 / 杉।	山 直樹			
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習			
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇幼稚園教諭2種	D保育士資格必修[保育内容演習] D幼稚園教諭2種免許状必修[領域及び保育内容の指導法に関する科目 ナンバリング 1D403 /領域に関する専門的事項・健康]								
授業内容を示す キーワード	領域 健康									
授業の概要	識や基礎的技能を 達等において乳気	領域「健康」について、乳幼児を取り巻く社会的状況や教育的課題を踏まえ上で、指導に必要となる基礎的知識や基礎的技能を身に付ける。具体的には、乳幼児の心身の発達、基本的生活習慣、安全な生活、運動発達等において乳幼児期には大人と違った特徴や意義があることを踏まえ、その相違が指導方法にも関連していることについて理解する。								
			≢康な心と体を育て ∤に付けることができ		で安全な生活	活を作り出す力を	を養うための専			
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】 (1)乳幼児期の健康課題と健康の発達的意味を理解する。 (2)乳幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する。 (3)安全な生活と怪我や病気の予防を理解する。 (4)乳幼児期の運動発達の特徴を意義を理解する。									
授業の方法等			ろの教員がオムニ/ プワークやディスカッ							
成績評価の基準と方法	■定期試験[レオ ■授業への取りが ■提出物 40%									
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:40	)% DP2:10% [	DP3:20% DP4:	10% DP5	:10% DP	6:10% 〔合計	-100%]			
教科書	「演習 保育内容 井狩芳子 萌文書		ぎもへつなぐ健康の	視点」〔ISBN	N:978-4893	3472755)				
参 考 書	「保育所保育指針	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館、 「保育所保育指針解説」フレーベル館、 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館								
関連科目		保育内容総論、保育内容人間関係、保育内容環境、保育内容言葉、保育内容表現 保育内容健康の指導法 子どもの健康と安全								
質問受付の方法	適宜研究室等で対	対応する。								
履修上の注意	講義の記録、配付	けした印刷物等はA	4ファイルに学習ノ	ートとして 整	整理すること					

授業計画		健康の定義と乳幼児期の健康の意義〔担当:伊藤〕
	1	〈予習〉シラバスの熟読、教科書第1章を読む 45分 〈復習〉第1章を復習し、健康の定義について整理する 45分
G는 BE 서 쓰 359		乳幼児期の身体にかかわる発達と乳幼児期の運動発達の特徴[担当:伊藤]
時 間 外 学 習 	2	
		〈予習〉教科書第2章第8章1・2・3を読む 45分 〈復習〉第2章健康な子ども、元気な子どもの姿と第8章1・2・3運動発達の特徴を整理する 45分
		乳幼児期の健康課題(乳幼児を取り巻く生活環境と健康) [担当:伊藤]
	3	〈予習〉教科書第3章を読む 45分 〈復習〉第3章を復習し、乳幼児期の健康課題について整理する 45分
		乳幼児期の生活習慣の形成①(生活リズムの形成とその意義)〔担当:伊藤〕
	4	〈予習〉教科書4章を読む 45分 〈復習〉第3章を復習し、生活リズムの形成とその意義について整理する 45分
		乳幼児期の情緒・社会性・感覚器官にかかわる発達〔担当:伊藤〕
	5	〈予習〉教科書第5·6·7章を読む 45分 〈復習〉第6·7章を復習し、情緒・社会性・感覚器官にかかわる発達について整理する 45分
		日常生活における運動と遊びとしての運動〔担当:伊藤〕
	6	〈予習〉教科書第8章4・5及び第9章、第13章を読む 45分 〈復習〉第8章4・5及び第9章、第13章を復習し、運動発達と遊びについて整理する 45分
		乳幼児期の生活習慣の形成②(生活習慣の獲得)[担当:伊藤]
	7	〈予習〉教科書第10章を読む 45分 〈復習〉第10章を復習し、生活習慣の獲得について整理する 45分
		子どもの健康を支える恊働〔担当:伊藤〕
	8	〈予習〉教科書第14章を読む 45分 〈復習〉第14章を復習し、子どもの健康を支える協働について整理する 45分
		幼児の安全教育と危険①(安全教育と安全管理)[担当:杉山]
	9	〈予習〉教科書第11章1·2を読む 45分 〈復習〉第11章1·2を復習し、安全教育と安全管理について整理する 45分
		幼児の安全教育と危険②(幼児期の怪我や事故の特徴と応急措置・病気の予防)〔担当:杉山〕
	10	〈予習〉教科書第11章3・4を読む 45分 〈復習〉第11章3・4を復習し、怪我や事故の特徴について整理する 45分
		幼児の安全教育と危険③(リスクの見極めとハザードの除去) [担当:杉山]
	11	〈予習〉教科書第12章を読む 45分 〈復習〉第12章を復習し、リスクの見極めとハザードの除去について整理する 45分
		保育内容・健康のまとめ〔担当:伊藤〕
	12	〈予習〉教科書第15章を読む 45分 〈復習〉第15章を復習し、配布プリントを完全に仕上げる 45分
定期試験		┃ ■ 開試験〔レポート〕
	· 1/1	The second secon

授業科目名		保育内容人間関	係	教員名		室井 佑美				
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習			
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇幼稚園教諭2科	〇保育士資格必修「保育内容演習〕 〇幼稚園教諭2種免許状必修「領域及び保育内容の指導法に関する科目/ 領域に関する専門的事項・人間関係〕								
授業内容を示す キーワード	保育内容 領域	保育内容 領域 人間関係 就学前教育 育みたい資質·能力 乳幼児の人と関わる力の発達								
授業の概要	広く、より深く考え 合的に保育を展 乳幼児に対する。	領域「人間関係」について学問的な背景や基盤となる考え方を学びます。人間関係の専門的視点を、より幅広く、より深く考えることを目指します。また、養護と教育にかかわる保育内容が、それぞれ関連性を持ち、総合的に保育を展開していくための知識、技術、判断力を修得します。 乳幼児に対する就学前教育において、「何をどのように指導するか」という視点で、「何を」にあたる部分であり、主体的・対話的で深い学びから領域「人間関係」における専門的知識・技術を修得し、子どもの理解を深めます。								
	【ねらい】 領域「人間関係」 技能を養います。		る、乳幼児の人と関	わる力の	育ちに関する	る専門的事項に	ついて、知識と			
授業のねらいと 到 達 目 標	(1)乳幼児を取り (2)乳幼児期の え、子どもに対す	人と関わる力の発達 る理解を深めなが	ぐる現代的課題に 幸について、保育所 ら、保育内容を具な 」と五領域との関連	保育指針・ 体的に説明	や幼稚園教育 できる。	育要領における	領域を通して捉			
授業の方法等	自分の考えを持た ICT(EduNavi)を	っ、意見をまとめる。 舌用した双方向型の	2回(合計48時間)行 ことを多く行います。 の授業を行います。 ・取り入れ、【グルー	。一部、視耳			うことがありま			
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レデ ■授業への取りが ■提出物 30%									
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:3	0% DP2:10% [	DP3:30% DP4:	10% DP5	5:10% DP	6:10% 〔合計	†100% <u>)</u>			
教科書	「〈領域〉人間関係	系ワークブック」(ISE	BN:978-489347262	25)/田村美	由紀・室井	佑美著/萌文書	<b>*</b>			
参考書	・「保育所保育指針解説」(ISBN:978-4577814482)/厚生労働省(編集)/フレーベル館・「幼稚園教育要領解説」(ISBN:978-4577814475)/文部科学省(編集)/フレーベル館・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN:978-4577814499) 内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館その他、適宜資料を配付します。									
関連科目	保育内容(健康	環境 言葉 表現)	) 保育内容人間関	係の指導法	去 保育内容	<b>F総論</b>				
質問受付の 方 法	適宜、授業内、教	適宜、授業内、教員研究室などで受け付けます。								
履修上の注意	毎回、授業内容に 「保育内容人間限 学習の積み重ね	は配付プリント又は 関係の指導法」は、	こついては、事前の :テキストに書き込み 同じテキストを使用 やむを得ず授業を欠 かしてください。	、貼付しま します。	す。なお、育	前期「保育内容人				

集計画		オリエンテーション、就学前教育の基本と保育内容の全体構造
٤	1	〈予習〉初回のため、なし。 〈復習〉第1回の授業内容の要点をまとめる。誕生日壁面を制作しよう。〔90分〕
間外学習		乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴と社会的背景
	2	〈予習〉テキストのワークを行う。〔30分〕 〈復習〉第2回の授業内容の要点をまとめる。〔60分〕
		子どもの人と関わる力の発達~0・1・2歳児~
	3	〈予習〉テキストのワークを行う。〔30分〕 〈復習〉第3回の授業内容の要点をまとめる。ふれあい遊びレポートを作成しよう。〔60分〕
		子どもの人と関わる力の発達~3・4・5歳児~
	4	〈予習〉テキストのワークを行う。〔30分〕 〈復習〉第4回の授業内容の要点をまとめる。積み木遊びレポートを作成しよう。〔60分〕
		養護(生命の保持・情緒の安定)の実際と人間関係における保育者の役割と実際
	5	〈予習〉テキストのワークを行う。〔30分〕 〈復習〉第5回の授業内容の要点をまとめる。養護に関する4コマ漫画レポートを作成しよう。〔60分〕
		保育内容人間関係のねらいと内容(乳児保育/満1歳以上満3歳未満児/満3歳以上児)と実際
	6	〈予習〉テキストのワークを行う。〔30分〕 〈復習〉第6回の授業内容の要点をまとめる。 領域人間関係に関する4コマ漫画レポートを作成しよう。〔60分〕
		遊び・生活場面における人との関わりの実際(子ども-保育者、子ども-子どもとの関係性)
	7	〈予習〉テキストのワークを行う。〔30分〕 〈復習〉第7回の授業内容の要点をまとめる。 人との関わりを育む〇〇レポートを作成しよう。〔60分〕
		遊び・生活場面における人との関わりの実際(クラス集団と個々の関わりと求められる役割)
	8	〈予習〉テキストのワークを行う。〔30分〕 〈復習〉第8回の授業内容の要点をまとめる。共同製作レポートを作成しよう。
	9	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の実際 (自立心/協同性の育ち/道徳性・規範意識の芽生え/社会生活との関わり) (予習)テキストのワークを行う。〔30分〕
		〈復習〉第9回の授業内容の要点をまとめる。遊びの準備をしよう[60分]  小学校との円滑な接続におけるスタートカリキュラムと保育内容人間関係
	10	(予習〉テキストのワークを行う。[30分] (復習〉第10回の授業内容の要点をまとめる。遊びレポートを作成しよう[60分]
		特別な配慮が必要な子どもの人との関わりの育ちと求められる役割
	11	〈予習〉テキストのワークを行う。〔30分〕 〈復習〉第11回の授業内容の要点をまとめる。多様性を育む〇〇レポートを作成しよう。〔60分〕
		保育内容人間関係と他の領域との相互関連性/保育内容人間関係の指導法に向けて
	12	〈予習〉テキストのワークを行う。〔30分〕 〈復習〉第12回の授業内容の要点をまとめる。保育内容人間関係で学んだこと、 保育者になっても忘れてはいけないと思ったことを箇条書きにしてまとめよう。〔60分〕
	♣÷	   期試験[ レポート ]
期試験		初め歌しとか 「 」     まいぶし フィードバック「 活割夫」 アダ 期「 】 思朗 依 の 投道 注   博業 内 で 返却 する 〕

## ・期 試験 🗎

|◆振り返り・フィードバック[ 添削をして後期! 人間関係の指導法]授業内で返却する ]

授業科目名		保育内容環境		教員名	野	口 一夫 / 髙	後仁		
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習		
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇幼稚園教諭2科	〇保育士資格必修[保育内容演習] 〇幼稚園教諭2種免許状必修[領域及び保育内容の指導法に関する科目/ 領域に関する専門的事項・環境] 1D405							
授業内容を示す キーワード	環境 幼保小の招	接続・連携 環境と(	の出会い						
授業の概要			通して行う教育・保 クやディベートを通			どもを取り巻く環	境と、子どもの		
	【ねらい】 子どもを取り巻くる 技能を身に付ける		-どもと環境の関わ	りについて	の専門的事	項における感性	を養い、知識・		
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】 環境を通して行う教育・保育の基本を理解し、身近な環境との関わりを具体的な生活事例(製作・遊ぶ活動) を通して体験的に学び、実践できるようにする。								
授業の方法等	具体的な体験・経		名の教員で原則ク 習(季節との出会い 身に付けます。			を通して、環境を	上広い意味や保		
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記 ■授業への取り約 ■提出物 30%								
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:10	0% DP2:10% [	DP3:20% DP4:	10% DP5	5:40% DP6	6:10% 〔合計	†100%]		
教科書	適宜、資料を配付	t							
参考書	「生活事例からはじめる保育内容「環境」」 青踏社 「環境・エコへの道標〜幼稚園・保育園・学校・家庭へ〜」 雄文社 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館								
関連科目	保育内容(健康· 保育·教職論、保		境・表現)、保育内	容総論、保	育内容環境	の指導法、			
質問受付の 方 法	担当教員 随時								
履修上の注意			-ト等の資料を整理 鉛筆を用意してくた		 A4版ファイ	 ル」を用意してく	 ばださい。		

授業計画	1	環境とは 領域「環境」 レイチェル・カーソン「センス・オブ・ワンダー」 環境を通して行う教育・保育の基本 〈予習〉レイチェル・カーソンについての調査 45分
٤		〈復習〉領域「環境」の概要理解 45分
時間外学習		身近な環境の構成 人的・物的・自然・社会 ナチュラル保育検定
	2	〈予習〉身近な環境とは何かを調査 45分 〈復習〉身近な環境への理解 45分
		さまざまな環境との出会い ①季節との出会い 春・夏
	3	〈予習〉春·夏の学内の動植物調査 45分 〈復習〉学びの後のフィールド学習 45分
	4	さまざまな環境との出会い ②身近な草花との出会い オオイヌノフグリ、ハルジオン等 〈予習〉家の周囲の野草調べ 45分 〈復習〉ファーム周辺の野草調べ 45分
	5	〈予習〉身近な野菜の花と実調べ 45分 〈復習〉成長の観察 45分
		さまざまな環境との出会い ④野菜の栽培 花・実
	6	〈予習〉その後の成長 45分 〈復習〉わき芽・除草・追肥等の効果的なやり方 45分
		さまざまな環境との出会い ⑤季節との出会い 秋・冬 クヌギとコナラ等 星座 雲
	7	〈予習〉秋·冬の学内の動植物調査 45分 〈復習〉学びの後のフィールド学習 45分
		さまざまな環境との出会い ⑥動物(虫・鳥等) セミ、秋の虫、鳥の声
	8	〈予習〉学内に棲むセミ・バッタ・鳥等の調査 45分 〈復習〉それぞれの特徴調べ 45分
		さまざまな環境との出会い ⑦遊び(自然・おもちゃ・昔の遊び等) ササ舟
	9	〈予習〉昔の遊び調べ 45分 〈復習〉自然・おもちゃ・昔の遊び等再実践 45分
		保育内容「環境」の計画・評価と課題 長期、短期の指導計画 日案 週案 日誌
	10	〈予習〉保育内容「環境」の計画 45分 〈復習〉評価と課題 45分
		安全のための環境 事故・災害・不審者等 進路選択
	11	〈予習〉安全のための環境調べ 45分 〈復習〉事故・災害・不審者等への対応 45分
		振り返り アンケート
	12	〈予習〉今までの学習の振り返り 45分 〈復習〉総復習 45分
	<u> </u>	
	<b>A</b> =	
定期試験		E期試験[筆記]60分 最り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分

授業科目名		保育内容言葉		教員名		相沢 和恵				
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習			
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇幼稚園教諭2科	〇保育士資格必修〔保育内容演習〕 〇幼稚園教諭2種免許状必修 〔領域及び保育内容の指導法に関する科目 領域に関する専門的事項・言葉〕								
授業内容を示す キ ー ワ ード	5領域「言葉」 保	5領域「言葉」 保育内容 言葉の発達と獲得 ことば遊び 児童文化財 文字と環境								
授業の概要	領域「言葉」で示されている乳幼児期の発達と言葉の獲得について学びます。そして、その学びを支える保育者の援助の基盤となる、乳幼児が豊かな言葉や表現法を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的知識を学びます。「言葉」の意義と機能について理解し、乳幼児の言葉を育て、その言葉を獲得するために構成する環境や言葉に対する感覚を豊かにする保育教材を学び実践力を身に付けます。									
	者の役割や環境	【ねらい】 保育所保育指針で示されている領域「言葉」の内容を理解し、乳幼児期の言葉の発達を理解する中で、保育 者の役割や環境構成の重要性を理解して保育実践力を身に付つける。さらに、子どもの言葉を育む児童文化 材や様々な言葉に関わる遊びを理解して、保育実践に必要な基礎的な知識を獲得する。								
授業のねらいと 到 達 目 標	・乳幼児期の言葉 ・実際の保育実践 身に付ける。	<b>能に必要な保育所</b> 係	その発達を促す保 R育指針の理解、指 &達に必要な環境に	4導案など(	のカリキュラ	ム作成について				
授業の方法等	す。		2回(合計48時間)ぞ レープワークでの実							
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レオ ■授業への取り ■提出物(記録レ	祖み・態度 30%	資料、講義ファイル	等)30%						
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:4	0% DP2:10% [	DP3:20% DP4:	10% DP5	5:10% DP	6:10% 〔合計	†100%]			
教科書	〇「新訂 事例でき	学ぶ保育内容 領域	;「言葉」」[ISBN:97	848934725	595]/無藤隆	監修、宮里朱実	編/萌文書林			
参考書	〇「幼稚園教育要 〇「幼保連携型認 内閣府·文部科	○「保育所保育指針解説」(ISBN: 9784577814482)/厚生労働省(編集)/フレーベル館 ○「幼稚園教育要領解説」(ISBN: 9784577814475)/文部科学省(編集)/フレーベル館 ○「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN: 9784577814499) 内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館 適宜、資料を配付します。								
関連科目	保育内容総論、例 保育内容言葉の:		育内容人間関係、保	青内容環	境、保育内容					
質問受付の方 法	担当へ随時受け	付けます								
履修上の注意	プリント類はA4版	〒2穴ファイルに整	里、保存します							

受業計画		保育内容「言葉」とは何か「乳幼児期の言葉のおもしろさ」
٤	1	〈予習〉予定授業内容の該当箇所教科書を読む 90分 〈復習〉次回授業該当ページを読んでおく 90分
時間 外 学 習	2	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育内容「言葉」
		〈予習〉授業内配付プリントを読む 90分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
		乳幼児期の発達と領域「言葉」
	3	〈予習〉授業内配付プリントを読む 90分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
		子どもは言葉をどのように獲得するのか1 「多様な感情体験とことば」
	4	〈予習〉授業内配付プリントを読む 90分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 90分
		子どもは言葉をどのように獲得するのか2「信頼関係から生み出されることば」
	5	〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
		子どもは言葉をどのように獲得するのか3「自分の考えや思いを伝えることば」
	6	〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
		ことば遊びのいろいろと保育への取り入れ方「ごっこ遊びとことば」
	7	〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
		言葉を育て、想像する楽しさをひろげる児童文化財の意義(うた・わらべうたとことば)
	8	〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	•	言葉を育て、想像する楽しさをひろげる児童文化財の実際(紙芝居と絵本の世界)
	9	〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	10	言葉を育て、想像する楽しさをひろげる児童文化財の実践
	10	〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	11	言葉の遅れがある子どもと保育内容
	11	〈予習〉授業内配付ブリントを読む 45分 〈復習〉次回授業の該当ページ教科書を読む 45分
	10	保育内容「言葉」 5領域との関係 まとめ
	12	〈予習〉授業内配付プリントを読む 45分 〈復習〉定期試験、レポートの該当プリントと該当ページ教科書を読む 45分
定期 試験		: 期試験〔レポート〕 5 い返り・フィードバック〔成績等液却時にコメントを入れて液却〕

**定 期 試 験** | ◆振り返り・フィードバック〔成績等返却時にコメントを入れて返却〕

授業科目名		保育内容表現		福泉 博子 <b>教員名</b> 伊藤 えつ子 / 酒井			
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係			〕 域及び保育内容の	指導法に関	引する科目/	ナンバリング	1D407
授業内容を示す キーワード	表現 感性 創造	性 遊び 音楽表	現 造形表現 身体	本表現			
授業の概要	性を豊かに育む	保育内容領域「表現」に関して、乳幼児の表現やその過程について理解するとともに、乳幼児の感性や創造性を豊かに育む遊びや環境構成について学びます。また、表現について根源的に学ぶこと、自身の体験を通して経験することによって保育者としての感性を磨きます。					
			現やその意義につって、乳幼児の感性				
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】 (1)領域「表現」の概要を理解する。 (2)乳幼児の心性を理解し表現を受容的に受け止める視点を身につける。 (3)自身の感性や表現力を磨く。 (4)他者とのコミュニケーションとして表現を楽しむことができる。 (5)基礎的な表現技術や身近な素材を生かした表現活動を構想することができる。						
授業の方法等	現・造形表現で行 ワークシートを活	います。 用し学びの省察・E	計48時間)の演習 自己評価を行いなか プワーク、討論、発	がら学び進む	めます。		
成績評価の基準と方法	■授業への取り約	■定期試験[表現発表(動画提出)]30% ■授業への取り組み・態度60% ■提出物(ポートフォリオなどを含む)10%					
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:4	0% DP2:10%	DP3:30% DP4	:10% DP	5:10% DF	96:0% [合計	100%]
教 科 書	使用しません。必	使用しません。必要に応じてプリントを配付します。					
参考書	適宜、資料を配付	けします。					
関連科目	保育内容の指導	保育内容(健康・人間関係・環境・言葉)、 保育内容の指導法(健康・人間関係・環境・言葉) 図画工作、音楽I・Ⅱ、ピアノI・Ⅱ、幼児体育、ナチュラルアート、ダンスムーブメント					
質問受付の 方 法	担当教員の研究	室などで受け付け	ます。				
履修上の注意	授業実施場所の	変更や準備物、服	装等については、彳	各担当教員	の指示をよく	【聞いてください。	

		T
授業計画	Ι.	オリエンテーション 領域「表現一音楽・身体・造形」のねらい及び内容 
٤	1	〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 30分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理 60分
時間外学習		【新聞紙あそび①】身体を包んであそぶ『新聞ファッションショー』〔担当:酒井〕口
	2	〈予習〉シラバス等で事前に内容を確認し、制作プランを大まかにイメージする。45分 〈復習〉ワークシートを仕上げる。45分
		【新聞紙あそび②】新聞紙とビニールテープでものつくり『ビニール人形』〔担当:酒井〕
	3	〈予習〉シラバス等で事前に内容を確認し、制作プランを大まかにイメージする。45分 〈復習〉ワークシートを仕上げる。45分
		【新聞紙あそび③】新聞紙とビニールテープでものつくり『ビニール人形』〔担当:酒井〕
	4	〈予習〉シラバス等で事前に内容を確認し、制作プランを大まかにイメージする。45分 〈復習〉ワークシートを仕上げる。45分
		【おとさがし①】音を探してみよう 〔担当:福泉〕
	5	〈予習〉学校、街中、生活音など聞こえて〈る音を注意深〈観察する 45分 〈復習〉ワークシートを仕上げる 45分
		【おとさがし②】音を創作しよう 〔担当:福泉〕
	6	〈予習〉音の形や色、音色を作り出すための素材を考える 45分 〈復習〉ワークシートを仕上げる 45分
		リズム遊び 音楽即興遊び 〔担当:福泉〕
	7	〈予習〉音楽即興遊びの素材の収集 45分 〈復習〉ワークシートを仕上げる 45分
		身体表現 身体を使って表現しよう①(身の回りにあるものを表現してみよう) [担当:伊藤]
	8	〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ。45分 〈復習〉配付プリントを使って振り返りをする。課題を行う。45分
		身体表現 身体を使って表現しよう②(感じたことや考えたことを表現してみよう) [担当:伊藤]
	9	〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ。45分 〈復習〉配付プリントを使って振り返りをする。課題を行う。45分
		身体表現 身体を使って表現しよう③ (イメージを動きで表現してみよう) [担当:伊藤]
	10	〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ。45分 〈復習〉配付プリントを使って振り返りをする。課題を行う。45分
	11	グループ創作活動①【保育者としての表現を磨く】[担当:福泉/伊藤/酒井] 10回の授業を踏まえ、ジャンルを超えた総合的表現パフォーマンスをグループで創作、実演する。 〈予習〉 グループ発表に向けての準備 60分 〈復習〉 授業の振り返り 30分
	12	グループ創作活動②【保育者としての表現を磨く・まとめ】〔担当:福泉/伊藤/酒井〕 10回の授業を踏まえ、ジャンルを超えた総合的表現パフォーマンスをグループで創作、実演する。
		1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 100
	<b>◆</b> #	 
定期 試験		とり返り・フィードバック 後日評価コメントを出します。

授	業系	斗 目	名	音楽 I			教員名	数野	福泉 博子麻衣子/福:	
配	当	年	次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
		許·道 関		〇保育士資格必	修[ 保育内容の理	解と方法 〕			ナンバリング	1D408
授業	<b>美内</b> 羽	字を オフー	示す - ド	楽典 ソルフェー	ジュ 弾き歌い(	(ピアノ) こどもの	うた 音	遊び 合唱	合奏 楽器制	11作
授	業 0	の概	要	そのため、楽典や	歌唱法、ソルフェー	を的な知識、技能の ラジュに関する授業 、保育所で行う合唱	を行いま	す。		
		ねら! 目		できる力を身につ2)音楽の基礎的3)合奏・合唱を第学び、保育者に必	けます。 な知識を習得し、記 としみながら、他者	も・幼児のうた」のや 売譜力を身につけま と協働する大切さを 、術を身につけます。	す。 知るととも			
				②生活の歌や季:		人で読譜ができるよ が出来るようにしま ます。		•		
授訓	業の	方法	等	生活のうたや季節 グループワークに 定期試験は音楽	(楽典)に関する授 作のうたなどの弾き て器楽演奏や合唱 の基礎知識(楽典)		ます。	のうた」の弾	き歌い曲の見極	めを行います。
		平 価と 方		■定期試験〔筆記 ■合唱・合奏への ■授業への取り約		复習を含む) 30%				
		掲けり 割		DP1:3	0% DP2:10% [	DP3:20% DP4:1	0% DP	5:20% DP6	6:10% 〔合計	100%]
教	希	\$	#	・【全員購入】「やさしく弾けるピアノ伴奏 保育のうた12か月 幼稚園・保育園 現場の声から選ばれた全141曲」 [ISBN:978-4405071391] 新星出版社 ・【授業内で購入】山村学園短期大学楽典教本(650円) ※購入の方法は授業時に案内します。 ・【授業内で配付】令和7年度入学生 楽譜集(ピアノ・弾き歌い進度表付き) 2025年度ピアノ初級講座楽譜集					0	
<b>∌</b>	į	ŧ	#	<ul><li>「保育士のための</li></ul>	・「ジュニアクラスの楽典問題集」(ドレミ楽譜出版社) ・「保育士のための こどものうた名曲集150」(シンコーミュージック 出版) ・「保育現場で使われるピアノ伴奏によるこどもの歌の楽譜集 こどものうた100」(チャイルド社)					)
関	連	科	目	音楽Ⅱ ピアノⅠ	ピアノⅡ 保育内	容表現 保育内容	表現の指導	<b>尊法</b>		
質方	問号	そ 付	の法	随時受け付けます	<b>†</b> .					
履化	多上	の注	意	楽譜や教材は毎	回必ず持参してくた	<b>ごさい</b> 。				

授業計画		オリエンテーション 授業内容の説明
٤	1	〈予習〉シラバスの内容確認 30分 〈復習〉あそびうたの練習 30分
時間外学習		合唱をしよう 童謡や子どものうたの合唱
	2	〈予習〉なし 〈後習〉季節ごとの童謡や子どものうたをうたう 毎日10分
		■ 日本 日本・本音記号の理解 I 日本
	3	〈予習〉なし 〈復習〉配布プリント問題の「音名」を解く60分 童謡・子どものうたをうたう 1週間で30分程度
		音名 ト音・へ音記号の理解Ⅱ 変化記号の役割
	4	〈予習〉なし 〈復習〉配布プリント問題の「音名」を解く60分 童謡・子どものうたをうたう 1週間で30分程度
		季節の歌をピアノで弾こう I
	5	〈予習〉なし 〈復習〉授業で弾いた曲を練習する 毎日20分
		譜表・音符・休符の理解 Ι 季節の歌の歌唱とピアノ演奏
	6	〈予習〉なし 〈復習〉配布プリントを解く 60分 授業で弾いた曲の歌唱とピアノの練習 毎日20分
		譜表·音符·休符の理解 II 音名·音符休符の復習
	7	〈予習〉なし 〈復習〉配布プリントを解く 60分 授業で弾いた曲の歌唱とピアノの練習 毎日20分
		季節の歌をピアノで弾こうⅡ
	8	〈予習〉なし 〈復習〉授業で弾いた曲を練習する 毎日20分
		手作り楽器を作ろう
	9	〈予習〉手作り楽器のデザインを考える 〈復習〉1~8回目までの楽典の総合問題を解く90分 季節の歌の歌唱とピアノ練習 毎日20分
		拍子とリズムの理解 I 季節の歌の歌唱とピアノ演奏
	10	〈予習〉なし 〈復習〉楽典問題を解〈60分 季節の歌の歌唱とピアノ練習 毎日20分
		拍子とリズムの理解Ⅱ   季節の歌の歌唱とピアノ演奏
	11	〈予習〉なし 〈復習〉楽典問題を解〈60分 季節の歌の歌唱とピアノ練習 毎日20分
	10	生活の歌をピアノで弾こう
	12	〈予習〉なし 〈復習〉生活の歌と季節の歌の歌唱練習とピアノ練習 毎日20分
		反復記号·省略記号 変化記号の理解 調号と臨時記号の違い ※歌唱発表
	13	〈予習〉なし 〈復習〉配布プリントの「反復記号・省略記号」を解く60分 弾き歌い練習 毎日20分
		音楽用語と記号 弾き歌い練習 ※歌唱発表
	14	〈予習〉なし 〈復習〉問題「変化記号 調号と臨時記号」を解く60分 弾き歌い練習 毎日20分
	1-	授業内容の振り返り 弾き歌い練習
	15	〈予習〉テキストを読む 〈復習〉生活の歌3曲の弾き歌い練習 毎日30分 楽典問題集を解く 90分
定期試験		:期試験[ 筆記 ] 60分 もり返り・フィードバック[ 定期試験の解説を行う ] 30分

授業科目名	音楽Ⅱ				大導	艮 博子 / 数野 算寺 俊平 / 中 = 紗希 / 町田	川 悠子
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必	修〔保育内容の理	解と方法 〕			ナンバリング	1D409
授業内容を示す キ ー ワ ード	ピアノ 声楽	弾き歌い 個	固別学習 習熟度	別学習			
授業の概要	保育現場で必要とされる鍵盤楽器(ピアノ)の奏法を学びます。ピアノ初級者から上級者まで、個々のレベルに合わせたレッスンを行います。初級者はバイエルなどの教則本を使い初歩的技術の習得を、中・上級者はソナチネなど様々な楽曲を用いて総合的な音楽力を身につけます。 また、声楽レッスンを行う事により、正しい発声法を習得し、明るく豊かな声で歌唱できるようにします。						
	2)正しい発声法	を学び、明るく豊か	去、打鍵法で演奏でな声でこどもの歌だ な声でこどもの歌だ 次、季節の歌、子ど	「歌唱でき	るようにしま		<b>ン</b> ます。
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】 ○音名、音符、リズム、拍子を理解し、ひとりで読譜し演奏することができる。 ○初級者は「ピア・弾き歌い進度表」の基礎 I までを、中級者は基礎Ⅲまでを、上級者はソナチネ・ソナタ・ブルグミュラーなどが演奏できる。 ○園で歌われる生活の歌や季節の歌、童謡などが弾き歌いができる。 ○各月の歌を各自のレベルに合わせた内容で1曲以上、合計12曲以上弾けるようにする。 ○正しい発声で、声量豊かに明るい響きのある声で歌唱することができる。						+チネ・
授業の方法等	90分13回(合計56時間)の演習(実習)授業を行います。 ピアノの個人レッスン(実技)を行います。個々のレベルに合わせた指導を行います。 声楽の個人レッスン(実技)を行います。発声法や曲の内容について指導します。 定期試験はピアノ曲と弾き歌い曲の2曲を発表会形式で行います。						
成績評価の基準と方法		技 ピアノ演奏 弾 狙み・態度(予習・復					
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:3	0% DP2:10%	DP3:30% DP4:	10% DP5	5:10% DP	6:10% 〔合計	†100%]
教科書	全訳(標準)バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社)/ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社) ソナチネアルバム1(全音楽譜出版社)/令和7年度入学生 楽譜集(ピアノ・弾き歌い進度表付き) 2025年度ピアノ初級講座楽譜集 やさしく弾けるピアノ伴奏 保育のうた12か月 幼稚園・保育園 現場の声から選ばれた全141曲(新星出版社) ※その他、個人のレベルに合わせ各担当教員から曲目の指示をします。					<b>寸き</b> )	
参考書			由集150」(シンコーミ よるこどもの歌の楽			」(チャイルド社)	
関連科目	音楽 I ピアノI	ピアノⅡ 保育内	]容表現 保育内容	表現の指導			
質問受付の 方 法	随時受け付けます	r.					
履修上の注意	配付プリントは各		教員に確認してくだ て整理しておきまし <u>ごさい</u> 。				

授 業 計 画 と 時間外学習		オリエンテーション 目標 内容 授業形式の説明 個々の進度に応じた教則本による学習と弾き歌い学習 ピアノ個人レッスン 〈予習〉見極め曲の練習 毎日20分 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日20分程度 2~12回は、学生個々の進度に応じたピアノ個人レッスンと声楽レッスン(発声法・呼吸法、他) ※2回目のレッスンで教育実習 I の見極めを行います。
	4	○ピアノ進度表 ・導入 II 左右の手の独立・各指の独立 ・導入 II 左右の手の独立・各指の独立 ・導入 II カノン ・弾き歌い 生活の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度 【初級・中級者の教則本】 ○ピアノ進度表 ・バイエル 基礎 I 分散和音の練習と重音の練習 ・弾き歌い 生活の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度 【中級者の教則本】 ○ピアノ進度表 ・バイエル 基礎 II 新しい調とその練習 ・バイエル 基礎 II 板合問題 ・弾き歌い 生活の歌 行事の歌 季節の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 【中級・上級者の教則本】 ○ピアノ進度表 ・バイエル 応用 I 総復習 「学き歌い 生活の歌 行事の歌 季節の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 【上級者の教則本】 ○ピアノ進度表 ・バイエル 応用 I 総復習 「学き歌い 生活の歌 行事の歌 季節の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度 【上級者の教則本】 ○ピアノ進度表 ・ソナチネアルバム・ブルグミュラー 導入・初級 ・弾き歌い 生活の歌 行事の歌 季節の歌 〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日15分程度
	12	」〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日15分程度
	13	まとめ 実技試験リハーサル(グループ内) 〈予習〉試験曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉リハーサルの振り返り30分、試験曲の練習(歌唱練習含)毎日15分程度
定期試験		E期試験[ピアノ・弾き歌い実技] 70分 長り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う] 20分

授業科目名		図画工作		教員名		酒井 誠	
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必	修〔保育内容の理	解と方法〕	•		ナンバリング	1D410
授業内容を示す キ 一 ワ 一 ド	「基礎的な技法の	習得」「身近な素	材を使う」「素材の	特性を知る	る」「安全性	を考える」	
授業の概要		図画工作を行っていく過程で必要になる、技法・素材等の基礎知識を学びます。ものつくりの楽しさを理解するとともに、それを伝える力や、怪我等トラブル回避のための行動を学びます。					
			身近にあるものを( 楽しさの理解を深め				
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】 多くの技法・素材の知識を身に付けることによって、表現力の幅を広げ、制作に自分なりの工夫を凝らせる。 将来の指導者として制作の楽しさを子どもたちに伝えられる。						夫を凝らせる。
授業の方法等	毎回様々な授業点	展開をしますのでと	}12回(合計48時間 出席が大切です。 ・ッチブックにまとめ		0		
成績評価の基準と方法	■作品提出等25	■定期試験〔筆記〕50% ■作品提出等25% ■授業へ取り組む姿勢と制作への態度 25%					
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:30	0% DP2:10% I	DP3:30% DP4:	10% DP5	5:10% DP	6:10% 〔合計	<del>[</del> 100%]
教科書	講義用プリントを	配付します。					
参考書	適宜、資料を配付	ーーーーー けします。					
関連科目	保育内容表現、倪	保育内容表現の指	導法、ナチュラルア	ート、子ど	も文化演習E	1	
質問受付の 方 法	オフィスアワーを行	含めて、随時受けん	· けけます。				
履修上の注意	2.積極的な姿勢で 3.毎回の授業時に						

授業計画		ガイダンス・授業内容の説明 様々な技法を知る①/フロッタージュとコラージュ ーこすりだし技法と張り込みー
٤	1	〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
時間外学習		様々な技法を知る②/デカルコマニー -偶然性を利用した色や形の表現-
	2	〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
		様々な技法を知る③/バチック・スクラッチ -クレヨンと絵の具の性質を知る-
	3	〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
		様々な技法を知る④/ステンシル・スパッタリング -多様な技法を知り、応用して制作する-
	4	〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
		様々な技法を知る⑤/染め紙・マーブリング -多様な技法を知り、応用して制作する-
	5	〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
		様々な技法を知る⑥/スタンピング・ローリング・ドリッピング -多様な技法を知り、応用して制作する-
	6	〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
		【身近な物を使用して工作をする】なんちゃってステンドグラス①
	7	〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
		【身近な物を使用して工作をする】なんちゃってステンドグラス②
	8	〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
		【身近な物を使用して工作をする】なんちゃってステンドグラス③
	9	〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
		【身近な物を使用して工作をする】ダンボールとパスタ壁飾り①
	10	〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	١	【身近な物を使用して工作をする】ダンボールとパスタ壁飾り②
	11	〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
		【身近な物を使用して工作をする】ダンボールとパスタ壁飾り③
	12	〈予習〉シラバスや事前に配付するプリントで内容確認する。45分 〈復習〉ワークシートをまとめる。45分
	<u> </u>	140=+FAC (4x=7 ) CO()
定期試験		:期試験[ 筆記 ] 60分 り返り・フィードバック[ 定期試験の解説を行う ] 30分

授業科目名		幼児体育		教員名		伊藤 えつう	2
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	講義
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必	修〔保育内容の理	解と方法〕	-		ナンバリング	1D411
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	運動あそび、身体	x表現、健康、指導	と援助、安全管理				
授業の概要			意義を理解し、あそで ・ション能力を高める		援助につい	て学ぶ。	
			ついての専門的知 カ・コミュニケーション				人的環境となる
授業のねらいと 到 達 目 標	①運動あそび・身 ②対象に合わせる ③安全管理等に ④積極的に身体を	た指導や援助につ ついて適切な配慮 を動かし身体性を「		<b>5</b> .	せる。		
授業の方法等	かで身に付けてし 用、グループワー	90分12回(合計48時間)の授業で運動あそび・身体表現の方法や環境構成について具体的な体験・経験のなかで身に付けていきます。学びの省察・自己評価を行いながら学び進めます。また、視聴覚教材や事例を活用、グループワーク、討論、発表など、アクティブラーニングの手法を積極的に用います。授業後半では運動あそびか身体表現を選択し、自身の興味関心に合わせて学びを深め、授業内でロールプレイを行います。					材や事例を活 後半では運動
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レオ ■授業への取り ■提出物 20%						
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:3	0% DP2:10%	DP3:30% DP4:	10% DP5	5:10% DP	6:10% 〔合計	100%]
教 科 書			こ実顔で楽しみな 介・八藤直樹・内藤				
参考書	適宜、資料を配付	けします。					
関連科目	保育内容健康(	保育内容表現 保育	育内容健康の指導:	去 保育内	容表現の指	導法 ダンスム	.ーブメント
質問受付の 方 法	適宜、研究室等に	こて受け付けます。					
履修上の注意	2.内履き、外履き			指示や掲示	₹板等などに	注意してください	N <sub>0</sub>

受業計画		オリエンテーション 運動あそび・身体表現の意義(運動着に着替え、体育館履きで集合)
٤	1	〈予習〉シラバスを読んで〈る 45分 〈復習〉ワークシートの記入・体操などの練習 45分
時間 外 学 習		運動あそびの指導と援助 ①ねらいを明確にする / 身体表現①
	2	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・体操などの練習 45分
		運動あそびの指導と援助 ②運動が苦手な子に配慮する / 身体表現②
	3	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・体操などの練習 45分
		運動あそびの指導と援助 ③子どもが夢中になる導入や展開 バリエーションを加える / 身体表現③
	4	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・体操などの練習 45分
		運動あそびの指導と援助 ④子どもが夢中になる導入や展開 ゲーム性を持たせる / 身体表現④
	5	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・体操などの練習 45分
		運動あそびの指導と援助 ⑤子どもが夢中になる導入や展開 イメージを利用する / 身体表現⑤
	6	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・体操などの練習 45分
	_	運動あそびの指導と援助 ⑥ルールの多い遊びの指導 / 身体表現⑥
	7	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・体操などの練習 45分
		運動あそびの指導と援助 ⑦保育者の立ち位置や声がけ / 身体表現⑦
	8	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・体操などの練習 45分
		運動あそびの指導と援助のまとめ
	9	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・体操などの練習 45分
	10	ロールプレイの実践①(身体表現)
	10	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・体操などの練習 45分
		ロールプレイの実践②(運動あそび)
	-	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・体操などの練習 45分
	10	ロールプレイの振り返りと授業のまとめ
	12	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉ワークシートの記入・体操などの練習 45分
と 期 試験	◆定 ◆振	期試験[ レポート ]   ほり返り・フィードバック[ レポートにコメントを記入し返却する ]

授業科目名		乳児保育 I		教員名		巣立 佳宏	
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必	修〔乳児保育 [ ]				ナンバリング	1D412
授業内容を示す キ ー ワ ード	子どもの発達理解	解、発達と保育実践	桟、子ども観∙保育観	l			
授業の概要	1. 乳児保育の概 2. 乳幼児期の乳	礼幼児が豊かに育つためには何が重要であるのかを考え、 1. 乳児保育の概要について知ります。 2. 乳幼児期の発達や生活に理解を深めます。 3. 乳児保育を担当する保育士としての役割や専門性について認識します。					
授業のねらいと 到 達 目 標	1. 乳児保育の概 2. 乳幼児期の到 3. 乳児保育を担 【到達目標】 乳児保育についる	乳幼児が豊かに育つためには何が重要であるのかを考え、 1. 乳児保育の概要について知ります。 2. 乳幼児期の発達や生活に理解を深めます。 3. 乳児保育を担当する保育士としての役割や専門性について認識します。					
授業の方法等	また、グループワ	教科書に沿って、視聴覚教材による事例検討なども交えながら、理解を深めていきます。 また、グループワークにてロールプレイングを行います。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。					
成績評価の基準と方法	■授業への取り約 ■提出物 20%	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 20% ■提出物 20% ■その他[ 小テスト ] 10%					
DPに掲げる学力の割合	DP1:3	0% DP2:10%	DP3:20% DP4:	10% DP	5:20% DP	6:10% 〔合計	†100%]
教 科 書	「はじめて学ぶ乳	児保育」(ISBN:97	/8-4810315158) 志	村聡子 著	青 同文書院	完 完	
参考書	適宜、資料を配付	けします。					
関連科目	乳児保育Ⅱ 保育	育の心理学					
質問受付の方 法			付けます。 ビを受け付けます。				
履修上の注意	EduNaviを利用す	るため、スマートフ	7ォン等ICT機器を持	参してくだ	さい。		

	乳児保育の社会的背景
1	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	乳児保育に関わる制度
2	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	【オンデマンド型(遠隔)】保育所保育指針における「乳児保育」
3	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	乳児保育の「ねらい及び内容」
4	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	【オンデマンド型(遠隔)】乳児の体の発達
5	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	乳児の心の発達
6	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	【オンデマンド型(遠隔)】保育所等における乳児保育
7	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	【オンデマンド型(遠隔)】乳児院等における乳児保育
8	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	保育の計画
9	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	【オンデマンド型(遠隔)】保護者との連携および保育者同士の連携の在り方
10	〈予習〉EDUNAVI内に提示した資料を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	保育における衛生管理
11	〈予習〉EDUNAVI内に提示した資料を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	乳児保育実践の基礎知識①(だっこ、おむつ替え等)
12	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	乳児保育実践の基礎知識②(授乳、離乳等)
13	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	乳児保育実践の基礎知識③(安全管理)
14	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	地域や関係機関との連携
15	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートに必要事項を記入し完成させる 90分
	Z期試験[筆記]60分 をり返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分
	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

授業科目名		乳児保育 I								
配当年次	2 開講時期 前期 単位数 1 授業形態 演習									
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必	)保育士資格必修〔乳児保育 II 〕 ナンパリング 2D413								
授業内容を示す キ ー ワ ード	学びの芽生え	たびの芽生え 受容的・応答的関わり 子どもの主体性 具体的実践								
授業の概要	「乳児保育 I 」を基礎に、さらに実践的な知識と技術を身につけることを目指します。学びを通して「乳児保育に大切なことは何か」を深めていきます。 保育技術の手順や実例を授業に多く取り入れ、保育の場で実践できるようにします。									
	【ねらい】 乳児保育(3歳未)	【ねらい】 乳児保育(3歳未満児)の重要性を認識するとともに、具体的援助や関わりを習得し、専門性を高める。								
授業のねらいと 到 達 目 標	(1) 3歳未満児の (2) 養護及び教育 する。	<ul><li>1) 3歳未満児の発達・特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。</li><li>2) 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の生活や遊び、保育の方法や環境について具体的に理解</li></ul>								
授業の方法等	講義と演習を合わせ、90分12回(合計48時間)の授業を行います。 アクティブラーニングの手法を用いて、グループディスカッション・グループワーク等を行います。									
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕70% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 20%									
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:4	0% DP2:10%	DP3:20% DP4:	10% DP5	5:10% DP	6:10% 〔合計	h100%]			
教 科 書		書名「演習で学ぶ乳児保育」(ISBN:978-4907270292) 著者 善本真弓(編著) 小山明子 亀﨑美佐子 / 出版社 わかば社								
参考書	適宜、資料を配付	けします。								
関連科目	乳児保育 I									
質問受付の 方 法	適宜、講師控室等	 等で対応します。								
履修上の注意			を把握できるように ミす。必ず常備し授業		しょう。					

	ı —	
授業計画	١.	乳児保育の意義・日課
٤	1	〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉意義について自ら説明できるよう考えをまとめる。 90分
時間外学習		乳児保育を支える連携
	2	〈予習〉乳児保育の施設ではどのような人々との連携で運営されているか、調べる。 45分〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
		食事の援助と環境
	3	〈予習〉実習等での食事場面を振り返り、疑問点や課題を考える。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
		排泄の援助と環境
	4	〈予習〉低年齢児のトイレの環境で重要な点は何か。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
		睡眠・清潔に関する援助と環境
	5	〈予習〉睡眠や清潔に関する絵本や紙芝居を調べる。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
		着脱に関する援助と環境
	6	〈予習〉子ども用売り場等で、実際の衣服や靴、帽子などを見ておく。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
		乳児保育における健康
	7	〈予習〉健康観察のポイントを調べる。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
		乳児保育における安全
	8	〈予習〉社会問題化している事例について考察する。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
		乳児(0歳児)の保育内容と遊び
	9	〈予習〉「見て楽しむ」「音を楽しむ」「触って楽しむ」それぞれのおもちゃを考えてみよう。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
		1歳以上3歳未満児の保育内容
	10	〈予習〉遊びは5領域が相互に関連していることを踏まえ、一つの遊びについて考察する。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、キーワードを確認する。 45分
		1歳以上3歳未満児の遊び
	11	〈予習〉具体的に遊びをイメージしてみる。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、遊びの工夫や援助についてまとめる。 45分
		乳児保育における計画と評価
	12	〈予習〉エピソード記録を想定してみよう。 45分 〈復習〉教科書、記録を読み返し、指導計画作成の手順を確認する。 45分
定期試験		1 2期試験[ 筆記 ] 60分 &り返り・フィードバック[ 定期試験の解説を行う ] 30分

授業科目名	-	子どもの健康と安	全	教員名		田中 直代	;				
配当年次	1 開講時期 後期 単位数 1 授業形態 演習										
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必	〇保育士資格必修〔子どもの健康と安全〕 ナンパリング 1D414									
		保健計画(健康管理、健康教育、環境衛生)、乳幼児身体成長曲線、窒息、むかえそで、暑さ指数、 手洗い、危機管理、予防接種									
授業の概要	「子どもの保健」で学んだ知識や理論をもとに、子どもの健康及び安全を守る保健活動を学びます。新生児の身体測定、身体成長曲線による発育・発達の評価を理解します。子どもの生活習慣、発達援助と保健活動の意義を理解し、養護と教育の一体化した技術を修得します。										
	る保健活動は、( 計画的に全職員	【ねらい】 乳幼児期の心身の健康状態は、その後の人生の健康や生活の基礎となります。子どもの健康及び安全を守 る保健活動は、保健計画(健康管理、健康教育、環境衛生)で日々の保育が展開されています。保健活動が 計画的に全職員が参画し、周知されることで、感染症、事故、災害などの危機状況に対応していくことを理解 するために学びます。									
授業のねらいと 到 達 目 標	(1)保育における (2)関連するガイ 策・危機管理・災 (3)健康及び安全 (4)個の健康と集	(1)保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。 (2)関連するガイドラインや近年のデーターに関心を持ち、保育における衛生管理・事故防止及び、安全対策・危機管理・災害対策、について具体的に理解する。 (3)健康及び安全にかかわる保健活動の計画・実施・評価を行う。 (4)個の健康と集団の保健の視野に立った対応や予測した保育を行う。 (5)保育が養護と教育を一体化すると、一人一人の子どもと応答的な触れ合いや言葉がけを楽しめることを									
授業の方法等	・90分12回(合計48時間)の授業を行います。     ・授業は講義と演習をセットに進め、講義はパワーポイントのスライドと配付プリントによる講義形式、演習(内容、手順、実施、評価)はグループワークにて必ず各自が体験し、技術を身につけます。     ・演習は自己評価、他己評価を行います。 ・授業の最後にグループディスカッションを行います。										
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕70% ■授業への取り組み・態度〔ファイルノート点検〕10% ■提出物〔レポート〕20%										
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:4	DP1:40% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:10% DP6:10% [合計100%]									
教 科 書	「子どもの健康と	「子どもの健康と安全」(ISBN: 978-4903355818) 中根淳子/佐藤直子編著 ななみ書房									
参考書		「保育所における感染症対策ガイドライン」「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」「保育所における食事の提供ガイドライン」「教育、保育施設などにおける事故防止および事故発生時の対応のためのガイドライン」									
関連科目	子どもの保健 孚	L児保育 I 乳児保	具育Ⅱ 乳児小児救	命法 保育	了内容健康						
質問受付の 方 法	授業中、授業前	後で随時受け付ける	ます。								
履修上の注意	もの保健」を復習	して授業に臨みま	早退・欠席をしないで す。配付資料は授美 、色鉛筆を使うので	業中に書き	込みをし、A						

受業計画		オリエンテーション、保健的視点を踏まえた保育環境及び援助
٤	1	〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉第1章を読む。「保健計画、保健だより」に目を通す。 45分
時間 外 学 習		保育における健康及び安全の管理(1)衛生管理
	2	〈予習〉第2章1「屋内施設の衛生管理、屋外施設の衛生管理」を読む。 45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 45分
		保育における健康及び安全の管理(2)事故防止及び安全対策
	3	〈予習〉第2章2「保育中の事故」を読む 45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。45分
		保育における健康及び安全の管理(3)危機管理・災害への備え
	4	〈予習〉第2章3.4「危機管理の意味と目的、災害への備え」を読む。 45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。45分
Ì		子どもの体調不良に対する適切な対応(1)子どもに起こりやすい体調不良とケア
	5	〈予習〉第3章1.2「発熱」を読む。 45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 45分
		子どもの体調不良に対する適切な対応(2)子どもに起きやすい事故の応急処置
	6	〈予習〉第3章3「ショック、頭部打撲、熱傷、熱中症」を読む。 45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。45分
		子どもの体調不良に対する適切な対応(3)応急処置
	7	〈予習〉第3章3「異物の誤飲」を読む。 45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。45分
		感染症対策(1)感染症の集団発生の予防
	8	〈予習〉第4章1「感染症予防の基本」を読む。 45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。45分
		感染症対策(2)感染症発症時と罹患後の対応
	9	〈予習〉第4章2.3 「感染症発症時と罹患後の対応」を読む。 45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。45分
		保育における保健的対応(1)歯みがき
	10	〈予習〉第3章3「歯に強い保育士になろう」を読む。 45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 45分
		保育における保健的対応(2)個別的な配慮を有する子どもへの対応 てんかん、アレルギー性疾患
	11	〈予習〉第5章3 「てんかん、食物アレルギー」を読む。 45分 〈復習〉配付したプリントを見返す。 45分
		健康及び安全の管理の実施体制 / まとめ
	12	〈予習〉第6章1.2 「保育における保健活動の計画及び評価」を読む。 45分 〈復習〉定期試験対策資料を作成する。 90分
	13	
	14	
	◆定	型期試験[筆記]60分

## **定 期 試 験** ◆定期試験[筆記]60分 ◆振り返り・フィードパック[定期試験の解説を行う]30分

授業科目名	インクルーシブ教育・保育Ⅱ 教員名 宇田川 和久									
配当年次	2	2 開講時期 前期 単位数 2 授業形態 演習								
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必修〔障害児保育〕 ナンパリング 2D415									
授業内容を示す キーワード	障害、知的障害、発達障害、インクルージョン、特別支援教育、医療・福祉、連携、個別の教育支援計画									
授業の概要	障害とは何か、障害のある子どもにとって保育はどのような意味を持つのか、障害に応じた適切な支援の方法はどうあるべきなのか、障害のある子どもの保育を進めるために関係機関とどのように連携していく必要があるのかなどについて学びます。									
授業のねらいと 到 達 目 標	【おらい】 障害のある子どもや特別な支援を必要とする子どもの保育を進める上で必要な基本的な知識を習得することを目的とします。  【到達目標】 (1)障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児及びその保育について理解する。 (2)個々の障害特性や心身の発達に応じた援助の仕方、合理的配慮などについて理解する。 (3)障害のある子どもや特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。 (4)障害のある子どもや特別な配慮を要する子どもの家庭に対する支援や関係機関との連携・協働について理解する。 (5)障害のある子どもや特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する。									
授業の方法等	講義・演習・障害幼児に関するビデオ視聴等を織り交ぜながら、障害児の保育の現状や支援の在り方について理解を図るようにします。また、主体的な学びを進めるため、チームディスカッションやグループワーク等アクティブラーニングの視点を取り入れ授業を進めます。 さらに、ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。									
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 30% ■提出物 10% ■その他[ 小テスト〕10%									
D Pに掲げる 学 カ の 割 合	DP1:4	0% DP2:10% I	DP3:20% DP4:	10% DP5	5:10% DP	6:10% 〔合記	†100%]			
教科書		「障害児保育ワークブック(インクルーシブ保育・教育を目指して)」[ISBN:978-4893474094] 星山麻木編著 萌文書林								
参考書	文部科学省ホー. 国立特別支援教	ムページ 育総合研究所ホー	・ムページ							
関連科目	インクルーシブ教	育·保育 I								
質問受付の 方 法	適宜研究室等で	 対応します。								
履修上の注意	講義等の記録、西	己付した印刷物は <i>A</i>	44版2穴ファイルに	学習ノート	として整理、	保存すること。				

受 業 計 画		「障害」の概念と障害児保育
٤	1	〈予習〉Lesson1を読んでくる。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
時間 外 学 習		発達を理解する
	2	〈予習〉Lesson2を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		発達の違いを理解する
	3	〈予習〉Lesson3を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		改めて、障害の特性を理解する①(知的障害及び肢体不自由)
	4	〈予習〉Lesson4を読んでくる。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
		改めて、障害の特性を理解する②(視覚障害及び聴覚障害、病弱等)
	5	〈予習〉Lesson4を読んでくる。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 90分
		改めて、障害の特性を理解する③(自閉症)
	6	〈予習〉Lesson5を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		改めて、障害の特性を理解する④(LD、ADHD)
	7	〈予習〉Lesson5を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。90分
		支援方法を理解する①(心の支援)
	8	〈予習〉Lesson6を読んでくる。 90分 〈復習〉レジュメをまとめる。 事例研究に取り組む。 90分
		支援方法を理解する②(発達論による支援)
	9	〈予習〉Lesson7を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。事例研究に取り組む。90分
		支援方法を理解する③(行動への支援)
	10	〈予習〉Lesson8を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。事例研究に取り組む。90分
		支援方法を理解する④(環境調整による支援)
	11	〈予習〉Lesson9を読んでくる。90分 〈復習〉レジュメをまとめる。事例研究に取り組む。90分
	40	支援方法を理解する⑤(人の連携による支援) まとめ
	12	〈予習〉Lesson10,11,13を読んでくる。90分 〈復習〉事例研究に取り組む。学習したことをまとめる。90分
		[オンデマンド型(遠隔)]本人・家族への支援
	13	〈予習〉支援方法を理解する⑤の内容について振り返る。90分 〈復習〉事例分析の整理 90分
		【オンデマンド型(遠隔)】関係機関との連携
	14	〈予習〉Lesson12を読んでくる。90分 〈復習〉事例分析の整理 90分
		【オンデマンド型(遠隔)】就学支援
	15	〈予習〉Lesson14を読んでくる。90分 〈復習〉事例分析の整理 90分
と 期 試験		Z期試験[筆記]60分 もり返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分

授業科目名		社会的養護 工 教員名 巣立 佳宏								
配当年次	2 開講時期 前期 単位数 1 授業形態 演習									
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必	D保育士資格必修〔社会的養護Ⅱ〕 ナンパリング 2D416								
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	社会的養護、家庭	土会的養護、家庭養護、施設養護、子どもの人権、虐待、里親、権利擁護、個別支援計画								
授業の概要	様子や心情を理解 どを養うことにより	児童福祉施設の概要等について振り返りを行うとともに、児童福祉施設を利用している子どもたちの生活の 様子や心情を理解するため、援助者として必要な知識や心構えを身につけます。また、児童観や施設養護観な どを養うことにより、利用者が安心して生活が送れるように、生活プログラムの作成や事例研究などを通して、 望ましい援助の在り方などを学習します。								
		ねらい】 児童福祉施設等の利用者に対し、保育士として望ましい支援や援助ができるように、支援者として必要な知識 や心構えを習得します。								
授業のねらいと 到 達 目 標	(1)社会的養護に (2)施設養護等の (3)個別支援計画 (4)社会的養護に	到達目標】  1)社会的養護における児童の権利擁護や保育土に求められる資質について理解する。  2)施設養護等の社会的養護の実際について理解する。  3)個別支援計画の作成と具体的な支援内容について理解する。  4)社会的養護に関わるソーシャルワークの方法や技術について理解する。  5)児童家庭福祉、地域福祉等について理解する。								
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を行います。 演習科目であることから、事例に関わるグループ討議や報告発表等を可能な限り行い、アクティブラーニング の手法を取り入れ学生が主体的に参加する授業を行います。 また、ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。									
成績評価の基準と方法	■授業への取り約 ■提出物 20%	■定期試験〔筆記〕60% ■授業への取り組み・態度 10% ■提出物 20% ■その他〔小テスト〕10%								
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:4	0% DP2:10% I	DP3:20% DP4:	10% DP5	5:10% DP	6:10% 〔合計	†100%]			
教科書	「社会的養護 Ⅱ (額	新・基本保育シリー	-ズ⑱)」(ISBN:978	-48058579	984〕相澤仁	二、村井美紀編	中央法規			
参 考 書	「ひと目でわかる」 宮島清・山懸文治		ども家庭福祉デー	タブック 20	023」一般社	団法人全国保育	士養成協議会			
関連科目	子ども家庭福祉、	社会的養護 I、施	記実習 I、施設実	習Ⅱ						
質問受付の 方 法	適宜研究室等で	対応します。								
履修上の注意			けした印刷物等は、 るので、スマートファ							

###
大学   アード・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・
2 (予習)児童福祉施設等にかかわる報道や虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分施設養護(乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設)の特性及び実際① 3 (予習)提出課題の調査など社会的養護に関する情報を収集する。45分(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分施設養護(児童心理治療施設、障害児施設など)の特性及び実際② 4 (予習)提出課題の調査など社会的養護に関する情報を収集する。45分(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分家庭養護(里親制度、ファミリーホーム事業等)の特性及び実際 5 (予習)虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分社会的養護に関する情報を収集する。45分(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分アセスメントと個別支援計画の作成 7 (予習)自立支援計画の作成 7 (予習)自立支援計画の開する情報を収集する。45分(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分事例分析(日常生活支援、心理的支援) 8 (予習)提出課題の調査をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分主会的養護における保育士の専門性 10 (予習)社会的養護における保育士の専門性 10 (予習)社会的養護における保育士の専門性 10 (予習)社会的養護における保育士の専門性 11 (予習)社会的養護における保育士の専門性 12 (予習)社会的養護における保育士の専門性
(後習)シュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 (後習)シュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 (後習)とジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 (後習)とジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 施設養護(児童心理治療施設、障害児施設など)の特性及び実際② 4 (予習)提出課題の調査など社会的養護に関する情報を収集する。45分 (後習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 家庭養護(里親制度、ファミリーホーム事業等)の特性及び実際 5 (予習)虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護に関する情報を収集する。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 ヤセスメントと個別支援計画の作成 7 (予習)自立支援計画の作成 7 (予習)自立支援計画の作成 8 (予習)提出課題の調査をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(日常生活支援、心理的支援) 8 (予習)提出課題の調査をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 東側分析(自立支援)と記録の意義 9 (予習)提出課題の調査をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護における保育士の専門性 10 (予習)社会的養護における保育士の専門性 10 (予習)社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分 (復習)かりがの整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護におけるソーシャルワーク 11 (予習)社会的養護全般の情報を収集する。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護におけるソーシャルワーク
3 (予習)提出課題の調査など社会的養護に関する情報を収集する。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 施設養護(児童心理治療施設、障害児施設など)の特性及び実際② 4 (予習)提出課題の調査など社会的養護に関する情報を収集する。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 家庭養護(里親制度、ファミリーホーム事業等)の特性及び実際 5 (予習)虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護におけるケアマネジメント 6 (予習)社会的養護に関する情報を収集する。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 アセスメントと個別支援計画の作成 7 マセスメントと個別支援計画の作成 7 (予習)自立支援計画に関する情報を収集する。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(日常生活支援、心理的支援) 8 (予習)提出課題の調査をする。45分 (復習)事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(自立支援)と記録の意義 9 (予習)提出課題の調査をする。45分 (復習)事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護における保育士の専門性 10 (予習)社会的養護における保育士の専門性 11 (予習)社会的養護における保育士の専門性 12 (予習)社会的養護における保育士の専門で
「食習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分施設養護(児童心理治療施設、障害児施設など)の特性及び実際②  4 (予習)提出課題の調査など社会的養護に関する情報を収集する。45分(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分家庭養護(里親制度、ファミリーホーム事業等)の特性及び実際  5 (予習)虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分社会的養護におけるケアマネジメント  6 (予習)社会的養護に関する情報を収集する。45分(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分アセスメントと個別支援計画の作成  7 (予習)自立支援計画に関する情報を収集する。45分(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分事例分析(日常生活支援、心理的支援)  8 (予習)提出課題の調査をする。45分(復習)事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分本例分析(自立支援)と記録の意義  9 (予習)提出課題の調査をする。45分(復習)事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分社会的養護における保育士の専門性  10 (予習)社会的養護における保育士の専門性  10 (予習)社会的養護における保育士の専門性  11 (予習)社会的養護における保育士の専門性  12 (予習)社会的養護における保育士の専門性
4 〈予習〉提出課題の調査など社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 家庭養護(里親制度、ファミリーホーム事業等)の特性及び実際 5 〈予習〉虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護におけるケアマネジメント 6 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 アセスメントと個別支援計画の作成 7 〈予習〉自立支援計画に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(日常生活支援、心理的支援) 8 〈予習〉提出課題の調査をする。45分 〈復習〉事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(自立支援)と記録の意義 9 〈予習〉提出課題の調査をする。45分 〈復習〉事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護における保育士の専門性 10 〈予習〉社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護におけるソーシャルワーク 11 〈予習〉社会的養護全般の情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
(食習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 家庭養護(里親制度、ファミリーホーム事業等)の特性及び実際 (予習)虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護におけるケアマネジメント (予習)社会的養護に関する情報を収集する。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 アセスメントと個別支援計画の作成 (予習)自立支援計画に関する情報を収集する。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(日常生活支援、心理的支援) (予習)提出課題の調査をする。45分 (復習)事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(自立支援)と記録の意義 (予習)提出課題の調査をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護における保育士の専門性 (予習)社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールブレイなど。45分 社会的養護における保育士の専門性
5 〈予習〉虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護におけるケアマネジメント 6 〈予習〉社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 アセスメントと個別支援計画の作成 7 〈予習〉自立支援計画に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(日常生活支援、心理的支援) 8 〈予習〉提出課題の調査をする。45分 〈復習〉事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(自立支援)と記録の意義 9 〈予習〉提出課題の調査をする。45分 〈復習〉事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護における保育士の専門性 (予習〉社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護におけるソーシャルワーク 11 〈予習〉社会的養護全般の情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
(後習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分社会的養護におけるケアマネジメント  (予習)社会的養護に関する情報を収集する。45分(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分アセスメントと個別支援計画の作成  (予習)自立支援計画に関する情報を収集する。45分(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分事例分析(日常生活支援、心理的支援)  (予習)提出課題の調査をする。45分(復習)事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分事例分析(自立支援)と記録の意義  (予習)提出課題の調査をする。45分(復習)事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分社会的養護における保育士の専門性  (予習)社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分社会的養護におけるソーシャルワーク  (予習)社会的養護全般の情報を収集する。45分(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
6 〈予習〉社会的養護に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 アセスメントと個別支援計画の作成 7 〈予習〉自立支援計画に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(日常生活支援、心理的支援) 8 〈予習〉提出課題の調査をする。45分 〈復習〉事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(自立支援)と記録の意義 9 〈予習〉提出課題の調査をする。45分 〈復習〉事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護における保育士の専門性 10 〈予習〉社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護におけるソーシャルワーク 11 〈予習〉社会的養護におけるソーシャルワーク 11 〈予習〉社会的養護と般の情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 アセスメントと個別支援計画の作成  (予習)自立支援計画に関する情報を収集する。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(日常生活支援、心理的支援)  (予習)提出課題の調査をする。45分 (復習)事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(自立支援)と記録の意義  (予習)提出課題の調査をする。45分 (復習)事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護における保育士の専門性  (予習)社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護におけるソーシャルワーク  (予習)社会的養護におけるソーシャルワーク  (予習)社会的養護と般の情報を収集する。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
7 〈予習〉自立支援計画に関する情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(日常生活支援、心理的支援) 8 〈予習〉提出課題の調査をする。45分 〈復習〉事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(自立支援)と記録の意義 9 〈予習〉提出課題の調査をする。45分 〈復習〉事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護における保育士の専門性 10 〈予習〉社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護におけるソーシャルワーク 11 〈予習〉社会的養護全般の情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(日常生活支援、心理的支援)  《予習〉提出課題の調査をする。45分 (復習)事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(自立支援)と記録の意義  《予習〉提出課題の調査をする。45分 (復習)事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護における保育士の専門性  「クーストリー・ファーク・ロールプレイなど。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護におけるソーシャルワーク  「クーストリー・ファーク・ロールプレイなど。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 (復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
8 〈予習〉提出課題の調査をする。45分 〈復習〉事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 事例分析(自立支援)と記録の意義 9 〈予習〉提出課題の調査をする。45分 〈復習〉事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護における保育士の専門性 10 〈予習〉社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護におけるソーシャルワーク 社会的養護におけるソーシャルワーク (予習〉社会的養護全般の情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
↑ P a / (佐山味 は の
9 〈予習〉提出課題の調査をする。45分 〈復習〉事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護における保育士の専門性 10 〈予習〉社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護におけるソーシャルワーク 11 〈予習〉社会的養護全般の情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
(復習)事例分析の整理をする。またはグループワークやロールプレイなど。45分社会的養護における保育士の専門性  (予習)社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分社会的養護におけるソーシャルワーク  (予習)社会的養護全般の情報を収集する。45分(復習)レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
10 〈予習〉社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分 社会的養護におけるソーシャルワーク 11 〈予習〉社会的養護全般の情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
( 全習 ) レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分社会的養護におけるソーシャルワーク ( 子習 ) 社会的養護全般の情報を収集する。45分 ( 復習 ) レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
11 〈予習〉社会的養護全般の情報を収集する。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
今後の社会的養護の課題と展望
12 〈予習〉提出課題の調査をする。45分 〈復習〉レジュメをまとめる。またはグループワークやロールプレイなど。45分
<b>定期 試験</b> ◆定期試験[筆記]60分 ◆振り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分

授業科目名	保育・	教育相談の理論	教員名	室井	- 佑美/原田	友毛子					
配当年次	2	2 開講時期 前期 単位数 1 授業形態 演習									
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇幼稚園教諭2科 生徒指導、教育村	〇保育士資格必修[子育て支援] 〇分种園教諭2種免許状必修[道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び 主徒指導、教育相談等に関する科目/教育相談(カウンセリングに関する基 歴的な知識を含む)の理論及び方法の科目]									
			マインド、カウンセリ レョン、援助の展開、			隽•協働					
授業の概要	特質や教育的課間関係の構築、 身に付けます。 加えて、現代社会 過程と実際を学び	学校における教育相談の基本となる考え方を学びます。幼児期、児童期の発達を視点に持ち、個々の心理的 特質や教育的課題を、より幅広く、深く捉えることを目指します。特に、幼児期における自己理解、望ましい人 間関係の構築、集団の中で適応する生活力を育めるよう支援するための、基礎的知識(意義、理論、技法)を 身に付けます。 加えて、現代社会の中で求められる子育て支援の技術や技能を習得するために、子育て支援の特性や支援 過程と実際を学びます。さらに、保育者を目指す上で自己理解を深め、他者理解に対する洞察力を養い、そ の上で具体的事例を用いながら連携・協働する力を身に付けます。									
	際の教育的課題 子どもの健やかな 保育者として援助	教育相談における教育活動の基盤となる、幼児期・児童期の発達に即した理論及び心理学理論に基づき、実際の教育的課題への対応に向けた基礎的知識と技能を身に付けます。 子どもの健やかな育ちを支えるため、保育者として子ども、家庭、社会等に対する実態を理解します。そして、保育者として援助可能な環境の相互作用に介入し、さまざまな支援ニーズのある子どもと保護者、地域の子育て家庭への援助が展開できるよう、知識と技術を習得します。									
授業のねらいと 到 達 目 標	(2)教育相談を追(3)教育相談の原解できる。(4)保育の専門性助言、情報として(5)専門職として(きる。(6)保育者の行う	4)保育の専門性を背景とした子育てに関する相談に対する課題を整理し、多様な支援を導き出す具体的な 助言、情報提供、行動見本の提示等について、その特性と展開を具体的に理解する。 5)専門職としての職業倫理を踏まえて他者および自己理解を深め、配慮した態度と言動を意識することがで									
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を2人の教員がクラスを分けて所定の授業回について講義を中心で行います。各々の理論を教育者/保育者の観点で演習等も行います。 視聴覚教材を活用しながら、事例検討も交えたアクティブラーニングの手法を取り入れ、【ディスカッション・ディベート/グループワーク/ロールプレイ】を授業内で行います。 一部、ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業を行う可能性があります。										
成績評価の基準と方法	■授業への取り約 ■提出物 10%	■定期試験[筆記・レポート]50% ■授業への取り組み・態度30% ■提出物10% ■その他[小テスト]10%									
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:3	0% DP2:20%	DP3:20% DP4:	20% DP	5:0% DP6	6:10% 〔合計	100%]				
教 科 書			-ュラム対応-」(ISBI				<b></b> 封出版				
参考書		どもが育つをともに :適宜紹介、資料を	「支える−」/原信夫・ ・配付します。	松倉佳子・	佐藤ちひろ	也著/北樹出版					
関連科目	保育の心理学、ヨ	そども家庭支援の心	心理学、子どもの理	解と援助、	子ども家庭	冨祉、子ども家原	<b>E支援論</b>				
質問受付の 方 法	(原田)授業終了 (室井)適宜、研究		空室にて対応します す。	•							
履修上の注意	節度ある態度、礼授業の実施場所 学習の積み重ね	、準備物、服装等に を重視するため、さ	してください。 とした振る舞いをして こついては、事前の さむを得ず授業を欠 動的に行動してくだ	指示をよく :席する場			へ資料、課題の				

授業計画	1	学校における教育相談の意義と課題 教育相談に関わる心理学の基礎的な理論 (精神分析理論・自己理論・行動理論)[担当:原田] 〈予習〉シラバスを熟読する。45分 〈復習〉教育相談の全体構造について整理、精神分析理論・自己
時間外学習	2	理論・行動理論について教科書を確認、検索して調べる。45分 カウンセリングの基本技法 國分康孝のコーヒーカップ方式・カウンセリングマインドについて [担当:原田] 〈予習〉教科書を確認、検索して調べる。(カウンセリングの基本技法) 45分
		〈復習〉本時のねらいの整理、カウンセリングの演習で得た気づきをノートにまとめる。45分 幼児期・児童期の発達課題と教育相談 幼児期から児童期への関連(担当:原田)
	3	初元州・元皇州の先達は超と教育相談 初元州から元皇州への関連に担当:原由」 〈予習〉エリケソンの発達課題から幼児期・児童期に身に付けるべきことがらについて教科書を 読み込む 45分 〈復習〉授業で得た発達課題についての知見をノートにまとめる。45分
	4	不登園・虐待・いじめ・不登校・非行等の課題に対する発達段階や発達課題の背景と教育相談の 進め方(担当:原田) 〈予習〉自身の体験と照らし合わせながら教科書を熟読し、基本的な対処の仕方を調べる。45分
		〈復習〉問題行動に対する相談場面でのロールプレイについて感想をまとめる。45分 保護者支援と教育相談[担当:原田]
	5	〈予習〉保護者支援として現場でどのようなことが課題とされているか教育相談の実際例を資料から 読み込む。45分 〈復習〉保護者支援・保護者対応について得た知見をノートに整理する。45分
		学級担任が行う教育相談 教育相談のまとめ〔担当:原田〕
	6	〈予習〉教科書や配付された資料を再度読み込む。45分 〈復習〉教育相談についての知識をどの程度理解できたかノートを整理する。45分
	7	保育士の行う子育て支援の特性、保護者への支援ニーズと多面的な理解、信頼関係の形成 [担当:室井] 〈予習〉シラバスを熟読する。30分 〈復習〉保護者から子育てに対する苦労や悩みをインタビューして調べておく。60分
		保育士としての自己覚知・他者理解[担当:室井]
	8	〈予習〉事前に配付された自己理解のワークを行う45分 〈復習〉自己理解のワークを振り返り、気づいたことをまとめる。45分
		保育所等及び地域の子育て家庭への子育て支援の実際[担当:室井]
	9	〈予習〉配布資料を読んで、子育て支援の実際を知る。45分 〈復習〉授業の学びから、連絡帳の保育者記録部分を書く。45分
	10	多様なニーズに対するに対する子育て支援の実際(障がい/特別な配慮を要する /その他支援ニーズを抱える子どもやその家庭)[担当:室井] 〈予習〉配布資料を読んで、面接技法を知る。45分 〈復習〉授業の学びから、面談場面の保育者の言語的コミュニケーションを考える。45分
		地域における子育て支援施設への見学、地域の社会資源の探索[担当:室井]
	11	〈予習〉見学する子育て支援施設をホームページ等で確認する。30分 〈復習〉見学した子育て支援施設、探索した社会資源について振り返り、レポートを作成する。60分
	12	保育所等における職員間の連携・協働、社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働 /子育て支援のまとめ〔担当: 室井〕 (予習)配布資料を読んで、面接技法を知る。45分
		(を目が出ていません) (本語が で、画像技法で知る。43万 (復習)授業の学びから、面談場面の保育者の非言語的コミュニケーションを考える。45分
定期試験		   E期試験[ 筆記(原田) 60分 ] [ レポート(室井)]   長り返り・フィードバック[ 定期試験の解説を行う(原田) 30分 ][ 添削して後日返却する(室井) ]

授業科目名	保	育内容健康の指	導法	教員名	伊藤	えつ子 / 杉	山 直樹			
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習			
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇幼稚園教諭2科	フ保育士資格必修 フ幼稚園教諭2種免許状必修〔領域及び保育内容の指導法に関する科目/ 保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)〕								
授業内容を示す キ 一 ワ ード	子どもと健康 子	子どもと健康 子どもの生活リズム 環境と関わる 遊びを通した総合的な指導								
授業の概要	門的知識と関連な 察する力を習得し	乳幼児の健康に関する現状や課題を踏まえた上で、領域「健康」のねらいおよび内容について背景となる専門的知識と関連させて理解します。保育内容の各領域を総合的に捉え、保育の構想、計画、指導、実践、省察する力を習得します。また実践的な模擬保育を行ない、子どもの「生きる力」を育む意義と「健康で安全な生舌をつくり出す力」について主体的に考えます。								
	【ねらい】 領域「健康」においする力を身に付け		を学び、自らの保育	実践への	具体的な計	画、実践、評価を	を専門的に構想			
授業のねらいと 到 達 目 標	(1)幼児教育およ (2)乳幼児期の多 る方法を身につけ	到達目標】 (1) 幼児教育および乳児保育の基本を踏まえ、領域「健康」のねらいおよび内容を理解し、概説できる。 (2) 乳幼児期の発達や学びの過程を理解し、「健康」にかかわる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけることが出来る。 (3) 健康に関する素材や教材についての特性を理解し、主体的に活用することが出来る。								
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を2名の教員でオムニバス形式で行います。 演習と講義を併用して行います。アクティブラーニングの手法を取り入れ、【ディスカッション/グループワーク/ プレゼンテーション】などを適宜取り入れながら行います。 「健康」に関する遊びを取り入れた保育内容での模擬保育を実践し、振り返ります。									
成績評価の基準と方法	■定期試験[レポート]40% ■授業への取り組み・態度30% ■提出物30%									
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:4	10% DP2:10%	DP3:20% DP:1	0% DP5	5:10% DP6	5:10% 〔合計	100%]			
教 科 書	〇「保育所保育指 〇「幼稚園教育要 〇「幼保連携型認	<ul> <li>○「保育内容・領域 健康指導法 (実践例から学びを深める)」(ISBN:978-4907270377)/清水将之 他/わかば社</li> <li>○「保育所保育指針解説」(ISBN:978-4577814482)/厚生労働省(編集)/フレーベル館</li> <li>○「幼稚園教育要領解説」(ISBN:978-4577814475)/文部科学省(編集)/フレーベル館</li> <li>○「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN:978-4577814499)</li> <li>/内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館</li> </ul>								
参考書	〇適宜紹介、資料	斗を配付します。								
関連科目	保育内容(健康· 保育内容総論	人間関係・環境・言	葉・表現) 保育内	容(人間関	<b>뢹係∙環境∙言</b>	葉・表現)の指導	<b>算法</b>			
質問受付の方 法	授業内、教員研究	究室/講師控室なと								
履修上の注意			保存してください。 こついては、事前の	指示をよく	【聞いてくださ	l,°				

授業計画	
と (復習)教科書の指定したページを読む 90分 (復習)教科書の指定したページを読む 90分 保育内容領域:健康の理解と乳児保育の3つの視点 [担当:伊藤] 2 (予習)第1回で配付した資料を読む 45分 (復習)教科書の指定したページを読む 45分	
2 〈予習〉第1回で配付した資料を読む 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 45分	
〈復習〉教科書の指定したページを読む 45分	
保育の課程と子ども理解について〔担当:伊藤〕	
3 〈予習〉第2回で配付した資料を読む 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 45分	
指導計画の作成について〔担当:伊藤〕	
4 〈予習〉第3回で配付した資料を読む 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 45分	
大人との関わりの実践について学ぶ(乳児の実践から) [担当:伊藤]	
5 〈予習〉第4回で配付した資料を読む 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 45分	
身体との関わりの実践について学ぶ(五感をふまえて) [担当:伊藤]	
6 〈予習〉第5回で配付した資料を読む 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 45分	
基本的な生活習慣を身に付ける実践について学ぶ〔担当:伊藤〕	
7 〈予習〉第6回で配付した資料を読む 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 45分	
様々な遊びの実践について学ぶ [担当:伊藤]	
8 〈予習〉第7回で配付した資料を読む 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 45分	
環境と関わりながら遊ぶ実践について学ぶ(食事・安全を含む)〔担当:杉山〕	
9 〈予習〉第8回で配付した資料を読む 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 45分	
子どもの健康を育む保育の実践計画①(遊びの選定と指導案の作成)〔担当:杉山〕	
10 〈予習〉第9回で配付した資料を読む 45分 〈復習〉教科書の指定したページを読む 45分	
子どもの健康を育む保育の実践計画②(模擬保育準備・グループ決めと打ち合わせ) [担当: 村	(山)
11 〈予習〉第10回で配付した資料を読み指導案の構想を立てる 45分 〈復習〉指導案の作成 45分	
子どもの健康を育む保育の実践計画③(模擬保育グループ発表と振り返り)〔担当:杉山〕	
12 〈予習〉第11回で配付した資料を読む 30分 〈復習〉第12回のテーマに即した指導案の修正をする。実施した指導案を評価する 60分	
定期試験 (レポート) ◆定期試験(レポート) ◆振り返り・フィードバック(成績等返却時にコメントを入れて返却)	

授業科目名	保育	内容人間関係の	指導法	教員名		室井 佑美	
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係		重免許状必修[領域	或および保育内容の 「教材の活用を含む		関する科目	ナンバリング	1D419
授業内容を示す キーワード	保育内容 領域	人間関係 就学前	前教育 乳幼児の人	と関わる力	力の発達 保育	育の過程 ICT	
授業の概要	理解を深めます。 の過程、指導する	展育内容人間関係で習得した専門的知識・技術を基本として、領域人間関係の「ねらい及び内容」の実践的理解を深めます。その上で、乳幼児期の発達段階や子どもの興味・関心に即した保育の構想を検討するため の過程、指導するための方法を学びます。その上で、具体的な保育場面を想定した計画を立案、実施、評価、反省を通して保育展開における構想、指導法を修得します。					
	【ねらい】 領域人間関係に 改善(再計画)を	おける「ねらい及び 構想する力を身に	「内容」について理解 付けること、専門的:	翼し、自らの 知識・技術	の保育実践へ すを活かしたす	、の具体的な計画 指導方法の実際	画、実践、評価、 を学びます。
授業のねらいと 到 達 目 標	(1)保育の基本は る。 (2)乳幼児期の る。 (3)指導計画の	発達段階や子どもの	の関連を踏まえて、行の興味・関心に即し の興味・関心に即し 間関係」に関わる具 る方法を理解し、活度	て、保育を	構想する必	要性を実践を通	して体感でき
授業の方法等	自分の考えを持た ニングの手法を明	演習を中心とした授業を90分12回(合計48時間)行います。 自分の考えを持ち、意見をまとめることを多く行います。一部、視聴覚教材を活用します。また、アクティブラー ニングの手法を取り入れ、【グループワーク/模擬保育/フィールドワーク】を多岐に渡り取り入れて行います。 ICT機器を活用した双方向型の授業を行います。					
成績評価の基準と方法			業内成果提出物 70	)%			
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:2	0% DP2:20%	DP3:20% DP4:	20% DP	5:10% DP	6:10% 〔合計	†100%]
教 科 書	○「〈領域〉人間関係ワークブック」(ISBN: 978-4893472625)/田村美由紀·室井佑美著/萌文書林 ○「保育所保育指針解説」(ISBN: 978-4577814482)/厚生労働省(編集)/フレーベル館 ○「幼稚園教育要領解説」(ISBN: 978-4577814475)/文部科学省(編集)/フレーベル館 ○「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(ISBN: 978-4577814499) /内閣府・文部科学省・厚生労働省/フレーベル館						
参 考 書	〇適宜資料を配金	付します。					
関連科目	保育内容(健康· 保育内容総論	人間関係・環境・言	葉·表現) 保育内	容(健康・	環境・言葉・え	表現)の指導法	
質問受付の方 法	適宜、授業内、教	は員の研究室などで	で受け付けます。				
履修上の注意	毎回、授業内容( ストをそのまま後 学習の積み重ね	は配付プリント又は 期も使用します。	こついては、事前の :テキストに書き込み やむを得ず授業を欠 かしてください。	▶、貼付しる	ます。なお、育	前期「保育内容人	

授業計画	1	オリエンテーション、保育内容「人間関係」のねらい及び内容に関する指導上の留意点
٤		〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉幼稚園教育要領第2章人間関係[内容の取扱い]を読む。ルールのある遊び例を探す。[90分]
時間外学習		保育の構想の基本~ルールのある遊びを例に~①(指導計画の構造を作成方法)
	2	〈予習〉テキスト第13・14・15章【指導計画作成のポイント】を読み、まとめる。〔45分〕 〈復習〉「ルールのある遊び」の遊び方/順を追った理解の工夫を考える。〔45分〕
		保育の構想の基本~ルールのある遊びを例に~②(指導計画の作成と保育の展開方法)
	3	〈予習〉配布された「ルールのある遊び」指導案を熟読する。〔30分〕 〈復習〉テキスト第13章のワークを行う。ルールのある遊びの指導案を作成する。〔60分〕
		保育の構想の基本~ルールのある遊びを例に~③(模擬保育)
	4	〈予習〉作成した「ルールのある遊び」の指導案を実践できるよう準備する。[45分] 〈復習〉撮影した動画を視聴して、話し方や振る舞いの癖、子ども役の反応を確認する。[45分]
		保育の構想の基本~ルールのある遊びを例に~④(幼児理解に基づいた評価)
	5	〈予習〉撮影した動画を視聴して、グループで評価をまとめる。[30分] 〈復習〉ルールのある遊びへの指導案を修正して完成させる。[60分]
		保育の構想と実践(1・2歳児)①~身近な生活素材を利用した活動(教材研究)~
	6	〈予習〉身近な生活素材を探す。1・2歳児も取り組める身体の動きをまとめる。〔30分〕 〈復習〉子どもの実態に即した身近な自然素材を活用した活動の指導案を作成する。〔60分〕
		保育の構想と実践(1・2歳児)②~身近な生活素材を利用した活動(模擬保育と評価)~
	7	〈予習〉模擬保育に向けた事前準備を行う。〔45分〕 〈復習〉模擬保育実践後の評価と振り返りを行う。〔45分〕
		ごっこ遊びを活用した協同性を育む活動」(4・5歳児)①~教材研究と保育の構想~
	8	〈予習〉作成したマインドマップを生かして、活動の展開を考える。[30分] 〈復習〉子どもの実態に即したごっこ遊び活動の構想を練る、取り扱う教材で見本を作る。[60分]
		ごっこ遊びを活用した協同性を育む活動」(4・5歳児)②~指導計画の立案と準備~
	9	〈予習〉活動の構想及び教材見本をプレゼンテーションできるようにする。[30分] 〈復習〉子どもの実態に即したごっこ遊び活動の指導案を作成する。[60分]
		ごっこ遊びを活用した協同性を育む活動」(4・5歳児)③~準備と保育の展開方法~
	10	〈予習〉模擬保育に向けたごっこ遊び活動の準備をする。[30分] 〈復習〉模擬保育に向けたごっこ遊び活動の準備を完了させ、役になりきる練習をする。[60分]
	l	ごっこ遊びを活用した協同性を育む活動」(4・5歳児)④~模擬保育~
	11	〈予習〉模擬保育に向けた事前準備を行う。[30分] 〈復習〉模擬保育実践後の評価と振り返りを行う。[60分]
		ごっこ遊びを活用した協同性を育む活動」(4·5歳児)⑤~振り返り・評価/改善(計画改善と環境の再構成)~/保育内容人間関係の指導法のまとめ
	12	〈予習〉ごっこ遊び活動の評価・振り返りから、子どもが育つものをまとめる。[30分] 〈復習〉保育内容人間関係の指導法の授業を通して、保育者が子どもに保育内容人間関係を指導して いくために、どのような方法でどのような意識で関わる必要があるか考えて述べる。[60分]
定期試験	◆定 ◆#	

**定期 試験** 検振り返り・フィードバック〔添削をして後日返却する〕

授業科目名	保証	育内容環境の指	 導法	教員名	野	5口 一夫/高	後仁
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係		重免許状必修〔領域	或及び保育内容の打 び教材の活用を含		する科目	ナンバリング	2D420
授業内容を示す キーワード		〈タートカリキュラ↓	ム 野菜栽培 カルク	タあそび 自	然とあそぶ	エコグッズの制	制作 エコクッキ
授業の概要		子どもの身近な環境との関わりとして、グループワークやディベートを通して野菜栽培や伝統的な遊び、自然 と直接遊んだり、制作したりする体験を通して領域「環境」を理解し、小学校との円滑な接続について学ぶ。					
			環境に好奇心や探 のつながりを理解・			れらを生活に取	双り入りていこう
授業のねらいと 到 達 目 標	乳幼児の発達に		話的で深い学びが ち法を身に付けるこ			て、領域「環境」	の具体的な指
授業の方法等	ファームでのフィ-		名の教員で原則ク 土づくり、追肥、除 がます。			そびと制作等具	体的な体験の
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記録 ■授業への取りが ■提出物 30%						
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:10	0% DP2:10%	DP3:20% DP4:	10% DP5	:40% DP	6:10% 〔合訂	†100%]
教 科 書	〇「幼稚園教育要 〇「幼保連携型認	領解説」(ISBN:9	78-4577814482)/J 78-4577814475)/J 保育要領解説」(ISI 1省/フレーベル館	文部科学省	(編集)/フレ		
参考書			共著 〇「保育」 他 製作 〇「環境・				
関連科目	保育内容(健康·. 保育内容総論	人間関係・環境・言	i葉·表現) 保育内	容(健康・人	、間関係・言	葉・表現)の指導	<b>算法</b>
質問受付の 方 法	担当教員 随時						
履修上の注意	レポートは毎回提ファームで活動が	出します。 レポー できる服装(ジャー	-ト等の資料を整理 -ジ、スニーカー等∑	!・保存する「 ) 色鉛筆を	A4版ファイ 準備してくた	ブル」を用意してぐ ざさい。 	ください。 

授業計画		幼稚園教育の基本と小学校との接続・連携 ~生活科との関わり~ 遊びも学習
文 未 前 凹	1	
٤	<u> </u>	〈予習〉「生活科」とはなにか調べる 45分    〈復習〉接続と連携の重要性を整理する 45分
時間外学習		アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムと領域「環境」
	2	(予習〉アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムを調べる 45分
		〈復習〉学習内容を整理する 45分 草花とあそぶ ネイチャーゲームを楽しむ ハルジオン・ヒメジョオン
	3	⟨予習⟩ネイチャーゲームとは何か調べる 45分 折り紙(花)
		〈復習〉学習内容を整理する 45分
	١,	みんなで育てよう!やさい①種、苗の観察 サツマイモ植え
	4	〈予習〉ナス、ピーマン、シシトウ、ポップコーンについて調べる 45分 〈復習〉種や苗の植え方を体験を通してポイントを整理する 45分
		みんなで育てよう! やさい②成長の観察
	5	〈予習〉時々観察することによって新しい発見をする 45分 〈復習〉見る 触る 聞く 嗅ぐ 心で感じる 比べる スケッチ などの観点を整理する 45分
		自然とあそぼう ①ササ舟・草笛・紙笛や葉っぱ
	6	〈予習〉クマザサ、紙、葉っぱなどの自然等の自然物に目を向け、遊びを考える 45分 折り紙(舟) 〈復習〉身近な自然とあそぶ楽しさを整理する 45分
		自然とあそぼう ②折り紙ヒコーキ・発泡スチロールヒコーキ
	7	〈予習〉簡単に作ってあそべる物を調べる 45分 〈復習〉実習等で幼児にも簡単に作れることを学び、実践しようとする 45分
		伝統的なあそび(カルタ等)を制作する エコカルタ
	8	〈予習〉伝統的なあそびを調べる 45分 折り紙(あそび) 〈復習〉既成の物や自作した物を体験しする 45分
		伝統的なあそび(カルタ等)で遊び体験する
	9	〈予習〉遊び方を工夫しポイントを整理する 45分 〈復習〉既成の物や自作した物を体験し、ポイントを整理する 45分
		環境関連のDVD視聴、エコグッズの制作
	10	〈予習〉エコグッズやエコクッキングについて調べる 45分 〈復習〉エコについての知識を深め、ポイントを整理する 45分
		やさいの収穫祭を楽しもう!
	11	〈予習〉食育の意義を調べる 45分 〈復習〉やさいを育てる過程で、命あるものを食することの意義を深め自然の恵みに感謝する 45分
		振り返り アンケート
	12	〈予習〉今までの学習の振り返り 45分 〈復習〉総復習 45分
	_	
定期、試験		E期試験〔筆記〕60分 最り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

授業科目名	保	育内容言葉の指	導法	教員名		相沢 和恵	Ţ
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係		 重免許状必修〔領域	或及び保育内容の打 び教材の活用を含		する科目	ナンバリング	1D421
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	乳幼児期 保育剂	析 幼稚園 認定こ	ども園 言葉の指導	法 児童	文化財 こと	ば遊び 保育所	保育指針等
授業の概要	る専門領域と関連 する力を習得しま	乳幼児の言葉や表現に関する現状や課題を踏まえた上で、領域「言葉」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させながら理解します。保育内容の各領域を総合的に捉え、構想、計画、指導、実践、省察する力を習得します。特に保育実践力として必要な指導案の立案、教材の選定・吟味、模擬保育の実施と保育技術の修得などを学びます。					
		除育を展開する方法	いて理解し、生活や まを身につける。指				
授業のねらいと 到 達 目 標	(2)言葉や表現に ことができる。	こついて豊かな感情	かきを視野に入れ、6 生を養うための環境 解しそれらを活用す	の構成と	保育の展開に		こ計画を立てる
授業の方法等	ICTを積極的に活		います。 ーク・模擬保育など: ープサートを学生が			使用します。	
成績評価の基準と方法			フォリオなどの提出∜	勿を含む)	70%		
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:4	0% DP2:10% I	DP3:20% DP4:	10% DP	5:10% DP	6:10% 〔合計	†100%]
教科書	〇「保育所保育指 〇「幼稚園教育要	針解説」[ISBN:9 領解説」[ISBN:9	ぐ」著書:宮野周[IS 78-4577814482]/』 78-4577814475]/3 保育要領解説」[ISE	『生労働省 て部科学省	(編集)/フレ (編集)/フレ	/一ベル館 /一ベル館	学省・厚生労働
参考書	「感じあう伝えある」 「あそびから学び 他	り ワークで学ぶ児 が生まれる動的環	童文化」村中李衣線  境デザイン」大豆生	編著 金子 田啓友 <sup>生</sup>	書房 学研教育みら	Sir	
関連科目	保育内容(健康· 保育内容総論	人間関係∙環境∙言	葉・表現) 保育内	容(健康・	人間関係・環	境・表現)の指導	<b>算法</b>
質問受付の 方 法	担当教員の研究	室などで受け付け	ます。				
履修上の注意	授業実施場所の	変更や準備物、服	装などについては、	担当教員	の指示をよく	聞いてください。	

授業計画		言葉の指導法とは(オリエンテーション) 演習:簡単なコミュニケーション
٤	1	〈予習〉シラバスと指定教科書を読み、授業の概要を理解する 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
時間外学習		保育内容「言葉」とは何か
	2	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
		あかちゃんからの「言葉」 言葉の発達とコミュニケーション
	3	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
		遊びの中の豊かな言葉の経験
	4	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
		豊かな経験を支える「ことば遊び」カルタを作ろう
	5	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
		子どもの言葉を育む保育の実践、模擬保育の準備(絵本の読み聞かせ)
	6	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
		子どもの言葉を育む、模擬保育 指導案作成と教材作成
	7	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
		子どもの言葉を育む、模擬保育1(視聴覚教材を使用した模擬保育 練習)
	8	〈予習〉教科書「表現の指導法」のはじめにを読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
		子どもの言葉を育む、模擬保育2(視聴覚教材を使用した模擬保育 発表)
	9	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
		言葉に対する感覚や心を育てる素話・語り(昔話・民話・口演童話など)
	10	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
		素話・語りの実践
	11	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
		まとめ:子どもの言葉や表現を育み、豊かにする保育実践,
	12	〈予習〉次回授業該当部分の教科書を読む 45分 〈復習〉授業内で配付したプリントを見返す 45分
定期試験		と 関制試験[レポート] ほり返り・フィードバック[成績等返却時にコメントを入れて返却]

令和6年度-45

授業科目名	保育	育内容表現の指	 導法	教員名	伊	福泉 博子藤 えつ子 / 酒	
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係		重免許状必修[領域	或及び保育内容の指 なび教材の活用を含		する科目	ナンバリング	2D422
授業内容を示す キーワード	表現 乳幼児 教	文育 保育 感性 :	創造性 遊び 音楽	表現造	形表現 身体	表現	
授業の概要		<b>ヽて背景となる専門</b>	⊧えて、乳幼児の表: 門領域と関連させて を習得する。				
		展開する方法を学	解し、乳幼児が生活 び、自身の感性を磨 ける。				
授業のねらいと 到 達 目 標	(2)豊かな感性を (3)自身の感性や (4)他者とのコミュ	&うための環境構成表現力を磨く。 ニケーションとして	を視野に入れた保成と保育の展開にて 表現を楽しむことが を生かした表現活動	いて具体 できる。	的に計画を	立てることができ	<b>ే</b> .
授業の方法等	体験的な学びを中ワークシートを活力	90分12回(合計48時間)の授業を、教員3名でグループごとに行います。 体験的な学びを中心に演習を行います。 ワークシートを活用し学びの省察・自己評価を行いながら進めます。 視聴覚教材や事例を活用、グループワーク、討論、発表など、アクティブラーニングの手法及びICTを積極的 に用います。					JICTを積極的
成績評価の基準と方法	■定期試験[レオ ■授業への取り約 ■提出物(ポート)	Ⅱみ・態度 60%	3) 10%				
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:30	)% DP2:10%	DP3:30% DP4:	10% DP	5:10% DP	6:10% 〔合計	†100%]
教 科 書	〇「幼稚園教育要 〇「幼保連携型認	領解説」(ISBN:9 に定こども園教育・	78-4577814482)/原 78-4577814475)/戊 保育要領解説」(ISE 1省/フレーベル館	次部科学省	(編集)/フレ		
参 考 書	適宜、資料を配付	します。					
関連科目	保育内容(健康・ 保育内容の指導) 保育内容総論、図	去(健康・人間関係		加児体育、	ナチュラルア	ート、ダンスムー	-ブメント
質問受付の 方 法	担当教員の研究	室などで随時受け	付けます。				
履修上の注意	授業実施場所の	変更や準備物、服	装等については、名	担当教員	の指示をよく	(聞いてください。	,

	1	
授業計画		オリエンテーション 領域「表現一音楽・身体・造形」のねらい及び内容 [担当:福泉/伊藤/酒井]
٤	1	〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 30分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理 60分
時間外学習		子どもの造形表現を育む環境構成と援助(1) 造形的授業展開の考察①[担当:酒井]
	2	〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 30分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理 60分
		   子どもの造形表現を育む環境構成と援助(2) 造形的授業展開の考察②[担当:酒井]
	3	〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 30分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理 60分
		  子どもの音楽表現を育む環境構成と援助(1) 歌唱活動 [担当:福泉]
	4	〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 30分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理 60分
	5	〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 30分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理 60分
		子どもの身体表現を育む環境構成と援助(1)[担当:伊藤]
	6	〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 30分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理 60分
		子どもの身体表現を育む環境構成と援助(2) [担当:伊藤]
	7	〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 30分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理 60分
	8	8回~10回目 グループ創作活動〔担当:福泉/伊藤/酒井〕
	9	【保育者としての表現を磨く】 今までの表現の授業を踏まえ、ジャンルを超えた総合的表現パフォーマンスをグループで創作、実演する。
		〈予習〉グループ発表に向けての準備 60分
	10	〈復習〉授業の振り返り 30分
		子どもとの表現活動の実演(発表)①[担当:福泉/伊藤/酒井]
	11	〈予習〉グループ発表に向けての準備 60分 〈復習〉授業の振り返り 30分
		子どもとの表現活動の実演(発表)②[担当:福泉/伊藤/酒井]
	12	〈予習〉グループ発表に向けての準備 60分 〈復習〉授業の振り返り 30分
定期試験		 

授業科目名	子ども文化演習A 教員名 大島 靖史						
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格選	択必修				ナンバリング	1D423
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	遊び歌(手遊び・人素材や身近にある	ふれあい遊び・リズ るものを使った遊び	、ム表現など) ド				
授業の概要	また楽しいだけ	「遊び歌・遊び」の楽しさ、指導の心構えや指導方法を実技を通して習得します。 また楽しいだけでなく、子どものどのようなところの成長を促していけるか年齢や発達に合わせて考えます。 身近なものを使った遊びを通して、子どもたちの健やかな育みに繋がる活動を実践しながら共に考えます。					
授業のねらいと 到 達 目 標	とができるかを学 【到達目標】	利幼児の特徴や発達を認識し、遊び歌や遊びをどのような場面、環境、指導方法で子どもたちと楽しみ合うこかできるかを学び、保育での実践力を高めます。遊びの理解を深めながら、協力して楽しみ、学びます。					
授業の方法等			テいます。 ループワークを行い	、その発	長を行うことで	ご具体的な体験	・経験をし実践
成績評価の基準と方法		■定期試験[レポート]40% ■授業への取り組み・態度40% ■提出物20%					
D Pに掲げる 学 カ の 割 合	DP1:4	0% DP2:0% D	DP3:30% DP4:1	0% DP5	:10% DP6	6:10% 〔合計	100%]
教科書	「THE BEST 手あ その他、適宜資料		SBN:978-48962230	)19〕メイ	`		
参考書	あそび歌CD『スマ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	/キッズスマイルカ:	ンパニー			
関連科目			Ⅰ 保育実習 Ⅰ・Ⅱ ・環境・言葉・表現》			(幼稚園)	
質問受付の方 法	授業開始前、授業	業終了後 随時受け	け付けます。				
履修上の注意	教科書と「遊びの	プリント」などを配行	付するので保管でき	る専用の	ファイルを用	意してください。	

授業計画		オリエンテーション「自己紹介」「遊びとコミュニケーション」について 遊び歌の実践
٤	1	〈予習〉シラバスを見て授業内容を把握する。90分 〈復習〉教わった内容について振り返り、理解をする。90分
時間外学習		身近にある物を使った遊びを紹介・実践(レジ袋遊び)
	2	〈予習〉子どもの発達や保育指針を理解する。90分 〈復習〉実践した内容を振り返る。90分
		身近にある物を使った遊びを紹介・実践(タオル・新聞紙遊び)
	3	〈予習〉子どもの発達や保育指針を理解する。90分 〈復習〉実践した内容を振り返る。90分
		遊び歌の実践「伝承遊び」など 保育での遊び実践のビデオ鑑賞
	4	〈予習〉過去に教わったり、体験してきた手遊び、伝承遊びを振り返る。90分 〈復習〉授業で行った遊びを振り返り練習する。90分
		年齢や目的にあった手遊びなどの紹介とそのアレンジ(乳幼児向け①)
	5	〈予習〉教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 〈復習〉覚えた手遊びを反復練習する。90分
		年齢や目的にあった手遊びなどの紹介とそのアレンジ(乳幼児向け②)
	6	〈予習〉教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 〈復習〉覚えた手遊びを反復練習する。90分
		年齢や目的にあった手遊びなどの紹介とそのアレンジ(乳幼児向け③/リズム表現)
	7	〈予習〉教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 〈復習〉覚えた手遊びを反復練習する。90分
		手遊びグループ発表
	8	〈予習〉実技試験で行う手遊びを繰り返し練習し、習得する。90分 〈復習〉発表で良かった点、悪かった点を振り返る。90分
		絵本や紙芝居など視覚的教材からの表現実践
	9	〈予習〉様々な絵本があることを知る。90分 〈復習〉実践した内容を振り返る。90分
		年齢や目的にあった手遊びなどの紹介とそのアレンジ(季節に合った手遊び・その他)
	10	〈予習〉教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 〈復習〉覚えた手遊びを反復練習する。90分
		手遊びからの発展【身体表現実践】
	11	〈予習〉教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 〈復習〉手遊びからの発展的活動を振り返る。90分
		手遊びからの発展【オリジナル創作遊び制作①】「グループ毎に分かれ、遊びを考える」「練習」
	12	〈予習〉教科書を見て様々な手遊びがあることを知る。90分 〈復習〉授業内グループ発表で行う遊びを繰り返し練習し、習得する。90分
		手遊びからの発展【オリジナル創作遊び制作②】「グループ毎に発表する。遊びについて話し合う」(前半)
	13	〈予習〉授業内グループ発表で行う遊びを繰り返し練習し、習得する。90分 〈復習〉発表で良かった点、悪かった点を振り返る。90分
		手遊びからの発展【オリジナル創作遊び制作③】「グループ毎に発表する。遊びについて話し合う」(後半)
	14	〈予習〉授業内グループ発表で行う遊びを繰り返し練習し、習得する。90分 〈復習〉発表で良かった点、悪かった点を振り返る。90分
		授業のまとめ
	15	〈予習〉授業で配付された資料をまとめる。90分 〈復習〉実践に向けて自身の課題に取り組む。90分
定期試験		期試験[レポート] より返り・フィードバック[ 成績発表時にコメントを入れ返却します]

授業科目名	子ども文化演習B     教員名     福泉 博子 伊藤 えつ子 / 酒:						
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格選 〇幼稚園教諭2種					ナンバリング	2D424
授業内容を示す キーワード			生、協働性、表現力	、コミュニケ・	ーション、表	現技術、	
授業の概要	す。11月中旬に開 識した作品作りを 子どもの心性に基	2年間の学びを活かしながら、身体表現・音楽表現・造形表現のそれぞれの特徴を生かした作品を制作します。11月中旬に開催予定の行事「Yamamura Juhla Juhla」にて発表しますので、子どもたちが鑑賞する事を意識した作品作りをしてください。 子どもの心性に基づき意図をもって主体的に作品を創作すること、教員や仲間と協働すること、自身が舞台や制作物で表現することを通して、保育者としての資質・能力や社会人基礎力を高めていきます。					
	身体知を身につけ	けること、体験過程	た作品の創作・実決を通して自身の思う でき、それらの能力	考力、判断丿	力、表現力、	主体性、協働性	、創造性、コ
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】 ①子どもの感性や総合的な表現の意義を理解する。 ②自身の表現力・表現技術を身につける。 ③演出法・制作技術・各種効果等について具体的な方法を身につける。 ④仲間との協働の重要性を理解し粘り強く取り組むことができる。 ⑤具体的な役割や計画のもとにプロジェクトを遂行できる。						
授業の方法等	講義、制作、実技	、演習、発表、グル	レープワークを併用	して展開しる	ます		
成績評価の基準と方法	■定期試験〔レオ ■行事と授業への	∜―ト〕30% D取り組み・態度 7	0%				
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:1	DP1:10% DP2:0% DP3:50% DP4:10% DP5:10% DP6:20% [合計100%]					100%]
教 科 書	使用しません。必	要に応じてプリント	を配付します。				
参考書	適宜紹介します。						
関連科目	保育内容表現、伊 音楽 I 音楽 II	保育内容表現の指 図画工作 幼児体	導法、保育内容言 育	葉 保育内容	<b>字環境</b>		
質問受付の 方 法	適宜、担当教員の	)研究室等で受け	付けます。				
履修上の注意	②グループ活動/ があります。E ③Yamamura Juh	Nの積極的な参加 I常から表現に興味 Ia Juhlaに合わせて	連相に努め、チーム、自主的な練習が注 ・を持って、積極的 に授業時間が変更 ・マスクの着用等	求められます に様々な表 こなる場合か	↑。授業外で 現に触れる バありますの	の準備や練習 機会を作ってくた で注意してくだ	を行う場合 ごさい。 さい。

授業計画		オリエンテーション(子どもの心性と総合的な表現の理解) 各分野の内容説明と希望調査
٤	1	〈予習〉シラバスを読み授業概要のイメージを持つ 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
時間外学習		グループ分け・各班リーダー決め テーマ・作品決め 計画表作成
	2	〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	3	3~10回 グループワーク 作品制作 音楽制作 造形制作 身体表現制作 舞台製作等 ※7回は、中間報告会を実施。 ※10回は、舞台発表グループ通しと全体調整を実施。
	4	〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
		全体調整ミーティング
	11	〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	10	通し(全体調整・制作過程について)
	12	〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	10	リハーサル 当日の動線の確認
	13	〈予習〉次回授業に向けたグループワーク(練習・制作) 90分 〈復習〉授業の振り返りと課題の整理(ミーティング) 90分
	14	片付け・振り返り 〈予習〉活動プロセスをまとめておく90分 〈復習〉本番の振り返りと片付け90分
	15	省察・授業のまとめ 〈予習〉活動プロセスをまとめておく90分 〈復習〉レポートに向けて考察をまとめておく90分
定期試験		E期試験[レポート] より返り・フィードバック[成績発表時等に返却します]

授業科目名		ピアノI		教員名	大導寺(	泉 博子/数野。 夋平/中川 悠子田 百合絵/宮原	子/福士 紗希			
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習			
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格選	択必修				ナンバリング	2D425			
授業内容を示す キーワード	ピアノ 弾き歌い	ピアノ 弾き歌い 習熟度別 伴奏法 基礎・基本確立 専門性向上								
授業の概要	和音やコードを使	「音楽」における習得成果を踏まえ、保育現場で必要とされる鍵盤楽器(ピアノ)の奏法や弾き歌い、 和音やコードを使った伴奏付けなどに必要な技能を学びます。 個々のレベルに合わせた個人レッスンを行います。								
	きます。		保育現場から求め 奏技術の向上を目		に応えられ	る専門性を身に	つけることがで			
授業のねらいと 到 達 目 標	〇音名、音符、リ 〇習熟度の低い! いたこどもの歌が 〇中上級者はブ	【到達目標】 〇音名、音符、リズム、拍子を理解し、ひとりで読譜し演奏することができる。 〇習熟度の低い学生はパイエル100番程度の難易度の曲が演奏できる。弾き歌いでは和音や分散和音を用 いたこどもの歌が弾きこなせるようになる。 〇中上級者はブルグミュラー、ソナチネ、ソナタや、それらと同等のピアノ曲を演奏することができる。また、 コードや伴奏法を用い、童謡などに伴奏がつけられるようになる。								
授業の方法等	〇演習形式で個.	○90分12回(合計48時間)の授業を行います。 ○演習形式で個人レッスン(実技)を毎週行います。 ○ピアノ、弾き歌いとも個々の進度に応じ、難易度別に設定される曲目をクリアしながら各自がレベルアップを 図ります。								
成績評価の基準と方法			ンイ(弾き歌い) 30% 复習を含む) 20%	ı						
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:3	0% DP2:10%	DP3:30% DP4:	10% DP	5:10% DP	6:10% 〔合計	†100%]			
教科書	ソナチネアルバム やさしく弾けるピ	全訳(標準)バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社) ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社) ソナチネアルバム1(全音楽譜出版社) 令和6年度楽譜集 やさしく弾けるピアノ伴奏 保育のうた12か月 幼稚園・保育園 現場の声から選ばれた全141曲(新星出版社) ※その他、個人のレベルに合わせ各担当教員から曲目の指示をします。								
参考書			由集150」(シンコーミ よるこどもの歌の楽			」(チャイルド社)				
関連科目	音楽Ⅰ 音楽Ⅱ	ピアノⅡ 保	育内容表現 保育	内容表現の	の指導法					
質問受付の方 法	随時受け付けます	ナ。 								
履修上の注意	楽譜や教材、ピア 楽譜に書き込みる	<u>ソ進度表を毎回必</u> としたりするので筆	教員に確認してくた 3ず持参してくださし 記用具を持参してく いないか注意しまし	<u>`</u> 。 ください。						

を 業計画	1	オリエンテーション 授業形式の説明 個々の進度に応じた教則本による学習と弾き歌い学習 ピアノ個人レッスン 〈予習〉教育実習 I ピアノ見極めテストの練習 毎日30分程度
		〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
計間 外 学 習	2	2~12回 学生個々の進度に応じたピアノ個人レッスン ※2回目に季節のうた見極めテスト
		〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
		拍子とリズム テンポ 実習園からの課題曲のレッスン
	3	〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
		強弱法 音階法 実習園からの課題曲のレッスン
	4	〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
		曲想やフレーズについて 実習園からの課題曲のレッスン
	5	〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
		弾き歌い実践練習 実習での歌唱活動を想定した練習
	6	〈予習〉弾き歌い曲の練習と園での活動のイメージ練習毎日30分程度 〈復習〉振り返り 30分
		調性と移調について 子どもの歌弾き歌い(季節の歌)
	7	〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
		伴奏法について I ・和音奏法 ・コードについて 子どもの歌弾き歌い(季節の歌)
	8	〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
		伴奏法について I ・和音奏法 ・コードについて 子どもの歌弾き歌い(童謡唱歌 明治大正)
	9	〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
		伴奏法についてⅡ・分散和音奏法・メロディと伴奏 子どもの歌弾き歌い(童謡唱歌 昭和平成令和)
	10	〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
		伴奏法についてⅡ ・分散和音奏法 ・メロディと伴奏 子どもの歌弾き歌い(テレビ・アニメ)
	11	〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
		弾き歌い実践練習 まとめ
	12	〈予習〉弾き歌い曲の練習と園での活動のイメージ練習毎日30分程度 〈復習〉振り返り 30分
三期 試験	◆定	『期試験〔実技〕70分 『川海川・フィード・バック』字期記録の解説を行る♪20分

**定期 試験** |▼上州 ロッド トラス・10 / |◆振り返り・フィード バック[ 定期試験の解説を行う] 20分

授業科目名		ピアノⅡ		教員名	大導寺(	泉 博子/数野 変平/中川 悠子 田 百合絵/宮原	子/福士 紗希	
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習	
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格選打	沢必修				ナンバリング	2D426	
授業内容を示す キーワード	ピアノ 弾き歌い	習熟度別 伴奏》	去 基礎·基本確立	専門性向	上			
授業の概要		やコードを使った				される鍵盤楽器	(ピアノ)の奏法	
	きます。	音楽的な資質・能力を高め、実際に保育現場から求められる要求に応えられる専門性を身につけることがで						
授業のねらいと 到 達 目 標								
授業の方法等	○90分12回(合計48時間)の授業を演習(実技)形式で個人レッスンを毎週行います。 ○ピアノ、弾き歌い、歌唱を個々の進度に応じ、難易度別に設定される曲目をクリアしながら 各自が レベルアップを図ります。							
成績評価の基準と方法		<b>動指導ロールプ</b> し	ンイ(弾き歌い) 309 复習を含む) 20%	6				
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:30	0% DP2:10%	DP3:30% DP4:	10% DP	5:10% DP	6:10% 〔合言	†100%]	
教 科 書	ソナチネアルバム やさしく弾けるピフ	全訳(標準)バイエルピアノ教則本(全音楽譜出版社) ブルグミュラー25の練習曲(全音楽譜出版社) ソナチネアルバム1(全音楽譜出版社) 令和6年度楽譜集 やさしく弾けるピアノ伴奏 保育のうた12か月 幼稚園・保育園 現場の声から選ばれた全141曲(新星出版社) ※その他、個人のレベルに合わせ各担当教員から曲目の指示をします。						
参考書			由集150」(シンコー よるこどもの歌の夢			」(チャイルド社)		
関連科目	音楽Ⅰ 音楽Ⅱ	ピアノI 伊	保育内容表現 保	育内容表现	見の指導法			
質問受付の 方 法	随時受け付けます	۲.						
履修上の注意	楽譜や教材、ピ 楽譜に書き込みを	アノ進度表を毎回 したりするので筆	教員に確認してくた <u>必ず持参してくださ</u> 記用具を持参して いないか注意しまし	<u>い</u> 。 ください。				

授業計画		オリエンテーション 目標 内容 授業形式の説明
按 耒 町 凹	1	個々の進度に応じた教則本による学習と弾き歌い学習 ピアノ個人レッスン
ځ	'	〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日30分程度
		〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日30分程度
時間外学習		2~11回は、学生個々の進度に応じたピアノ個人レッスン
	2	※10~12回目のどこかで弾き歌い実践練習 子どもとの歌唱活動のロールプレイを行います
		○就職試験曲の取り組み
		○こどもの歌弾き歌い
	3	〈予習〉教員からの課題曲の練習 毎日20分程度
		弾き歌い曲の練習と園での活動のイメージ練習毎日30分程度
		. 〈復習〉レッスンで指導を受けた曲の練習 毎日20分程度
	4	
	-	
	5	
	6	
	7	
	l ′	
	8	
	9	
	10	
	١.,	
	11	
		まとめ
	12	、『白/洋さ歌い曲の秋白と園での活動のイグーン秋白毎日30万柱皮
		〈復習〉振り返り 30分
定期試験	<b>◆</b> 定	₽期試験〔実技〕70分 ₹り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕20分
	▼协	xツ込ツ・ノ1─Fハツグし 定粉試験の胜流で1Tプ J 20万

授業科目名	SDGsと教育・保育 <b>教員名</b> 野口 ーラ						後仁	
配当年次	1-2	1・2 開講時期 後期 単位数 1 授業刑						
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格選	択必修				ナンバリング	3D427	
授業内容を示す キ ー ワ ード	SDGs17の目標、	SDGsと保育、地球	環境の現在、温暖	化防止、緑	化、資源再	生、里山保全、記	周査·研究	
授業の概要	比企窯跡群)につ	DGsの背景、17の目標、幼稚園や保育所で展開されてる実践例について学びます。また鳩山町の文化(南 と企窯跡群)について専門家から学び、実際に体験します。さらに地球観測センターの見学を行い、観測デー からわかること等を専門家から学びます。それらを踏まえ、自分たちで教育・保育で生かせるSDGsについて 限題を設定し、調査・研究を行い、課題解決に向けた教育・保育に生かせる実践方法を明らかにしていきま						
	【ねらい】 ・SDGsに関する知 築することができ		教育・保育の現場	で生かせる	多実践方法を	・、自分たちで調	査・研究し、構	
授業のねらいと 到 達 目 標	・地域の文化発生・観測データの大 ・幼稚園や保育所	【到達目標】 ・SDGsの背景、17の目標を理解している。 ・地域の文化発生やその継続の要因を理解している。 ・観測データの大切さと、そこから導かれる地球環境の現在を理解している。 ・幼稚園や保育所をはじめ、様々な場で展開されているSDGsの実践をその意義も含め理解している。 ・研究の進め方を理解し、教育・保育に生かせる実践方法を獲得している。						
授業の方法等	外部講師を招聘し (古代窯を使った ICT(EduNavi)を また、アクティブラ	90分12回(合計48時間)の授業を複数(2名)の担当教員が行います。 外部講師を招聘し、専門性の高い講義を行います。研究施設(地球観測センター)の見学、地域文化の体験 (古代窯を使った焼き物)を行います。 (古代にはNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL//グループワーク/プレゼンテーション/実習・フィールド ワーク】を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り約	■定期試験〔筆記〕40% ■授業への取り組み・態度 10% ■研究成果、提出物 50%						
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:10% D	P2:10% DP3:	20% DP4:20%	DP5:30%	DP6:109	6 〔合計100%	〕※10%単位	
教 科 書	適宜、資料を配付	けします。						
参考書	適宜、資料を配付	けします。						
関連科目	保育内容環境、保	保育内容環境の指	導法、アウトドア演	習A、アウト	・ ドア演習B、	ダイバーシティ	Ŀ教育·保育	
質問受付の方 法	担当教員 随時	3当教員 随時						
履修上の注意	·調査·研究活動		実施上の留意点を は、計画を作成し、 があります。			ぱする。		

F		I
授業計画		SDGsについて学ぼう -17の目標と169のターゲット- 〔担当:野口/高後〕
ا ع	1	〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉SDGsについて今までの学習内容を振り返る。講義のまとめ、配付プリントの整理。90分
時間外学習		SDGsと保育 各地の実践から〔担当:野口/高後〕
	2	〈予習〉幼稚園、保育園のHP等を参考にSDGsに関する取組を調べる。45分 〈復習〉講義のまとめ、配付プリントの整理。45分
	3	南比企窯跡群の文化を体験しよう1(鳩山町教委 文化財保護担当講義・焼き物作り) ※7月末実施[担当:高後] 〈予習〉南比企窯跡群について調べる。45分
		〈復習〉講義・活動のまとめ、配付プリントの整理。45分
		南比企窯跡群の文化を体験しよう2(農村公園 復元古代窯からの焼き物取り出し)[担当:高後]
	4	〈予習〉南比企窯跡群の焼き物の特徴について調べる 45分 〈復習〉講義のまとめ、配付ブリントの整理。45分
		地球規模の視点で見えること1(JAXA 地球観測センター見学) [担当:野口/高後]
	5	〈予習〉地球観測センターの機能等についてHP等を参考に調べる。45分 〈復習〉見学の概要をまとめる。45分
		地球規模の視点で見えること2(JAXA 地球観測センター 出前授業) [担当:高後]
	6	〈予習〉見学を通して、知りたくなったこと、質問したいことをまとめておく。45分 〈復習〉講義のまとめ、配付プリントの整理。45分
		山村学園短大のSDGsの取組を調べ、体験しよう〔担当:高後〕
	7	〈予習〉山村学園短大で見られるSDGsの取組を調べる。45分 〈復習〉講義・体験の内容をまとめる。45分
		自分たちの課題を決めて行動しよう1(課題設定、解決方法等) [担当:野口/高後]
	8	〈予習〉前回までの学習から自分で取り組みたい課題を検討する。45分 〈復習〉設定課題、解決方法を吟味し、ワークシートにまとめる。45分
		自分たちの課題を決めて行動しよう2(調査・研究の計画作成・検討・実施) 〔担当:野口/高後〕
	9	〈予習〉調査・研究活動に必要な資料等の準備。45分 〈復習〉本時の調査研究活動のまとめ。45分
		自分たちの課題を決めて行動しよう3(調査・研究の実施) [担当:野口/高後]
	10	〈予習〉調査・研究活動に必要な資料等の準備。45分 〈復習〉本時の調査研究活動のまとめ。45分
		自分たちの課題を決めて行動しよう4(調査・研究の実施) [担当:野口/高後]
	11	〈予習〉調査・研究活動に必要な資料等の準備。45分 〈復習〉本時の調査研究活動のまとめ。45分
		調査・研究発表会 学習のまとめ〔担当:野口/高後〕
	12	〈予習〉自分たちの調査・研究の方法や成果について発表できるようにまとめる。45分 〈復習〉質疑や協議を参考に自分たちの調査・研究を振り返り今後の教育・保育にどう生かすか考える。45分
定期試験		I E期試験[筆記]60分 長り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分

	40.7	» > - 1 #L- <del>*</del>	· /D ->-	教員名	宇田		本 淳一
授業科目名	ダイバーシティと教育・保育					室井佑美	
配当年次	1•2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格選	択必修				ナンバリング	3D428
授業内容を示す キ - ワ - ド	ダイバーシティ 扌	数育 保育 共生剂	社会 文化 尊重 イ	ンクルーシ	<b>ノブ</b>		
授業の概要	ダイバーシティ(多様性)とは、人間の中にみられる身体的、文化的など様々な差異のことです。例えば、人種、民族、性別、年齢、障がいの有無、社会経済的ステータス、性的指向、宗教、階級、政治的信条などの面があります。これら差異が社会生活の中でどのような背景を持ち、どのような実態であるのかを学び、違いを受入れ、互いの個性を認め活かしあおうとする考え方や姿勢を養います。また、ダイバーシティを推し進めるための仕組みの具体例や教育・保育・福祉の現場での実践を通して理解します。その上で、私たちが「互いの個性を尊重する」「他者と共に豊かに生きる」ことを、自分の課題として深く考え、共生社会マインドを養います。						
授業のねらいと 到 達 目 標	【ねらい】 ダイバーシティに対する理念、意義を理解し、それらが形成されるに至った背景を学びます。現代社会の特徴である、規範の複雑化、価値観の多様化に対して、自らが求められる「他者の価値を認めながらも、自分の価値も同時に持ち、共生していくこと」を、専門的な知識を獲得した上で、共生社会に向けたアクションを思考し、判断し、応用する力を習得します。偏った見方に陥らず、多角的な視点を持って自ら思考し、受容していく力を養うため、自分と他者の意見を理解し、尊重し合いながら仕組みを考えるための態度を身につけます。  【到達目標】 (1)ダイバーシティの実態や社会的背景を具体的かつ詳細に概説できる。 (2)多角的な視点で、ダイバーシティの目的と必要性を述べられる。 (3)ダイバーシティを推し進めるための仕組みについて具体的かつ詳細に概説できる。 (4)自分の意見に根拠や理由を示しつつ、意見を形成して的確に説明できる。						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を3名の教員がオムニバス形式で授業を行います。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーション】を授業内で行うことがあります。 学外授業としてフィールドワークを行う可能性もあります。						ーク/プレゼン
成績評価の基準と方法							
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:10	0% DP2:10%	DP3:20% DP4:2	20% DP5	5:30% DP	6:10% 〔合計	†100%]
教 科 書	適宜、資料を配付	します。					
参考書	「未来の授業SDC	isダイバーシティB	OOK」(ISBN:978-4	88335533	4)/佐藤真ク	〈(監修)/宣伝会	議
関連科目	SDGsと教育・保育	育 日本国憲法 生	Ξ命倫理 インクル−	ーシブ教育	•保育Ⅰ/Ⅱ	子ども家庭福祉	址
質問受付の 方 法	適宜、授業内およ	び担当教員の研究	究室等で対応します				
履修上の注意	普段から授業内?い。フィールドワー	字に関連するテレt -ク等を行う場合、	は、A4ファイルに学 ご、新聞、インターネ 平日授業内ではない なりますが、授業内で なりますが、授業内で	ット等の情 いことがあ	報になるべる るため、スケ	〈多く接するよう	心がけてくださ

受業計画	1	オリエンテーション ダイバーシティの理念、意義、歴史的背景〔担当:室井〕 海外にルーツを持つ乳幼児・保護者と多文化共生①(現状と日常生活の実際) 〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉テキスト第1章を読み、ダイバーシティの概念をまとめる。指定された動画を視聴しておく。90分
時間外学習		海外にルーツを持つ乳幼児・保護者と多文化共生②(子育て事情の実際と保育現場)[担当:室井]
	2	〈予習〉海外にルーツを持つ子育て家庭が日常生活・子育てで戸惑う事、分からない事を考える。45分〈復習〉海外にルーツを持つ子育て家庭が保育現場で戸惑う事、分からない事を考える。45分
		保育現場での多文化共生①(保育内容の活動を考えよう)[担当:室井]
	3	〈予習〉多文化共生に対して興味・関心を持てるような活動内容を考えておく。45分 〈復習〉グループメンバーで多文化共生にまつわる保育活動の準備をする。45分
		保育現場での多文化共生②(保育活動を実践して共有しよう)〔担当:室井〕
	4	〈予習〉授業内メンバーと保育活動を共有できるように実践の展開を考える。60分 〈復習〉多文化共生にまつわる保育活動を全体で共有し、振り返りながら理解したことをまとめる。30分
		Z世代研究~チル&ミーの謎~〔担当:橋本〕
	5	〈予習〉指定された資料を読む。45分 〈復習〉ダイバーシティーとの関連を考える。45分
		家族、結婚、離婚~所得階層によって異なるライフスタイル~〔担当:橋本〕
	6	〈予習〉指定された資料を読む。45分 〈復習〉ダイバーシティーとの関連を考える。45分
		ジェンダー、エスニシティ―の問題~アイデンティティ―との出会い~〔担当:橋本〕
	7	〈予習〉指定された資料を読む。45分 〈復習〉ダイバーシティーとの関連を考える。45分
		逸脱と正常の間~誰が幸福か~〔担当:橋本〕
	8	〈予習〉指定された資料を読む。45分 〈復習〉ダイバーシティーとの関連を考える。45分
		障害のある学生の現状と社会的障壁①〔担当:宇田川〕
	9	〈予習〉障害のある学生に対する大学の対応(入試及び講義等)について文献調査を行う。45分 〈復習〉調査した情報をもとにどのような対応をしているのか、大学教育における現状を学び 振り返る。45分
		障害のある学生の現状と社会的障壁②〔担当:宇田川〕
	10	〈予習〉授業で取り上げたいくつかの大学の実践例について調べてくる。45分 〈復習〉障害者権利条約や、学生の学びを支える合理的配慮の内容について整理する。45分
		企業や社会におけるD&Iの取組①[担当:宇田川]
	11	〈予習〉企業等における障害者がどのような働き方をしているかについて、情報収集する。45分 〈復習〉障害者の雇用に関する企業等の取り組みについて整理する。障害者雇用に関する法律を 整理する。45分
		企業や社会におけるD&Iの取組②報告会〔担当:宇田川〕
	12	〈予習〉企業における具体的な働き方について調べ、報告会に向けた準備を行う。45分 〈復習〉共生社会を目指した我々の果たすべき役割について整理する。30分
期試験	◆定	こ期試験[レポート]

# 教職に関する科目

授業科目名		教育方法・技術記	侖	教員名	髙	後 仁/橋本	淳一	
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	講義	
卒業・免許・資格 と の 関 係		相談等に関する科	徳、総合的な学習の 目/教育の方法及で			ナンバリング	1D501	
授業内容を示す キーワード	遊びによる学び、	<b>遊びによる学び、環境による保育、子どもの主体性</b>						
授業の概要	めの基礎知識を	教育の方法及び技術に関する基本的な理論を学ぶ。また、幼児教育の方法を多面的に論ずることができるための基礎知識を養う。子どもが主体的かつ協働的に参加する学びとしての学校教育のあり方、特に幼児期の 教育のあり方について学ぶ。						
			「、環境や遊びなど( ずることができるた)			るものであるとい	うことを理解す	
授業のねらいと 到 達 目 標		とその特徴を説明っ	することができる。纟	加児期の特	徴に応じたも	<b>教育方法につい</b>	て説明できる。	
授業の方法等	テキストに沿って 自身で考えた計画	オムニバス方式で各教員が授業回を担当します。 テキストに沿って、視聴覚教材により実践例などから理解を深めます。 自身で考えた計画のプレゼンテーションを求めるなどアクティブ・ラーニングを取り入れて行います。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業を行う。一部、オンデマンド型(遠隔)授業を行います。I						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記録 ■授業への取りが ■提出物 20% ■その他[ 小テス	祖み・態度 10%						
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:30% D	P2:10% DP3:	30% DP4:10%	DP5:10%	6 DP6:109	6 [合計100%]	〕※10%単位	
教 科 書	「保育方法の探究	₹」(ISBN:978-490	9655271〕浅見均·	田中正浩	大学図書出	出版		
参考書	「幼稚園教育要領 「保育所保育指針	「幼児教育の方法」小田豊・青井倫子 北大路書房 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 「保育所保育指針解説」厚生労働省 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館						
関連科目	保育·教職論、保	育•教職実践演習	(幼稚園)					
質問受付の 方 法	適宜、担当教員の	D研究室またはEdu	uNaviで受け付けま	す。				
履修上の注意	EduNaviの操作に	-習熟するよう努め	てください。					

100 AND AL		**************************************
授 業 計 画		教育の方法、技術を学ぶ意義[担当:橋本] 
٤	1	〈予習〉自らの体験を振りかえり、教育の方法、技術を考える 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
時間外学習		児童中心主義保育の流れ[担当:高後]
	2	〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
		保育方法の基本を考える[担当:高後]
	3	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
		乳幼児理解と保育方法[担当:高後]
	4	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
		【オンデマンド型(遠隔)】様々な主義や保育形態をみる①(様々な主義に基づく保育)〔担当:高後〕
	5	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉〉ワークシートを作成 90分
		【オンデマンド型(遠隔)】様々な主義や保育形態をみる②(保育形態をどう考えるか)〔担当:高後〕
	6	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
		【オンデマンド型(遠隔)】指導計画・評価の理解、幼稚園教育要領について〔担当:橋本〕
	7	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
		【オンデマンド型(遠隔)】指導・援助の実際を捉える〔担当:高後〕
	8	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
	9	カリキュラムや指導計画から保育方法を考える①(カリキュラムとは何か、カリキュラムと保育方法) [担当:高後] 〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
		カリキュラムや指導計画から保育方法を考える②(指導計画と保育方法)〔担当:高後〕
	10	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
		カリキュラムや指導計画から保育方法を考える③〔実習指導計画と保育方法〕担当:高後〕
	11	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
		カリキュラムや指導計画から保育方法を考える④(実習日誌から考える保育方法)〔担当:高後〕
	12	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
		【オンデマンド型(遠隔)】行事の展開を考える〔担当:高後〕
	13	〈予習〉テキストの該当箇所を読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
		幼児教育におけるICTの活用①[担当:橋本]
	14	〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
		幼児教育におけるICTの活用②[担当:橋本]
	15	〈予習〉指定のプリントを読み理解する 90分 〈復習〉ワークシートを作成 90分
定期試験		期試験[ 筆記 ] 60分 もり返り・フィードバック[ 定期試験の解説を行う ] 30分

授業科目名	保育·教	対職実践演習(幼	稚園) *	教員名	i	橋本 淳一 酉井 誠/高後		
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習	
卒業・免許・資格 と の 関 係		修[ 保育実践演習 重免許状必修[ 教]				ナンパリング	2D502	
授業内容を示す キーワード	保育者としての資	質・能力 幼児理	解 学級経営 グル	ープワーク	<b>ク</b> ロールプΙ	ンイ ICT 協働 <sup>†</sup>	生 主体性	
授業の概要	育内容等の指導 ルドワーク(保育)	幼稚園教諭・保育士として求められる使命感や責任感、社会性や対人関係能力、幼児理解や学級経営、保育内容等の指導力などに関する事項について、特に現場経験のある教員からその職務経験を生かしたフィールドワーク(保育実践)の指導や、グループワーク(壁面製作)、ロールプレイなどの実践的な学びを取り入れながら授業を行います。						
		容等の指導力な	必要な資質能力(使 ど)の全体について					
授業のねらいと 到 達 目 標	いと 標 【到達目標】 学生が、教員・保育者となる上で、その保育者としての能力・資質に関し自己にとって何が課題を自覚し、不足している知識や技能等を補い、その定着を各自で図る。						題であるのか	
授業の方法等	講義、演習、ディスカッション、壁面製作やロールプレイなどをグループワークを通して多様な形式で進めます。 また、ICTを活用した授業として幼稚園・保育所等での保育実践を想定したロールプレイでは、その実践の様子をスマートフォン等で動画撮影し、その様子をプロジェクターに提示して改善点や工夫点等を議論するとともに、レポート提出はEduNaviを利用するなどICTを活用した双方向型授業を意図したものとします。						その実践の様を議論するととも	
成績評価の基準と方法	■授業への取り網	■定期試験[レポート]30% ■授業への取り組み・態度 20% ■その他[課題・発表]50%						
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:30	0% DP2:10% I	DP3:30% DP4:	10% DP	5:10% DP	6:10% 〔合計	100%]	
教 科 書	特に使用しません	<b>ル。必要な場合は、</b>	適宜資料を配付しる	ます。				
参考書	『フォトランゲージ 神永直美著 萌文		ちと実習日誌・指導	計画』[IS	BN:978-489	3472397]		
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅱ・	Ⅲ 保育内容の指	導法(健康·人間関	係∙環境∙ॏ	言葉•表現)(	の各科目		
質問受付の 方 法	担当教員に直接、	またはEduNaviを	利用して質問してく	ださい。				
履修上の注意	マートフォン等のなお、自主学習支	利用を原則とします 援として、保育実	動画撮影とプロジェーナ。 践に関するグループ 動宜アドバイスを受け	プでの事前	直主学習で			

8 葉 計 画		これまでの教育実習・保育実習における学修の振り返りについて (履修カルテⅠ・Ⅱの作成)と自らの幼稚園教諭・保育士としての資質の確認と自己課題の設定
ح	1	〈予習〉実習での学修を振り返る 90分 〈復習〉自己課題を認識し今後の学修を計画する 90分
<b>時間外学習</b>		教職や保育職の意義や役割、職務内容、子どもに対する責任、あるいは、社会性や対人関係能力、保育
可问介于目	2	内容等の指導法・指導力について等についてのゲループ分けと壁面製作やロールプレイへ向けたゲループ討議 〈予習〉教職や保育職の意義・役割・職務等を考える 90分
		〈復習〉討議・壁面製作へ向けた準備 90分
		保育内容等の指導法・指導力についてのグループワーク(壁面製作)での探求① 製作内容を計画する・制作をする
	3	〈予習〉保育内容等の指導法・指導力を考える90分
		〈復習〉討議・模擬授業を振り返る 90分 保育内容等の指導法・指導力についてのグループワーク(壁面製作)での探求②
	4	製作をする
	'	〈予習〉壁面製作を指導・準備を考える 90分  〈復習〉グループワークでの自らのエフォートを評価する 90分
		保育内容等の指導法・指導力についてのグループワーク(壁面製作)での探求③ 製作物を完成させる
	5	表)
		〈復習〉グループワークでの自らのエフォートを評価する90分
	6	保育内容等の指導法・指導力についてのグループワーク(壁面製作)での探求④ 成果発表と相互評価
	ľ	〈予習〉壁面製作を指導・準備を考える 90分 〈復習〉グループワークでの自らのエフォートを評価する 90分
		幼児理解や学級経営についてのグループ討議とロールプレイ指導案の作成
	7	 〈予習〉幼児理解や学級経営を考える 90分
		〈復習〉討議・模擬授業を振り返る 90分
		ロールプレイ指導案のグループ内相互評価とグループロールプレイの決定、実践準備
	8	〈予習〉幼児理解や学級経営をふまえたロール務礼指導案を作成する 90分 〈復習〉討議を振り返り、ロールプレイの準備を進める 90分
		幼児理解や学級経営についてのロールプレイ(保育実践)による探究① ~運動・ゲーム遊び
	9	〈予習〉ロールプレイを準備する 90分 〈復習〉ロールプレイでの自他のエフォートを評価する 90分
		幼児理解や学級経営についてのロールプレイ(保育実践)による探究②~造形遊び
	10	
		〈復習〉ロールプレイでの自他のエフォートを評価する 90分
		幼児理解や学級経営についてのロールプレイ(保育実践)による探究③ ~ことば遊び
	11	〈予習〉ロールプレイを準備する 90分 〈復習〉ロールプレイでの自他のエフォートを評価する 90分
		幼児理解や学級経営についてのロールプレイ(保育実践)による探究④ ~環境・自然・科学遊び
	12	〈予習〉ロールプレイを準備する 90分
		〈復習〉ロールプレイでの自他のエフォートを評価する 90分
	1,0	幼児理解や学級経営についてのロールプレイ(保育実践)による探究⑤ ~人間関係遊び
	13	〈予習〉ロールプレイを準備する 90分 〈復習〉ロールプレイでの自他のエフォートを評価する 90分
		幼児理解や学級経営についてのロールプレイ(保育実践)による探究⑥~音楽遊び
	14	〈予習〉ロールプレイを準備する 90分 〈復習〉ロールプレイでの自他のエフォートを評価する 90分
		ロールプレイを通した実践的指導力修得の相互評価と幼稚園教諭・保育士としての資質の確認とまとめ
	15	(1)日/日分の場所を国教制 体育工としての負責の能能 50万
	<u> </u>	〈復習〉自らの課題を再設定する 90分
期試験		型期試験[筆記〕60分 り返り・フィードバック[ 定期試験の解説を行う〕30分

授業科目名	ICT教育の理論と方法 <b>教員名</b> 巣立 佳宏 / 新井 誠						井誠
配当年次	1.2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係				•		ナンバリング	3D503
授業内容を示す キーワード	ICT教育 保育 🗸	ベビーテック AI	プログラミング 情	報セキュリテ	ティ 情報活	用能力	
授業の概要	ICTを活用した保育での実践について学びます。近年、保育・幼児教育などの分野において様々な場面でICT の活用が求められています。見守り用のカメラでの子どもの安全の確保や防犯カメラの顔認証を用いた危機 管理対策などが一般的になりつつあり、また、幼児期からのプログラミングやAIを活用した教育やベビーテッ クを用いた子どもとAIの接点も時代の潮流と共に普及してます。こうした近代化による、保育におけるICT教育 を学びます。						
			です。保育士の専「 としての資質向上を				
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】 (1)ICT教育について説明できるようになる。 (2)ICT教育が保育の現場にてどのように活用できるか学ぶ。 (3)保育現場においての意義を自分なりにとらえながら、現代社会における保育の諸課題について問題意識をもって、これから求められる保育の姿を考えていくことができる。						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を2名の担当教員がオムニバス形式で授業を行います。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーション】を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕40% ■提出物など 30% ■授業への取り組み・態度 30%						
D Pに掲げる 学 カ の 割 合	DP1:20% [	DP2:10% DP3	:30% DP4:10%	DP5:20%	6 DP6:10	% [合計100%]	※10%単位
教 科 書			クがつながる広がる - 中央法規 ※				<b>、</b> ます。
多考書	適宜、資料を配付	適宜、資料を配付します。					
関連科目	教育方法・技術論 コンピュータ演習						
質問受付の 方 法	適宜、担当教員の	)研究室、授業内(	カリアクションペーィ	°−, EduNa	aviにて受け	付けます。	
履修上の注意	はインデックスや 習慣を身に付けて	付箋を付け、学ん	どに整理し、学んだ だ跡を残しましょう。 得ず授業を欠席する どさい。	その他、資	料をまとめ	るなど主体的に	知識を得る学習

授業計画	١.	はじめに~ICTに関するイントロダクション~〔担当:巣立/新井〕
٤	1	〈予習〉初回のため、なし 〈復習〉ICT教育と保育に関する意義についてまとめる。90分
時間外学習		情報活用能力を身につけよう~ICTの基本について~〔担当:新井〕
	2	〈予習〉電子絵本について各自で調べ、まとめる。45分 〈復習〉ICTとは何か振り返り、まとめる。45分
		ICTにおける保育教材の作成および活用~電子絵本について知ろう~〔担当:新井〕
	3	〈予習〉電子絵本を用いた保育実践事例について、調べ、まとめる。 45分 〈復習〉電子絵本とは何か各自で振り返り、まとめる45分
		ICTにおける保育教材の作成および活用~電子絵本をつくってみよう~ 〔担当:新井〕
	4	〈予習〉電子絵本またはそれに類するものなどは何があるか調べ、まとめる45分 〈復習〉電子絵本の作成機序について理解する45分
		ICTにおける保育教材の作成および活用~電子絵本の発表会~〔担当:新井〕
	5	〈予習ICTを活用した保育教材について調べ、まとめる45分 〈復習〉電子絵本の作成から活用に関して理解する45分
		プログラミンの基礎、情報の活用~プログラミングついて知ろう~〔担当:新井〕
	6	〈予習〉プログラミングとは何か調べ、まとめる45分 〈復習〉電子絵本の他者の作品を見て、評価する45分
		ICTを使った遠隔地とのコミュニケーションについて学ぼう~ZOOMを活用して~〔担当:新井〕
	7	〈予習〉ZOOMの使い方について理解する45分 〈復習〉情報の活用方法について理解する45分
		ICT教育における情報セキュリティに関して〔担当:新井〕
	8	〈予習〉情報セキュリティについて調べ、まとめておく45分 〈復習〉情報セキュリティについて理解する45分
		ICTを用いた保育教材の活用について学ぶ~ベビーテックを通して~〔担当:巣立〕
	9	〈予習〉保育教材について調べ、まとめておく45分 〈復習〉ZOOMの活用例などについて理解する45分
		保育園・幼稚園での記録媒体の作成~ドキュメンテーション、タイムラプスの撮影・編集~〔担当:巣立〕
	10	〈予習〉ドキュメンテーションについて調べておく45分 〈復習〉ZOOMなどを用いた保育の実践例についてまとめる45分
		保育園・幼稚園での記録媒体の作成~ドキュメンテーションの発表準備~〔担当:巣立〕
	11	〈予習〉ドキュメンテーションを制作し、発表の準備を整える 〈復習〉ドキュメンテーションの編集について理解する
		保育園・幼稚園での記録媒体の作成~ドキュメンテーションの発表~〔担当:巣立〕
	12	〈予習〉ドキュメンテーションをどのように魅せるかグループワークを行う45分 〈復習〉グループ内でドキュメンテーションについて振り返る45分
定期試験		I E期試験〔筆記〕60分 &り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分

保育者の資質を高める科目

授業科目名		えつ子						
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習	
卒業・免許・資格 と の 関 係	◎卒業必修					ナンバリング	1D601	
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	体験学習、行事、	保育体験、ナチュ	ラル保育検定、保育	「に関する」	専門性、個人	(面談		
授業の概要	法や挨拶、マナー 業観等について、	体験学習、行事に向けた事前の準備・事後の振り返りを中心に、学生としての基本的な生活態度、学びの方 法や挨拶、マナーなど、基本的なコミュニケーション能力を育み、社会人・職業人としての使命感や望ましい職 業観等について、実践的な活動を通して学ぶ。 保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的な 授業を行う。						
			する事前学習・準備 命感や自立心を涵素		ミ学習等を通	して保育者とし <sup>・</sup>	ての学びの意欲	
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】 (1)幼稚園、保育所、社会福祉施設の実地を体験し理解している。 (2)保育の方法・技術の実際を観察や記録を通して理解している。 (3)園行事の企画・運営の基礎を理解し、それに参加したり補助的な役割を担うことができる。 (4)基本的生活態度・学習態度、望ましい職業観・使命感等を身につけている。							
授業の方法等	クラス毎の活動、プレゼミナール毎の活動が授業内で展開されます。 ゼミナールでは、少人数の学生が集まり、自ら研究し、発表、討論を行う形式を取り、教員は主体的な学生の 学習に対して、指導及び支援を行います。 アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーショ ン/フィールドワーク】を行います。							
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%							
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:3	0% DP2:10%	DP3:30% DP4:	10% DP5	5:10% DP	6:10% 〔合計	<del>[</del> 100%]	
教科書		ピテキストWeb版。( 科は適宜配布しる	(※やまたんテキスト ます。	·Web版)				
参考書	適宜、資料を配付	けします。						
関連 科目	子ども学演習Ⅱ	子ども学ゼミナー	ルI・Ⅱ キャリアア	<b>'</b> ップセミナ	— І • П • Ш	• IV		
質問受付の方 法	適宜、クラス担任	/ゼミナール担当者	牧員のオフィスアワ-	ーまたは授	業内で直接	対応します。		
履修上の注意	クラス活動等のス	ケジュールは自ら	∓次当初における研 細目に確認するよっ ますので、確認しなっ	うにしてくだ	さい。また、	指導者等の都合	ことり活動内	

授業計画		ガイダンス 月曜日の使い方等説明 UPI調査 入学前学習の回収 委員決め 等
٤	1	〈予習〉シラバス・学生便覧(学年歴・学生生活の案内等)を熟読 45分 〈復習〉学習計画をまとめる 45分
時間外学習		サークル&学生会行事紹介 月曜日の使い方についてのガイダンス
	2	〈予習〉月曜日の使い方についてのイメージづくり 45分 〈復習〉月曜日の使い方について整理し計画する 45分
		クラスの時間①
	3	〈予習〉クラスについてイメージづくり 45分 〈復習〉振り返り 45分
		クラスの時間②
	4	〈予習〉クラスの活動について考える 45分 〈復習〉振り返り 45分
		保育体験学習事前学習
	5	〈予習〉保育体験について考える 45分 〈復習〉事前学習を踏まえ、保育体験準備の自己点検・評価 45分
		保育体験I(ふれあい体験)
	6	〈予習〉園見学のイメージづくり 45分 〈復習〉振り返りシートをまとめる 45分
		保育体験Ⅱ(園見学)①
	7	〈予習〉ふれあい体験のイメージづくり 45分 〈復習〉振り返りシートをまとめる 45分
		クラスの時間③
	8	〈予習〉保育体験 I・Ⅱを振り返る 45分 〈復習〉保育体験Ⅲに向けた課題を整理する 45分
		保育体験Ⅱ(園見学)②
	9	〈予習〉園記録のイメージづくり 45分 〈復習〉見学記録をまとめる 45分
		クラスの時間④
	10	〈予習〉保育体験全体を振り返るとともにクラスの活動について考える 45分 〈復習〉クラスの活動を振り返るとともに後期のグループ別学習の内容について知る 45分
		ナチュラル保育検定
	11	〈予習〉テキスト等を活用した事前学習 45分 〈復習〉検定の振り返り 45分
		後期グループ別学習(プレゼミナール)に向けて
	12	〈予習〉これまでの学びを振り返り、自身の課題を整理する 45分 〈復習〉後期グループ別学習に向けて活動内容を整理する 45分
		TDL事前学習/視覚障害者スマートフォンサポーター講習会
	13	〈予習〉ホスピタリティについて考える/視覚障害者の特性について調べる 45分 〈復習〉ホスピタリティについて整理する/視覚障害者の特性と支援の在り方について整理する 45分
		視覚障害者スマートフォンサポーター講習会/TDL事前学習
	14	〈予習〉視覚障害者の特性について調べる/ホスピタリティについて考える 45分 〈復習〉視覚障害者の特性と支援の在り方について整理する/ホスピタリティについて整理する 45分
		建学の精神アンケート、学習ポートフォリオ、前期子ども学演習の振り返り
	15	〈予習〉体験学習などの目的・内容を整理する 45分 〈復習〉体験学習の進め方を確認するとともに、後期に向けた取組を整理する 45分
定期試験	◆定	期試験は行いません。

授業科目名	子ども学演習Ⅱ*				橋本	淳一 / 伊藤	えつ子
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係	◎卒業必修					ナンバリング	1D602
授業内容を示す キーワード	データサイエンス	、体験学習、行事	、保育体験、ナチュ <sup>-</sup>	ラル保育検	定、保育に	関する専門性、何	固人面談
授業の概要	・保育者としての資質を身に付ける体験的な学びを基本としながら、より専門的なデータの活用に繋がる「傾向把握」や「予測」、「比較分析」などのデータサイエンス教育の手法の基礎・基本について理解できるよう進めていくこととする。 ・こうした学びを通し、よりよい保育者を目指す学生としての基本的な生活態度、基本的なコミュニケーション能力を育み、社会人・職業人としての使命感や、保育者として望ましい資質や指導力などの職業観等について身に付けていくこととする。特に、グループ別学習においては、幼児教育に携わっている企業と連携し、保育現場での実践活動の状況等をデータ化しながら、将来、幼児教育に携わる者としての実践力につながる学びを進めることとする。 ・併せて、里山保全体験活動においては、NPO法人里山環境プロジェクト・はとやまの方の指導のもと、鳩山町(石坂の森)の里山保全について学ぶこととする。						
授業のねらいと 到 達 目 標	【ねらい】  体験学習、保育体験、行事等に関する事前学習・準備、グループ別学習等を通して保育者としての学びの意欲を高め、社会人・職業人としての使命感や自立心を涵養する。特にグループ別学習においては、各自の保育者としての資質向上を目指した体験的な活動(データ分析などの手法も含む)に取り組む。  【到達目標】  (1) 幼稚園、保育所、社会福祉施設の実地を体験し理解している。 (2) 保育の方法・技術の実際を観察や記録を通して理解している。 (3) 園行事の企画・運営の基礎を理解し、それに参加したり補助的な役割を担うことができる。 (4) 基本的生活態度・学習態度、望ましい職業観・使命感等を身につけている。						
授業の方法等	90分13回(合計52時間)の授業を行います。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業及び自主学習支援を行います。 また、アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/反転授業/ディスカッション・ディベート/グループワーク/ プレゼンテーション/実習・フィールドワーク】を授業内で行います。						
成 績 評 価 の基 準 と 方 法		組み・態度 50%					
DPに掲げる学力の割合	DP1:3	0% DP2:10%	DP3:30% DP4:	10% DP5	5:10% DP	6:10% 〔合計	†100%]
教科書		ミテキストWeb版。( 【料は適宜配布しる	(※やまたんテキスト ます。	·Web版)			
参考書	適宜、資料を配付	けします。					
関連科目	子ども学演習Ⅰ	子ども学ゼミナー	ルI・Ⅱ キャリアフ	<b>'</b> ップセミナ	— I • II • II	• IA	
質問受付の 方 法	適宜、クラス担任	/プレゼミナール担	3当教員の研究室ま	たは授業に	内で直接対応	<b>なします</b> 。	
履修上の注意	クラス活動等のス	スケジュールは自ら	の参加は必須です。 細目に確認するよますので、確認しなった。	うにしてくだ			

Li	後期オリエンテーション、建学の精神表彰、TDL振り返り、防災避難訓練、データサイエンス教育について
1	/又如) & 如 A 类如 引 束 t 十
	〈予習〉後期の学習計画を立てる、防災避難訓練について考える 45分 〈復習〉後期の学習計画を確認する、防災避難訓練を振り返る 45分
	グループ別学習① 保育におけるデータの種類
2	〈予習〉グループ別学習について確認する 45分 〈復習〉今後の活動について整理する 45分
	里山保全体験学習・保育におけるデータの種類の実際
3	〈予習〉里山保全体験学習(実地体験)の目的・内容を理解する 45分 保育におけるデータの種類の 確認 20分 〈復習〉里山体験学習の振り返り 10分。保育におけるデータの活用状況 15分
	グループ別学習② 子どもの発達データについて
4	〈予習〉今後の活動の準備を行う45分 〈復習〉今後の活動について整理する45分
	実習報告会及び懇談会 保育所等における日常の記録の内容
5	〈予習〉教育実習 I に向け自分の課題について整理する 45分 〈復習〉2年生からの指導助言を受け教育実習 I に向けた取組を整理する 45分
	グループ別学習③ 発達を支える言葉のかけ方、かかわり方(活動データ)
6	〈予習〉これまでの活動を振り返り、発達を支えるよりよい言葉のかけ方やかかわり方について 考える 45分 〈復習〉今後の活動に向けて準備する 45分
	保育体験IV(施設見学) 現地において発達を支えるよりよい言葉のかけ方やかかわり方を学ぶ
7	〈予習〉施設見学の準備、よりよい言葉のかけ方や働きかけ方について整理する 45分 〈復習〉記録等をまとめる 45分
	山緑祭、Yamamura Juhla 準備 活動データ取得に向けた準備①
8	〈予習〉クラスとグループでの企画を考える。当日参加する園児とのかかわりを整理する 45分 〈復習〉クラスとグループでの討議を振り返る 45分
	山緑祭、Yamamura Juhla 準備 活動データ取得に向けた準備②
9	〈予習〉クラスとグループでの準備を計画する。当日参加する園児とのかかわりを整理する 45分 〈復習〉クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	山緑祭、Yamamura Juhla 準備 活動データ取得に向けた準備③
10	〈予習〉クラスとグループでの準備を確認する。当日参加する園児とのかかわりを整理する 45分 〈復習〉クラスとグループでの活動を振り返る 45分
	グループ別学習④ 保護者とのやりとりのデータ化
11	〈予習〉これまでの活動を振り返る。連絡帳や面談記録から保護者とのやり取りのデータ化の可能性を探る 45分 〈復習〉保護者とのやり取りのデータ化の可能性を整理する。発表会に向けて準備する 45分
	グループ別学習発表会 データサイエンス教育の整理
12	〈予習〉グループの活動について振り返る 45分 〈復習〉2年次のゼミナール活動(子どもとのかかわり合いの定量分析を含む)について学び意識を高める 45分
	建学の精神アンケート、学習ポートフォリオ、後期子ども学演習の振り返り
13	〈予習〉1年次の学習を振り返り、2年次に向けての抱負を考える45分 〈復習〉振り返りを確認する45分
$\vdash$	
. !	
	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

令和7年度−57

授業科目名	野口 一夫 / 相沢 和見 子ども学ゼミナール I * <b>教員名</b> 高後 仁 / 酒井 誠 福泉 博子 / 室井 佑身						誠	
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	講義	
卒業・免許・資格 と の 関 係	◎卒業必修					ナンバリング	2D603	
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	ゼミナール 専門	的知識・スキル	トチュラル保育検定	3				
授業の概要	建学の精神(「質実」「英知」「愛敬」)を旨とし、子ども学科における「高い保育の専門性と豊かな人間性を兼 ね備え、地域社会に貢献できる骨太な人材の育成」という理念の下、①保育者及び社会人として必要な教 養、専門的知識・技能の習得、②現代社会における諸問題を終合的な知識で捉え、考え、表す能力の醸成、 ③望ましい職業観を持ち、人や自然への深い理解と愛情を示す態度を培うことを目指します。 保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的な 授業を行う。							
授業のねらいと 到 達 目 標	く現状を捉える力表現する方法を含る姿勢を身につける姿勢を身につける。 【到達目標】 (1) クラスやゼミラ(2) 職業に対する(3) 多様な体験や	クラスやゼミナールでの活動を通して、保育の専門的知識や技能、多様な教養を学習し、現代社会を取り巻く現状を捉える力を養います。さらに、自らが職業人として必要な課題を見出し、分析や考察したことを他者へ表現する方法を学びます。その上で、主体性を持って多様な人々との関わる態度を養い、また他者を受容する姿勢を身につけます。						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)授業を行います。 ゼミナールでは、少人数の学生が集まり、自ら研究し、発表、討論を行う形式を取り、教員は主体的な学生の 学習に対して、指導及び支援を行います。 アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーショ ン/フィールドワーク】を行います。							
成績評価の基準と方法		祖み・態度 50%						
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:3	0% DP2:10%	DP3:30% DP4:	10% DP5	:10% DP	6:10% [合計	-100%]	
教 科 書	教科書に代わるう	資料を、適宜配付し						
参考書	適宜、資料を配付	けします。						
関連科目	子ども学演習Ⅰ・	Ⅱ 子ども学ゼミナ	-ールⅡ キャリア	アップセミナ・	— І • П • Ш	• IV		
質問受付の 方 法	適宜、クラス担任	/ゼミナール担当教	<b>数員の研究室また</b> に	は授業内で頂	直接対応しる	ます。		
履修上の注意	自分で確認する。 なお、ゼミナール 目に説明会を行し	kうにしてください。 決定までのスケジ ハ、希望ゼミナール	ミナールごとに異な ュールは、3月の履 を期日までに応募 )際、第一希望のセ	修登録にて します。選者	、開講ゼミ	ナール一覧を提: て、授業2回目に	示し、授業1回	

授業計画	١.	ガイダンス ゼミナール I 説明会 クラスの時間(委員等の決定等)
٤	1	〈予習〉シラバス·学生便覧(学年歴·学生生活の案内等)を熟読 45分 〈復習〉学習計画をまとめる 45分
時間外学習		ゼミ発表・調整(体験)
	2	〈予習〉ゼミの活動に対して準備する 45分 〈復習〉今後のゼミ活動の内容を整理する 45分
		<b>ゼミ</b> ①
	3	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
		せき②
	4	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
		<b>ゼミ③</b>
	5	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
		<b>ゼ</b> ミ④
	6	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	_	<b>ゼミ</b> ⑤
	7	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
		<b>ゼミ⑥</b>
	8	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
		ゼミ⑦
	9	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	1.0	ゼミ⑧(前期ゼミ発表会)
	10	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	l	クラスの時間
	11	〈予習〉自身の課題を整理する 45分 〈復習〉振り返り 45分
		建学の精神アンケート、学習ポートフォリオ、前期活動の振り返り
	12	〈予習〉将来に向けた学習などの目的・内容を整理する 45分 〈復習〉今後の学習について理解を深めるとともに、後期に向けた取組を整理する 45分
	◆症	   期試験は行いません。
~ N P 4X		erzykonowskie z na oko tento U

授業科目名	山村 和子ども学ゼミナールⅡ * <b>教員名</b> 伊藤 えつ子 / 3 単立 佳宏 / 3							
配当年次	2	開講時期	後期	単位数	1	授業形態	講義	
卒業・免許・資格 と の 関 係	◎卒業必修			•		ナンバリング	2D604	
授業内容を示す キ ー ワ ード	ゼミナール 専門	的知識・技術 行	事 ナチュラル保育	検定				
授業の概要	建学の精神(「質実」「英知」「愛敬」)を旨とし、子ども学科における「高い保育の専門性と豊かな人間性を兼 ね備え、地域社会に貢献できる骨太な人材の育成」という理念の下、①保育者及び社会人として必要な教 養、専門的知識・技能の習得、②現代社会における諸問題を総合的な知識で捉え、考え、表す能力の醸成、 ③望ましい職業観を持ち、人や自然への深い理解と愛情を示す態度を培うことを目指します。 保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的な 授業を行う。							
	く現状を捉える力	を養います。さらに ざびます。その上で	して、保育の専門的に、自らが職業人と で、主体性を持って	して必要な記	果題を見出し	、分析や考察し	たことを他者へ	
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】 (1)クラスやゼミナールでの活動へ主体的に取り組み、得たい知識や技能を自発的に獲得できる。 (2)職業に対する求められる態度、マナー、コミュニケーションを理解し、自分事として行動に示せる。 (3)行事他、多様な体験や様々な他者との関わりを主体的に受け止め、肯定的、建設的に物事を捉え、体験や関わりを価値あるものにしようとできる。							
授業の方法等	ゼミナールでは、少人数の学生が集まり、自ら研究し、発表、討論を行う形式を取り、教員は主体的な学生の学習に対して、指導及び支援を行います。 アクティブラーニングの手法を取り入れ、【PBL/ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーション/フィールドワーク】を行います。							
成績評価の基準と方法		■授業への取り組み・態度 50% ■提出物 50%						
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:30	0% DP2:10% I	DP3:30% DP4:	10% DP5	5:10% DP	6:10% 〔合計	†100%]	
教 科 書	教科書に代わる資	資料を、適宜配付し						
参 考 書	適宜、資料を配付	けします。						
関連科目	子ども学演習 I・	Ⅱ 子ども学ゼミナ	ール [ キャリア]	アップセミナ	— I · II · II	• IV		
質問受付の 方 法	適宜、クラス担任	/ゼミナール担当教	<b>対員の研究室また</b> に	は授業内で同	直接対応しる	きす。		
履修上の注意	自分で確認する。 なお、ゼミナール 2回目に説明会を	tうにしてください。 決定までのスケジ 行った後、希望ゼ	ミナールごとに異な ュールは、後期オリミナールを期日まで です。その際、第一の	リエンテーシ ごに応募しま	ョン時に開詞 す。選考期	構ゼミナールー 間を経て、授業	覧を提示し、授業 3回目に結果を	

極 恭 弘 面	l	後期オリエンテーション、建学の精神表彰、ゼミ説明、防災避難訓練
授業計画	1	
٤		〈予習〉後期の学習計画を立てる、防災避難訓練について考える 45分 〈復習〉後期の学習計画を確認する、防災避難訓練を振り返る 45分
時間外学習		ゼミ発表・調整
	2	〈予習〉ゼミの活動に対して準備する 45分 〈復習〉今後のゼミ活動の内容を整理する 45分
		<b>ゼ</b> ミ①
	3	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
		実習報告会及び懇談会
	4	〈予習〉教育実習を振り返るとともに、今後の保育の実践について考える 45分 〈復習〉当日の知見をまとめる 45分
		<b>ゼ</b> ミ②
	5	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
		<b>ゼ</b> ミ③
	6	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
		<b>ゼ</b> ミ④
	7	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
		Yamamura Juhla Juhla / 山緑祭準備 ①
	8	〈予習〉グループでの企画を考える 45分 〈復習〉グループでの討議を振り返り、準備する 45分
		Yamamura Juhla Juhla / 山緑祭準備 ③
	9	〈予習〉グループでの活動を準備する 45分 〈復習〉グループでの討議を振り返る 45分
		<b>ゼミ</b> ⑤
	10	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
		ぜミ⑥
	11	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
		ぜミ⑦
	12	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
		ゼミ⑧(後期ゼミ発表会)
	13	〈予習〉ゼミの活動に対し準備する 45分 〈復習〉振り返り 45分
	14	
	15	
定期,試験	◆定	2期試験は行いません。

授業科目名	乳児小児救命法 教員名 高後 仁 / マスターワー						ワークス
配当年次	2	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係						ナンパリング	2D605
授業内容を示す キーワード	乳児、小児、救命	法、心肺蘇生法、	けが・事故・病気、ヨ	手当			
授業の概要	保育環境においては、睡眠時の呼吸停止や窒息、溺水など、生命にかかわる緊急時への対応が最も重要であり、さらに日常的なけがや急病への適切な対応と手当ての仕方を習得しておくことが必要となります。 本授業は生命の優先順位に基づき、現場の手順に沿って救命・応急処置の講義、実習を行います。						
			†る事故や急病の∃ 育者として、こどもの				
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】 全ての授業に出席することにより、L.S.F.AChildren's (小児用BLSプログラム)の「FIRSTAIDER with CPR Training Certificate」認定カードを申請し、取得することができる。 認定を取得すると、L.S.F.A.本部により2年間にわたり訓練内容が証明される。						
授業の方法等	こどもの事故や急病の現場における行動手順と緊急度の優先順位に沿って内容を進めます。 短時間の講義を行った後、すぐに該当する実技演習をグループワークにて行います。 なお心肺蘇生などの救命処置においては、最新ガイドラインに準拠し、乳児・小児に特化した実習を行います。						
成績評価の基準と方法	■試験[実技]20% ■授業への取り組み・態度20% ■その他[事前・事後レポート・中間試験 各20点×3]60%						
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:30% [	DP2:20% DP3:	30% DP4:10%	DP5:0%	DP6:10%	6 [合計100%]	※10%単位
教 科 書	:	「こどもの事故と応急手当(第6版)」吉田一心・伊東和雄著 マスターワークス ※購入方法については後日指示する。					
参考書	適宜、資料を配付	けします。					
関連科目	子どもの保健 子	子どもの保健 子どもの健康と安全					
質問受付の 方 法	講師控室・講習中	<b>·</b> 随時					
履修上の注意			練習中はマスクを記 理解不足として単作			となる場合があ	ります。

授業計画		事前指導・受講上の留意点、こどもの安全と事故事例、及び法的責任に関する法令について
٤	1	〈予習〉シラバスと事前に配付するプリントを基に内容を確認する。90分 〈復習〉当日配付のプリントをまとめる。90分
時間外学習		保育環境における突然死と予防対策、こどもの事故の現状と応急手当の必要性
	2	〈予習〉教科書P3-9 事故防止と応急手当の役割を確認。90分 〈復習〉保育睡眠中の安全管理方法をリストアップする。教科書P8 連携の必要性を確認する。90分
		事故や急病の現場における観察と接触(安全確保、感染予防)
	3	〈予習〉教科書P12-13現場における安全確保の手順を確認。感染防止の方法を確認する。90分 〈復習〉事故現場に遭遇した際の4つの基本的な手順をまとめる。90分
		生の徴候(反応、呼吸、出血)の調査、反応がないこどもの呼吸管理(気道確保と回復体位)
	4	〈予習〉教科書P15-16 脳への酸素供給の重要性とP20-22意識不明者への気道確保の方法を確認。90分 〈復習〉緊急性の評価(赤、黄、緑)をまとめる。呼吸管理の重要性を再確認。90分
	_	心肺停止への一次救命処置(乳児、小児の心肺蘇生/CPR)
	5	〈予習〉教科書P25-29 乳児、小児への心肺蘇生の手順および胸骨圧迫、人工呼吸の方法を確認。 90分 〈復習〉心肺蘇生の手順とスキルをまとめる。心原性心停止と呼吸原性心停止の違いをまとめる。 90分
		心肺蘇生とAEDの使用
	6	〈予習〉教科書P36-39 AEDのメカニズムと使用方法を確認。90分 〈復習〉乳児、小児への心肺蘇生とAED使用の手順をまとめる。90分
	_	気道内異物の除去(乳児、小児)
	7	〈予習〉教科書P42-44 乳児と小児の窒息時の手順と手当の方法を確認する。90分 〈復習〉気道内異物除去方法と、窒息事故防止についてまとめる。90分
		止血とショック管理(止血法、保温法)
	8	〈予習〉教科書P47-50 止血の方法とショックの徴候・症状を確認する。 90分 〈復習〉直接圧迫による止血方法を再確認する。体位管理と保温の必要性についてまとめる。 90分
		全身のけがの調べ方、各部のけがと応急手当(頭、首、胸、腹のけが、傷と包帯、骨折、熱傷など)
	9	〈予習〉教科書P52-55 けがの調査17項目とP58-69 けがの応急手当を確認。90分 〈復習〉17項目のけがの確認方法をまとめる。生命に関わるけがの注意点をまとめる。90分
		中間指導 9回目までの内容を確認するため筆記試験とフィードバック
	10	〈予習〉9回目までの内容をテキストを参照し確認する。90分 〈復習〉手順ワークシートをまとめる。90分
		こどもの急病の調査(脈拍、呼吸、体温、顔色など)
	11	〈予習〉教科書P70 4つの調査項目を確認する。90分 〈復習〉脈拍、呼吸、体温、顔色の観察方法をまとめる。90分
	10	こどもの病気の手当(熱中症、発熱、けいれん、腹痛、脱水、アナフィラキシーなど)
	12	〈予習〉教科書P72-83 こどもに起こる急病と手当を確認する。90分 〈復習〉保育園でよく起こりうる熱中症、けいれん、アナフィラキシーへの対応方法をまとめる。90分
		生物によるけが、中毒、こどもの虐待、災害時の注意
	13	〈予習〉教科書P84-94 生物によるけが、中毒、災害時の対応について確認する。 90分 〈復習〉野外活動の際に注意すべき生物のけがについてまとめる。 90分
		心肺蘇生実技評価セッション(乳児、小児)
	14	〈予習〉実技評価表を使用し、乳児・小児への心肺蘇生手順とスキルを確認する。90分 〈復習〉実技評価の結果から、改善の必要な手順とスキルを再確認する。90分
		事後指導 3日間のまとめ、振り返りシートへの記入
	15	〈予習〉10-15回目までの内容をテキストを参照し確認する。90分 〈復習〉ワークシートをまとめる。90分
定期試験		中講義のため定期試験は実施しないが、授業中に行われる「FIRSTAIDER with CPR Training tificate」認定取得のための実技試験や中間試験等を実施します。

授業科目名	アウトドア演習A			教員名		去田 ゆかり	.)
配当年次	1.2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係						ナンバリング	3D606
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	自然・ネイチャー・	ゲーム・五感・グル	ープリーダー・いつ	でもだれで	も・子ども・新	見子	
授業の概要	保育現場でも役立つネイチャーゲームリーダーの資格取得を目指す。 五感を使って自然物を探すビンゴゲームや落ち葉や木の実を使った活動などを行いながら、仲間づくりや人 間関係づくりの方法を身に付けます。自然の美しさや面白さ不思議さなどを発見し、自然や他者への共感を 持つことで命を大切にする心を育みます。実際にネイチャーゲームを体験する中で、現場で使えるアクティビ ティや指導者としての心構えを習得します。						
			る遊びや子どもの ことのできる保育士				
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】 ネイチャーゲームを体験する中で、自然についてのスキルを高め、豊かな感性を育み、子どもたちに実践する ことができる。 園での円滑な仲間づくりや人間関係づくりの方法を身に付け、チームワークづくりを主体的に考えることがで きる。						
授業の方法等	90分授業を12回(合計48時間)行います。 アクティブラーニングの手法を取り入れ、グループワークを中心に、個人、少人数、多数とパリエーションを変えながら楽しくフィールドワークを行います。 仲間同士のディスカッションや実習を授業内で行います。						
成績評価の基準と方法							
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:10% DP2:10% DP3:20% DP4:20% DP5:30% DP6:10% [合計100%]						
教科書	書名「シェアリングネイチャー 自然のよろこびをわかちあおう」(ISBN:978-4906937004) 著者 ジョセフ・コーネル /出版社 (公社)日本シェアリングネイチャー協会 ※購入方法については、授業時に指示する						
参考書	適宜、資料を配付します。						
関連科目	アウトドア演習B						
質問受付の 方 法	適宜、授業内のふりかえりシート、授業の前後の休憩などで受け付けます。						
履修上の注意	学内で演習と講義を行います。フィールドワークでは教室外(構内)の活動になります。 雨天時は、室内で活動をしますが、雨の程度により野外にでることがあります。 動きやすい服装・靴など、活動にふさわしい身だしなみで参加してください。 テキスト代及び資格取得に別途費用がかかる為、授業中に案内します。						

授	
と	
2 〈予習〉自然界における「カモフラージュの事例」について調べておく 45分 〈復習〉個々の動物の生態についてまとめる 45分	
生き物の知恵に気付くネイチャーゲーム	
3 〈予習〉短大内で発見した植物について調べる 45分 〈復習〉動物の生きる知恵についてまとめる 45分	
観察力を高めるネイチャーゲーム、ネイチャーゲームの理念	
4 〈予習〉日本シェアリングネイチャ協会のホームページを見て、ネイチャーゲームの概要をつかす 〈復習〉ネイチャーゲームとは何かまとめておく 45分	5 45分
身近な自然の美しさや不思議さに気付くネイチャーゲーム、ネイチャーゲーム実践法	
5 〈予習〉野外活動時に起こりうる事故や事件について過去の事例を調べておく45分〈復習〉下見の重要性についてまとめておく45分	
他の人の感性に気づくネイチャーゲーム、安全対策	
6 〈予習〉指導者として子どもの前に立った時の留意点についてまとめておく45分 〈復習〉実践時の安全対策についてまとめておく45分	
生き物の生態について考えるネイチャーゲーム、ネイチャーゲーム指導員制度	
7 〈予習〉指導者の立場に立ち、実践時のシミュレーションをしてみる 45分 〈復習〉指導員の心構えをまとめておく 45分	
保育現場で使えるネイチャーゲーム、実践例を読む	
8 〈予習〉現場で指導する際の留意点についてシミュレーションをしてみる 45分 〈復習〉アドバイスシートを読み指導法を振り返る 45分	
感覚を研ぎ澄ますネイチャーゲーム シェアリングネイチャーウェルネス体験	
9 〈予習〉ネイチャーゲームの理論をまとめる 45分 〈復習〉実践での活用場面を具体的に考える 45分	
対象者にあわせたネイチャーゲーム1	
10 〈予習〉幼児の発達特性について考え、保育の現場で活用を考える 45分 〈復習〉年齢や発達による配慮や工夫についてまとめる 45分	
ネイチャーゲーム指導実践実習	
11 〈予習〉実践する活動の指導計画を作成する。教材準備 45分 〈復習〉実践実習を通して、気がついたことをふりかえる。45分	
全体のふりかえり(リーダー登録者は検定試験を兼ねる)	
12   〈予習〉体験を通してネイチャーゲームが育む子どもの力を考えておく 45分   〈復習〉ネイチャーゲームについてまとめる 45分	
<b>定 期 試 験</b> ◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分	

授業科目名	アウトドア演習B			教員名	堀口	コ 芳嗣 / 山村	寸 穂高
配当年次	2	開講時期	後期/後期集中	単位数	2	授業形態	演習
卒業·免許·資格 と の 関 係						ナンバリング	2D607
授業内容を示す キーワード	キャンプインストラ	ラクター キャンプ	キャンプのアクティ	ビティー			
授業の概要	キャンプインストラクターの資格取得を目指します。 キャンプインストラクターの資格取得を目指します。 キャンプインストラクターとは、キャンプでの活動を指導できる能力を持った指導者で、キャンプの基礎的な知 識、技術、考え方を習得していると認定される者に与えられます。組織化された複数の指導者により運営・指 導がなされる「幼児向けの組織キャンプ」を中心に、キャンプの目的やねらい、キャンプの特性、生活技術、さ まざまなアクティビティー、キャンプの安全、キャンプの指導など、理論と実技を学びます。授業には実習を含 み、グループワークにより、主体的な学びを行います。						
		」(アクティビティ)を ストラクターを申請	・指導できる能力を もし、取得する。	<b>養うため、</b>	基礎的な知詞	哉、技術、考え方	を習得し、希望
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】 キャンプにおいて、小集団の生活を指導する基礎的な理論(キャンプの特性、対象、指導、安全)を理解している。さらに基礎的な技術(キャンプにおける生活技術、アクティビティ)を身につけ、実践につなげることができる。						
授業の方法等	屋内での講義、演習、実技など、多様な授業形態に加え、宿泊によるキャンプも実施します。資格認定に関しては、後期期間内に実施します。 2025年10月11日(土)~12日(日)に、集中講義及び実習を行います。 また、ICT(EduNavi)を活用した、双方向型の授業及び自主学習支援を行います。						
	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 50%						
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:1	DP1:10% DP2:10% DP3:20% DP4:20% DP5:30% DP6:10% [合計100%]					
教 科 書	「キャンプ指導者入門」 日本キャンプ協会指導者要請委員会 公益社団法人日本キャンプ協会 [ISBN:978-4904008157] ※購入方法については後日指示する。						
参考書	必要に応じて紹介する。						
関連科目	アウトドア演習A						
質問受付の 方 法	専任の科目担当教員の研究室等にて受け付けます。						
履修上の注意	学内での演習と講義、実習の集中授業を行います。集中授業では運動できる身だしなみで参加して下さい。テキスト代、宿泊費及び資格取得に申請登録費用等がかかるためよく確認して下さい。						

授業計画		キャンブの指導 めざせ!キャンブインストラクター(アイスプレイキング、キャンプインストラクターの資質と役割) 
٤	1	〈予習〉教科書を読んでおく。90分 〈復習〉用意したブリント課題を行う。90分
時間外学習		キャンプの特性 キンプの意義と目的、キャンプの組織と種類
	2	〈予習〉キャンプの意義と目的、組織と種類について用意したプリント課題を行う。90分 〈復習〉用意したプリント課題を行う。90分
		様々なアクティビティ キャンプファイア指導法
	3	〈予習〉様々なアクティビティ、キャンプファイアについて用意したプリント課題を行う。 90分 〈復習〉用意したプリント課題を行う。 90分
		キャンプの生活技術 キャンプの基本装備
	4	〈予習〉キャンプの生活技術、基本装備について用意したプリント課題を行う。90分 〈復習〉用意したプリント課題を行う。90分
	5	
		宿泊等による集中講義、実習、グループワーク
	6	・キャンプの生活技術(2・3・4)テント設営・撤収法、アウトドアクッキング・工具及び道具使用法
		・様々なアクティビティ(2・3・4) キャンプファイア指導法、人とかかわるアクティビティ、キャンプクラフト
		・キャンプの安全(1)ファーストエイドの実際
	7	・キャンプの安全(1)安全管理
		・キャンプの対象(1)人間の理解
	8	・キャンプの指導(2)指導者のためのコミュニケーションスキル
		・キャンプの指導(3)キャンパーの観察と記録
	9	・キャンプの対象、人間と自然の関係
		・キャンプの対象(2)人間と自然の関係
	10	・様々なアクティビティー、自然観察
		様々なアクティビティ 野外ゲーム
	11	《予習》様々なアクティビティ、野外ゲームについて用意したプリント課題を行う。 90分 〈復習〉用意したプリント課題を行う。 90分
		キャンプの生活技術 ロープワーク
	12	〈予習〉キャンプの生活技術、ロープワークについて用意したプリント課題を行う。90分 〈復習〉用意したプリント課題を行う。90分
		キャンプの安全 事故事例に学ぶ
	13	〈予習〉キャンプの安全、事故事例について用意したプリント課題を行う。 90分 〈復習〉用意したプリント課題を行う。 90分
		キャンプの対象 体験は未来を拓く力(自然の理解)
	14	〈予習〉キャンブの対象、自然の理解について用意したブリント課題を行う。 90分 〈復習〉用意したプリント課題を行う。 90分
		授業の振り返り
	15	〈予習〉それまで配布したプリントの内容を覚える。90分 〈復習〉使用したプリントでわからなかった部分を覚えてくる。90分
定期試験		:期試験[ 筆記 ] 60分 もり返り・フィードバック[ 定期試験の解説を行う ] 30分

授業科目名		ı	教員名		成田 吾津	7	
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係						ナンバリング	1D608
授業内容を示す キーワード	建学の精神、学園	ま学の精神、学園の歴史、浴衣作り、着付け、着物のたたみ方、マナー ま学の精神、学園の歴史、浴衣作り、着付け、着物のたたみ方、マナー					
授業の概要		<ul><li>・学園の建学の精神や歴史を理解し、学園のルーツである和裁を体験し自分の浴衣を製作します。</li><li>・着付け、帯結び、着物着用時のマナー等を学習します。</li></ul>					
	・実際に和裁に触	触れ、建学の精神 れ、和の知識を体 成させ、着用する		自信を得る	0		
授業のねらいと 到 連 目 標	・学園の建学の精	【到達目標】 ・学園の建学の精神、創立のルーツについて説明できる。 ・和裁の知恵が詰まった浴衣と製作方法を理解し、自分で浴衣を作ることができる。					
授業の方法等	講義と演習方式で行います。						
成績評価の基準と方法	■授業への取り組み・態度 20% ■提出物(浴衣完成) 50% ■その他[単元ごとのできばえ] 30%						
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:40% DP2:20% DP3:10% DP4:10% DP5:10% DP6:10% [合計100%]						
教 科 書	「和裁教本 ゆかた」(山村学園創設者 山村 婦みよ先生) ※購入の方法については授業時に指示します。						
参考書	適宜、プリントを配付します。						
関連 科目	子ども文化演習B						
質問受付の方 法	授業中は勿論、授業前・後に理解ができるまで質問を受け付けます。						
履修上の注意	浴衣の生地等を後期授業開始前に各自で購入する必要があります。 事前にガイダンス(授業計画・教材の説明・用具の使い方)を実施するので必ず参加してください。 また、次年度に着付け・帯結び・ヘアースタイル・マナー指導等の補習を行います。						

授業計画	柄合わせ・裁断					
ے	1 〈予習〉各部の名称を覚えること。20分					
時間外学習	《復習》袖標付け、袖下袋縫いができるように柄合わせ・裁断を終わらせる。160分 ・ 抽標付け・ミシンの使い方・アイロンの使い方・袖下袋縫い					
	2 〈予習〉ミシンの使い方を理解し、練習する。20分					
	〈復習〉袖丸みの始末・袖口三つ折りぐけに進めるようにする。160分					
	袖丸みの始末・袖口三つ折りぐけ   3   / ヌ羽〉   つちはた割ぐる 20分					
	3 〈予習〉三つ折りぐけの方法を調べる。20分 〈復習〉見頃標付け(後ろ見頃・前見頃)・背縫い・背縫いきせのかけ方に進めるようにする。160分					
	見頃標付け(後ろ見頃・前見頃)・背縫い・背縫いきせのかけ方					
	予習〉きせのかけ方をについて調べる。20分 復習〉肩当て・居敷当てに進めるようにする。160分					
	肩当ての縫い方(新モス使用)					
	5 〈予習〉寸法通りにミシンがかけられるよう練習する。90分 〈復習〉肩当て付け・居敷当てに進めるようにする。90分					
	肩当て付け					
	6 〈予習〉耳ぐけ・折りぐけについて調べる。20分 〈復習〉衽標付け・衽襟下三つ折りぐけに進めるようにする。160分					
	<b>社標付け・衽襟下三つ折りぐけ</b>					
	7 〈予習〉枉標付け・衽襟下三つ折りぐけを進める。90分 〈復習〉三つ折りぐけを完成させる。90分					
	衽付け・衽付け始末					
	<sup>8</sup> 〈予習〉きせのかけ方について調べる。20分 〈復習〉衽付け・衽付け始末を終わらせる。160分					
	襟標付け・共衿標付け・共衿付け					
:	9 〈予習〉本ぐけの方法を理解する。20分 〈復習〉襟標付け・共衿標付け・共衿付けを進める。160分					
	衿付け(三つ衿芯の入れ方・待ち針の打ち方)					
1	<ul><li>(予習)棒衿・ばち衿・広衿の形を理解する。20分 (復習)衿付けを進める。160分</li></ul>					
	衿(きせのかけ方)・衿先の始末・衿ぐけ					
1	1 〈予習〉ほんぐけの針の入れ方・出し方を調べる。20分 〈復習〉脇縫いに進めるようにする。160分					
	脇縫い・脇縫い代の始末					
[	2 〈予習〉きせをかけた後の、かくしじつけの方法を理解する。20分 〈復習〉脇縫い代の始末を進める。160分					
	脇縫い始末					
	3 〈予習〉脇縫い代の始末を進める。90分 〈復習〉正しい耳ぐけの方法を、再度見直す。90分					
	裾ぐけ(額縁の作り方)					
	4 〈予習〉額縁の作り方について調べる。20分 〈復習〉裾の長さを確認する。160分					
	袖付け・袖付け始末・完成確認・仕上げ(アイロンのかけ方)・浴衣のたたみ方					
	5 〈予習〉かんぬき止め(6ヶ所)の方法を覚える。90分 〈復習〉仕上げ(アイロンのかけ方)・浴衣のたたみ方を練習する。90分					
定期試験◀	定期試験は行わない。					

授業科目名	ナチュラルアート			教員名		酒井 誠	
配当年次	1•2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係						ナンバリング	3D609
授業内容を示す キーワード	「自然を知る」「信						
授業の概要		な色や形、質感がる 応用力を身につけ	あります。この講義 ・ます。□	では自然環	環境を利用し	た作品制作を通	して、様々な素
	広げ、指導を行う	際にも適切かつ、	法を用いて作品を制 イメージを沸かせる を使用し、その技術	事のできる	指導者を育	成する。図画工	作/保育内容表
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】 素材や道具それぞれに対する固定観念に囚われず、その場その場で目的にあった適切な表現ができるようになる。 素材や道具の臨機応変な扱い方を知り、確実で安全な造形ができる、また指導ができるようになる。						
授業の方法等	90分12回(合計48時間)の授業を講義と演習(実技)形式で行います。 考え方や手順の説明の後、実際に制作していきます。						
	■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 50%						
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:10% DP2:10% DP3:20% DP4:10% DP5:40% DP6:10% [合計100%]						
教 科 書	適宜、資料を配付						
参考書	適宜紹介、資料を配付						
関連科目	図画工作、保育内容表現、保育内容表現の指導法						
質問受付の方 法	オフィスアワーを含めて、随時受け付けます。						
履修上の注意	1.動きやすく、汚れの気にならない服装で臨むこと。汚れを伴う作業を多々行います。 2.積極的な姿勢で授業に関わること。集中して制作ができない、またはすぐ飽きてしまう方は履修を控えてください。 3.受講に必要な道具、素材は予め指示します、必ず忘れないように持って来て下さい。 4.授業課題はその時の天候や環境により、多少前後することがあります。						

授業計画	Ι.	ガイダンス/課題説明/フィールドワーク-作品制作素材の採取-
٤	1	〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
時間外学習		フィールドワーク-採取したものを利用して作品制作
	2	〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
		石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作①/石膏流し込み作業
	3	〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
		石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作②/たまご型石膏割り~やし繊維張り
	4	〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
		石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作③/やし繊維貼り~押し花装飾
	5	〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
		石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作④/作品制作
	6	〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	_	石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作⑤/押し花装飾~完成
	7	〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
		空想生物標本制作①/デザイン及び設定決め~必要素材の検討~フィールドワーク
	8	〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
		空想生物標本制作②/作品組み立て~完成
	9	〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
		太陽と植物を利用したサイアノタイププリント実習①/説明~実演~イメージ固め
	10	〈予習〉オリエンテーション、シラバスを読む 45分 〈復習〉課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	l.,	太陽と植物を利用したサイアノタイププリント実習②/フィールドワーク(素材調達)~作品制作
	11	〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉各自必要素材の調達 70分
	1,0	太陽と植物を利用したサイアノタイププリント実習③/フィールドワーク(素材調達)~作品制作
	12	〈予習〉次回の講義内容の確認 20分 〈復習〉筆記試験課題の解答方法について検討する 70分
		与 #U=+ #A ( 位 = 7 】 00 / \
定期試験		定期試験[筆記]60分 最り返り・フィードバック[定期試験の解説を行う]30分

授業和	<b>↓</b> 目	名		ダンスムーブメン	· <b>F</b>	教員名		伊藤 えつ	<del>7</del>			
配当	年	次	1•2	開講時期	後期	単位数	1	1 授業形態 演習				
卒業・免								ナンバリング	3D610			
授業内容			身体性・表現・ダン	ノス・創作・発表								
授業の	概	要	レーニングに取り	組み、身体性と表	こ学びます。モダン! 現力を身につけます たり、教え合ったり!	ナ。またICT	を活用しグル	レープで様々な	<b>ジャンルのダン</b>			
			【ねらい】 ダンスに関する知 めることをねらい。		・表現方法を学び、	身体性と表	長現力を向上	こさせ保育者とし	ての資質を高			
授業の4 到 達	aらし 目	いと 標	②自身の表現経	験を積み重ね、子の	化的教養を身につ どもたちとの表現活 ョンカを向上させる。	動に対する	ó身体知·応	用力を身につけ	<b>ప</b> .			
授業の	方法	等		8時間)の授業を行 オ視聴、グループ'	います。 フークを併用して展	開します。						
成績評基準と			■定期試験〔レオ ■授業への取り ■その他〔授業ロ	Ⅱみ・態度 60%								
D Pに 学力の			DP1:20	0% DP2:10% I	DP3:40% DP4:	10% DP5	5:10% DP	6:10% 〔合計	†100%]			
教和	ł	#	適宜、資料を配付	します								
参考	f	#	適宜、資料を配付	けします。								
関連	科	目	幼児体育・保育内	容表現・保育内容	※表現の指導法・子	ども文化演	習B					
質問受方	人	の法	適宜、研究室等にて受け付けます。									
履修上	の注	意	2.内履き、外履き	て受講してくださし をロッカーに準備し )変更や準備物等		指示や掲示	*板等などに	注意してください	N <sub>o</sub>			

と 1 (予留) どんなゲンス経験をしてきたかを事とめておく 45分 (復留) ワーウンートの記入 45分 2 (存留) アーウンートの記入 45分 3 (存留) アーウンートの記入 45分 45分 3 (存留) 今日の動きの復留 45分 3 (存留) 今日の動きの復留 45分 3 (存留) 第一の 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
と	受 業 計 画		オリエンテーション ダンスについて知ろう!(運動着に着替えて集合してください)
2 (予書)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復書)今日の動きの復習 45分 助きのパリエーションを抵げよう 3 (予書)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復書)今日の動きの復習 45分 (変書)4日の動きの復習 45分 (変ま)4日の動きの復習 45分 (変ま)4日の動きを考えたり選んだりする。45分 (変ま)4日の動きを考えたり選んだりする。45分 (変ま)4日の動きを考えたり選んだりする。45分 (変ま)4日の動きを考えたり選んだりする。45分 (変ま)4日の動きを考えたり選んだりする。45分 (変ま)4日の動きを考えたり選んだりする。45分 (変ま)4日の動きを考えたりまたりまたりまたりまたりまたりまたりまたりまたりまたりまたりまたりまたりまた	٤	1	
(後国)今日の動きの後国 45分 動きのパリエーションを拡げよう 3 (平面)課題に合わせた他を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (後国)今日の動きの後国 45分 及い動きについて考えよう 4 (平面)課題に合わせた他を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (後国)今日の動きの後国 45分 グループで動いてみよう 5 (平面)課題に合わせた他を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (後国)今日の動きの後国 45分 グループで動いてみよう 7 (平面)課題に合わせた他を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (後国)今日の動きの復国 45分 グループ活動 テーマや振付を考えよう 7 (平面)課題に合わせた他を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (後国)今日の動きの復国 45分 グループ活動 第付やフォーメーションを工夫しよう 9 (平面)課題に合わせた他を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (後国)今日の動きの復国 45分 グループ活動 動きを自分のものにしよう 10 (平面)課題に自つかきの復国 45分 グループ活動 動きを自分のものにしよう (本面)課題に合わせた他を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (後国)今日の動きの復国 45分 グループ活動 動きを自分のものにしよう 11 (平面)課題に合わせた他を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (後国)今日の動きの復国 45分 ビデオを視聴し自分の動きについて評価しよう 12 (平面)課題に合わせた他を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (後国)今日の動きの復国 45分	寺間 外 学 習		身体を大きく動かそう
3 (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分(復習)今日の動きの復習 45分		2	
(復留)今日の動きの復習 45分  良い動きについて考えよう  4 (予留)禁題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復留)今日の動きの復習 45分  ブルーブで動いてみよう  6 (予留)禁題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復留)今日の動きの復習 45分  ブルーブで動いてみよう  7 (予習)禁題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復留)今日の動きの復習 45分  ブルーブ活動・アーマや振付を考えよう  8 (予留)禁題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復留)今日の動きの復習 45分  グルーブ活動・振行やフォーメーシュンを工夫しよう  9 (予留)禁題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復留)今日の動きの復習 45分  グルーブ活動・動きを自分のものにしよう  10 (予留)禁題に合わせたのようにしょう  10 (予留)禁題に合わせた過を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復留)今日の動きの復習 45分  グルーブ活動・動きを自分のものにしよう  10 (予留)禁題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復留)今日の動きの復習 45分  東表して互いに評価しよう  (予留)禁題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復留)今日の動きの復習 45分  東表して互いに評価しよう  12 (予留)禁題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復留)今日の動きの復習 45分			動きのバリエーションを拡げよう
4 (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復習)今日の動きの復習 45分		3	
(後置)今日の動きの後置 45分  「不で動いてみよう  「子習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (後置)今日の動きの復置 45分  グループで動いてみよう  「予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (後置)今日の動きの復置 45分  ソロで動いてみよう  「予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復習)今日の動きの復置 45分  グループ活動			良い動きについて考えよう
5 (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分(復習)今日の動きの復習 45分 グループで動いてみよう 6 (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分(復習)今日の動きの復習 45分 ソロで動いてみよう 7 (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分(復習)今日の動きの復習 45分 グループ活動 振付やフォーメーションを工夫しよう 9 (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分(復習)今日の動きの復習 45分 グループ活動 動きを自分のものにしよう (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分(復習)今日の動きの復習 45分 グループ活動 動きを自分のものにしよう 10 (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分(復習)今日の動きの復習 45分 発表して互いに評価しよう 11 (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分(復習)今日の動きの復習 45分 ビデオを視聴し自分の動きについて評価しよう 12 (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分(復習)今日の動きの復習 45分  レデオを視聴し自分の動きについて評価しよう 12 (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分		4	
(復習)今日の動きの復習 45分 グループで動いてみよう 6 〈予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習)今日の動きの復習 45分 ソロで動いてみよう 7 〈予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習)今日の動きの復習 45分 グループ活動 テーマや振付を考えよう 8 〈予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習)今日の動きの復習 45分 グループ活動 振付やフォーメーションを工夫しよう 9 〈予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習)今日の動きの復習 45分 グループ活動 動きを自分のものにしよう 10 〈予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復習)今日の動きの復習 45分 ・ 元子は聴し自分の動きについて評価しよう 11 〈予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復習)今日の動きの復習 45分 ・ 世子本 代現徳し自分の動きについて評価しよう (〈予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習)今日の動きの復習 45分 ・ 世子本 (東藤) 自分の動きの復習 45分			ペアで動いてみよう
6 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分 ソロで動いてみよう 7 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分 グループ活動 デーマや振付を考えよう 8 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分 グループ活動 動きを自分のものにしよう (復習〉今日の動きの復習 45分 グループ活動 動きを自分のものにしよう (を習〉解題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分 発表して互いに評価しよう (を習〉神田しよう (を習〉今日の動きの復習 45分 (を習〉今日の動きの復習 45分 (を習〉今日の動きの復習 45分 (を習〉今日の動きの復習 45分 (を習〉今日の動きの復習 45分 (を習〉今日の動きの復習 45分		5	
(復習)今日の動きの復習 45分  ソロで動いてみよう  7 (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復習)今日の動きの復習 45分  グルーブ活動 テーマや振付を考えよう  8 (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復習)今日の動きの復習 45分  グルーブ活動 振付やフォーメーションを工夫しよう  9 (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復習)今日の動きの復習 45分  グルーブ活動 動きを自分のものにしよう  10 (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復習)今日の動きの復習 45分  発表して互いに評価しよう  11 (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復習)今日の動きの復習 45分  ビデオを視聴し自分の動きについて評価しよう  12 (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復習)今日の動きの復習 45分  ・デオを視聴し自分の動きについて評価しよう  12 (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 (復習)今日の動きの復習 45分			グループで動いてみよう
7 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分 グループ活動 テーマや振付を考えよう 8 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分 グループ活動 動きを自分のものにしよう 9 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分 クループ活動 動きを自分のものにしよう 10 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分 免表して互いに評価しよう 11 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分 とデオを視聴し自分の動きについて評価しよう (予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分		6	
(復習)今日の動きの復習 45分  グループ活動 テーマや振付を考えよう  8 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分  グループ活動 振付やフォーメーションを工夫しよう  9 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分  グループ活動 動きを自分のものにしよう  10 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分  発表して互いに評価しよう  11 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習)今日の動きの復習 45分  ビデオを視聴し自分の動きについて評価しよう  (予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分  ビデオを視聴し自分の動きについて評価しよう  (予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分			ソロで動いてみよう
8 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分 グループ活動 振付やフォーメーションを工夫しよう 9 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分 ・		7	
(を習)今日の動きの復習 45分  グルーブ活動 振付やフォーメーションを工夫しよう  9 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分  グルーブ活動 動きを自分のものにしよう  10 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分  発表して互いに評価しよう  11 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分  ビデオを視聴し自分の動きについて評価しよう  12 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分  ◆定期試験〔レポート〕			グループ活動 テーマや振付を考えよう
9 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習今日の動きの復習 45分 グループ活動 動きを自分のものにしよう 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習今日の動きの復習 45分 発表して互いに評価しよう 11 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分 ビデオを視聴し自分の動きについて評価しよう 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分		8	the drawner in the control of the co
(復習)今日の動きの復習 45分  グループ活動 動きを自分のものにしよう  10 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分  発表して互いに評価しよう  11 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分  ビデオを視聴し自分の動きについて評価しよう  12 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分  ◆定期試験[レポート]			グループ活動 振付やフォーメーションを工夫しよう
10 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分 ビデオを視聴し自分の動きについて評価しよう  12 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分  を 2 次 で		9	
(を選り今日の動きの復習 45分  発表して互いに評価しよう  「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			グループ活動 動きを自分のものにしよう
11 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分 ビデオを視聴し自分の動きについて評価しよう 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分		10	
(復習)今日の動きの復習 45分 ビデオを視聴し自分の動きについて評価しよう (予習)課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分  ◆定期試験[レポート]			
12 〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分		11	〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分
(復習)今日の動きの復習 45分			
		12	〈予習〉課題に合わせた曲を選んだり、ふさわしい動きを考えたり選んだりする。45分 〈復習〉今日の動きの復習 45分
	と 期 試験		

実習科目

授業科目名		実習指導 I *	<b>«</b>	教員名		室井 佑美 和恵 / 宇田 江 佳宏 / 橋本	川 和久
配当年次	1	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係			・ 『指導Ⅱ〕 育実践に関する科目	目/教育実習	ני	ナンバリング	1D701
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	教育実習 I 幼科	集園 幼児 子ども	の理解 保育者の	業務理解 纟	か 稚園の機	能と役割の理解	
授業の概要	実習準備から実習 (観察のポイント、 き方まで)を学び	習終了に至る細部 子どもとのかかれ ます。 現場で勤務経験を	事後指導を行います 日程や事務手続き りり方、幼稚園におい で有する実務家教員 な授します。	まもちろん、 ける実践的な	诈指導法、指	6導計画の立て	方、指導案の書
授業のねらいと 到 達 目 標	【ねらい】 教育実習 I・II を円滑に行うため、「観察」したことを「記録」することを中心にして、必要十分な実習に関する知識・態度、技術・能力を習得する。 特に事前指導では、実習生として幼稚園等の教育活動に参画する意識を高め、習得すべき知識や技能等について知り、実習の目的を理解する。  【到達目標】 (1) 保育者を目指す者として自律することを自覚し、基本的な実習態度を習得している。 (2) 保育場面の適切な観察を行うことができる。 (3) 観察をもとに振り返り・評価までの必要十分な実習日誌を作成できる。 (4) 幼児の発達等をふまえて保育実践にも参与できる。						
授業の方法等	ICT (EduNavi)を流	5用した双方向型	限聴覚教材も活用し の授業及び自主学 を取り入れ、【ディスス	習支援を行い		-ク/ロールプレ-	イ】を授業内で
成績評価の基準と方法	■定期試験[レオ ■授業への取り料 ■提出物 30%						
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:20	0% DP2:10%	DP3:20% DP4:	10% DP5:	:10% DP	6:30% 〔合計	h100%]
教 科 書	「実習ガイドブック	」山村学園短期大	<b>、学</b>				
参考書	適宜、資料を配付	します。					
関連科目	教育実習 I 教育	『実習Ⅱ 実習指導	導Ⅱ 実習指導Ⅲ	子ども学演習	習 I キャ!	Jアアップセミナ <b>-</b>	– I
質問受付の 法	授業内および当記	核実習の担当教員	に直接または研究	室を訪問して	て質問してく	ださい。	
履修上の注意	注意してください。 実習を理由とした	オリエンテーション	ロ要件になります。ク ンへの参加であって 曜日と時間を設定す	も、授業は欠	て席扱いとな		

I I		
授 業 計 画		オリエンテーション 実習科目の概略と実習スケジュールの説明   
٤	1	〈予習〉教育実習 I 登録カードを作成する。45分 〈復習〉ガイドブック第1章(123)を読み返す。布名札のデザインを考える。45分
時間外学習		実習の意義と実習生の心構え〔態度、マナー〕 布名札の制作①
	2	〈予習〉ガイドブック第1章(6)を下読みする。布名札制作に必要な持ち物を揃える。45分 〈復習〉自分にとっての実習の意義と実習生の心構えを確認する。45分
		保育体験 I (ふれあい体験)の準備[体験の仕方・観点] 布名札の制作②
	3	〈予習〉ガイドブック第2章(1)第5章(1)を下読みする。45分 〈復習〉布名札を完成させる。45分
		子どもの姿と関わり方 保育体験 I の自己課題を設定する
	4	〈予習〉保育体験 I に必要な持ち物を揃える。45分 〈復習〉保育体験 I の自己課題を完成させる。45分
		保育体験 I の振り返り①(園生活、子どもの活動を中心に)
	5	〈予習〉健康チェック表、行動観察記録を記録し、身だしなみを整える。45分 〈復習〉保育体験 I の参加・振り返りを通して、次回に向けて課題をまとめる。45分
	6	保育体験 II (保育所・幼稚園見学)の準備[記録の書き方] 子どもの観察と見方・捉え方 保育体験 II の自己課題を設定する 〈予習〉事前に配付された資料を下読みし、記録のイメージをつかむ。45分 (変型) 本 パーツの管理 を記されています。
		〈復習〉ガイドブック第2章該当箇所を読み返し、理解を定着させる。45分
	7	保育体験Ⅱの振り返り①(学生の記録を元に子どもの姿を捉え、エピソードを考察する) 
	,	〈予習〉保育体験Ⅱの見学記録を完成させる。45分 〈復習〉授業内容を元に、作成した記録を自ら修正する。45分
		保育体験Ⅱの振り返り②(学生の記録を元に保育者の姿を捉え、エピソードを考察する)
	8	〈予習〉保育体験Ⅱの見学記録を完成させる。45分 〈復習〉授業内容を元に、作成した記録を自ら修正する。45分
		保育体験 I Ⅱのまとめ、お礼状の書き方/保育実践ボランティア/今後の実習に向けて
	9	〈予習〉保育体験Iの見学記録を完成させる。45分 〈復習〉授業内容を元に、作成した記録を自ら修正する。45分
		保育実践ボランティアのねらいと進め方 オリエンテーションの受け方
	10	〈予習〉ガイドブック第2章(23)第1章(5)を下読みする。45分 〈復習〉保育実践ボランティア先を確認し、ボランティア先と電話連絡をして調整する。45分
	11	教育実習 I に向けた必要書類の手続き /書き方 教育実習の意義 教育実習の進め方と実習目標・課題の立て方 〈予習〉ガイドブック第1章、第3章の該当箇所を下読する。45分 〈復習〉実習生調書、実習巡回個人票を作成し、完成させる。45分
		実習記録(日誌)の書き方①〔全体を通して各項目の説明〕
	12	〈予習〉ガイドブック第5章を読み返し、理解を定着させる。45分 〈復習〉実際の実習先を調べ、概要を記録する。45分
		実習記録(日誌)の書き方②〔全体を通して各項目の説明〕
	13	〈予習〉ガイドブック第5章を読み返し、理解を定着させる。45分 〈復習〉事前に配付された資料をもとに課題へ取り組み、理解を定着させる。45分
		実習記録(日誌)の書き方③[実習日誌の書き方のまとめ]
	14	〈予習〉ガイドブック第5章を読み返し、理解を定着させる。45分 〈復習〉事前に配付された資料をもとに課題へ取り組み、理解を定着させる。45分
		  実習指導Ⅰのまとめ(実習指導Ⅱに向けて)
	15	〈予習〉保育実践ボランティアに向けた準備を整える。45分 〈復習〉配布資料、ガイドブックを読み返し、理解を定着させる。45分
定期試験		期試験[ レポート ] もり返り・フィードバック[ コメントを入れ、後日返却します ]

						室井 佑美	<b>_</b>
授業科目名		実習指導Ⅱ *	•	教員名		和恵/宇田、	川 和久
配当年次	1	開講時期	後期	単位数	2	授業形態	演習
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必何	修〔保育実習指導	ĬI]	•		ナンバリング	1D702
授業内容を示す キーワード	保育所 乳幼児 保育所/施設の機	保育実習 I 児童 能と役割の理解	重福祉施設等 施設	実習I 子	ども/利用者	・ の理解 保育者	音の業務理解
授業の概要	実習準備から実置の保育や養護、技記録、評価の方法でます。 特に、教育・保育:	留終了に至る細部 最助の実際、保育 ま、子ども/利用者 現場で勤務経験を	程習 I 」の事前・事後 日程や事務手続き 者の職務や必要とさ の人権及び最善の で有する実務家教員 る視点等、多様な専	まもちろん、 れる子ども 利益への考 であり、現 <sup>り</sup>	保育所やり /利用者との 慮、プライ/ 場における(	の関わり方、実習 バシーの保護と 保育や支援の視	習における観察、 予秘義務等を学
授業のねらいと 到 達 目 標	ることを中心に、 特に事前指導では べき知識や技能等 【到達目標】 (1)保育者として( (2)自ら保育の構 (3)立案した指導	必要十分な実習に は、実習生として保 等について知り、ま の役割を理解し、 想を練り、計画を 案をもとに、部分	行うため、実習の意 関する知識・態度、 保育所での保育活動 民習の目的を理解す それらを言動(言葉) でてた上で指すな保育 実習等で適切評価を 総括し、自己評価を	技術・能力 、施設での る。 遣いや立居 作成できる 実践ができ	を習得する。 生活支援に 振舞い)でえ る。 きる。	。 参画する意識を 示すことができる	高め、習得す
授業の方法等	ICT(EduNavi)を活また、アクティブラ 行います。	所した双方向型 ーニングの手法を	現聴覚教材も活用しる の授業及び自主学で を取り入れ、【ディスス 詳細は授業内で説明	習支援を行 カッション/ク	ブループワー	-ク/ロールプレ・	イ】を授業内で
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記 ■授業への取り約 ■提出物 30%						
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:20	0% DP2:10%	DP3:20% DP4:	10% DP5	:10% DP	6:30% 〔合計	h100%]
教 科 書	「実習ガイドブック	」山村学園短期大	<del></del>				
参考書	適宜、資料を配付	します。					
関連科目	教育実習 I 保育 子ども学演習 II		習Ⅰ 実習指導Ⅰ ミナーⅡ	実習指導Ⅱ	I		
質問受付の 方 法	授業内および当記	核実習の担当教員	に直接または研究	室を訪問し <sup>・</sup>	て質問してく	<b>ばさい。</b>	
履修上の注意	注意してください。 先へのオリエンテ 必要な書類提出、	実習を理由とした ーションは、本授 身だしなみのチェ	ロ要件になります。ク -オリエンテーション・ 業を避け、他の曜日 -ックを定期的に行し なります。期限厳守で	への参加で と時間を設 います。 書類	あっても、打定するよう! 「未提出、身	受業は欠席扱い。 こしてください。	となります。実習

授業計画		保育実践ボランティアの振り返り 教育実習 I の事前準備から実習終了までの手続きの確認
٤	1	〈予習〉保育実践ボランティア記録をまとめておく。教育実習 I 実施要項を熟読する。90分 〈復習〉教育実習 I 関連の配付物を確認する。配布資料を読み返し、理解を定着させる。90分
時間外学習		教育実習 I に向けて①〔オリエンテーションの受け方、実習マナーと態度〕 実習日誌の書き方①(概要)
	2	〈予習〉実習先の概要をホームページ等で確認し、記録する。90分 〈復習〉オリエンテーションの日時と詳細を実習先と調整する。実習の目標・課題を立て記入する。90分
		教育実習 I に向けて②〔実習の進め方、観察の観点、実技の実践〕実習日誌の書き方②(保育実践ボランティア記録・園見学記録を活用して保育の流れと子どもの活動を把握する)
	3	〈予習〉園見学記録(2枚)、保育実践ボランティア記録を準備し、自らの記録を振り返る。90分 〈復習〉園見学記録(2枚)、保育実践ボランティア記録を確認し、修正する。90分
		教育実習 I 直前指導 実習日誌の書き方③(実習生の気づき/エピソードと考察/本日の実習のねらいへの振り返り方法を知る)
	4	〈予習〉健康チェック・行動観察記録を記入し、実習に向けて身だしなみを整える。90分 〈復習〉配付資料を読み返し、教育実習 I までに準備すべきことを完了させる。90分
		教育実習 I の振り返り
	5	〈予習〉教育実習 I 終了後の提出書類の準備、実習先へのお礼状の送付を完了させる。90分 〈復習〉教育実習 I に臨み、振り返りを通して、次回の実習に向けての自己課題をまとめる。90分
	6	保育実習 I 事前学習①(保育所での実習の意味/実習の特色と進め方/オリエンテーションの進め方/実習の目標/課題の立て方、実習計画の立て方)
	6	〈予習〉ガイドブック第4章を下読みする。90分 〈復習〉保育実践ボランティア記録や実習先ホームページ等を確認し、オリエンテーションに向けた確認事項を把握する。90分
		保育実習 I 事前学習②(部分実習の考え方/指導案の立案) 個人面談❶
	7	《予習》実習の目標/課題を立て、記入する。90分 〈復習〉部分実習の指導案を作成し、ロールプレイの準備をする。90分
		保育実習 I 事前学習③(部分実習ロールプレイ) 個別面談❷
	8	(予習)部分実習のロールブレイの準備をする。90分 (復習)部分実習のロールブレイ後の反省、評価をする。90分
		保育実習 I 内容別選択学習①〔日誌/大人とのコミュニケーション/活動への導入〕
	9	〈予習〉教育実習 I を振り返り、自身が苦手としており克服、改善すべき点を考える。90分 〈復習〉自身が苦手としており克服、改善すべき点について具体的な改善方策を考える。90分
		保育実習 I 内容別選択学習②〔日誌/大人とのコミュニケーション/活動への導入〕 保育実習 I 直前指導
	10	〈予習〉教育実習 I を振り返り、自身が苦手としており克服、改善すべき点を考える。90分 〈復習〉保育実習 I 事前準備を完了させる。不明点等、大学で把握すべきことを確認する。90分
	11	保育体験Ⅲ(施設見学)の準備 施設実習 I に向けて① (施設での実習の特色/実習の進め方)[視聴覚教材]
		〈予習〉保育体験皿の見学先ホームページ等を閲覧し準備をする。90分 〈復習〉保育体験皿の参加・振り返りを通して課題等をまとめる。90分
		施設実習 I に向けて②(実習先の種別と施設の概要理解)[視聴覚教材]
	12	〈予習〉ガイドブック第6章を下読みする。90分 〈復習〉ガイドブック第6章該当箇所を読み返し、理解を定着させる。45分
		施設実習 I に向けて③(実習の目標/課題の立て方、実習計画の立て方)
	13	〈予習〉ガイドブック第6章を下読みする。実習先概要をホームページ等で確認し、記録する。90分 〈復習〉実習の目標/課題を立て、記入する。90分
		施設実習 I に向けて④(実習日誌の考え方/書き方)
	14	〈予習〉ガイドブック第6章該当箇所を下読みする。90分 〈復習〉施設実習 I の実習日誌の記録見本を模写してイメージをつかむ。90分
	4-	施設実習 I に向けて⑤(実習の実際[施設種別ごとのケーススタディ]/オリエンテーションの進め方)
	15	〈予習〉ガイドブック第6章を読み返し、施設実習 I で求められる態度と心構え、知識及び技能を確認する。90分 〈復習〉配布資料を読み返し、オリエンテーションに向けた確認事項を把握する。90分
定期試験		期試験[筆記]60分 もり返り・フィードバック[定期試験の解説等を行う。]30分

授業科目名		実習指導Ⅲ *		教員名		室井 佑美 和恵 / 宇田. 江 佳宏 / 橋本	川 和久		
配当年次	2	2 開講時期 前期 単位数 1 授業形態 演習							
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必	修〔保育実習指導	IШ )			ナンバリング	2D703		
授業内容を示す キーワード	教育実習Ⅱ 保育	育実習Ⅱ 部分実習	習 責任実習 主活	動 指導案					
授業の概要	として、実習手続 /利用者への指導 法などを学びます 特に、保育・福祉	きの細部日程はも 連法や援助方法、指 -。 現場等での勤務紹	実習Ⅱ」(いずれか ちろん、保育活動や 旨導案の立案と作成 経験を有する実務家 する視点など、専門	生活支援 、クラスで 教員であり	に必要な専りの主活動やり、現場におり	門的知識や実践 利用者への日中 ナる保育や支援	的技術、子ども 活動の展開方		
授業のねらいと 到 達 目 標	てて、それに基づる。 特に事前指導で1 識を高め、習得す 【到達目標】 (1)実習を通して (2)問題解決思考 (3)対象に応じた	いて「実践」するこ は、実習生としてこ べき知識や技能等 、保育者としての係に基づいて保育な保育や支援を実践	実習 II を円滑に行うとを中心に、必要十れまでの学内での登等について意図して を命感や責任感が顧易面や支援場面を言した。評価を行って自 理を持った言動を示	・分な実習 学習、実実 行動し、 は成された設 はあし、題を 自己課題	に関する知識での経験を習の目的を	戦・態度、技術・創 踏まえて、主体的理解する。	能力を習得す		
授業の方法等	ます。後期の授業 ICT(EduNavi)を済	€日程は掲示にて打 舌用した双方向型の ラーニングの手法を	いた12回の授業を行 是示します。 の授業及び自主学習 取り入れ、【ディスカ	習支援を行	います。				
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記録を表現します。 単授業への取り料 単提出物 30%								
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:2	0% DP2:10%	DP3:20% DP4:1	10% DP5	5:10% DP	6:30% 〔合計	H100%]		
教科書	「実習ガイドブック	'」山村学園短期大	学						
参考書	適宜、資料を配付	けします。							
関連科目	保育実習Ⅱ 施訓	段実習Ⅱ 教育実習	習Ⅱ 実習指導Ⅰ	実習指導〕	Ⅱ 保育・教師	微実践演習(幼科	(重)		
質問受付の 方 法	実習アドバイザー	-に直接または研究	究室にて質問してくた	<b>ざさい</b> 。					
履修上の注意	注意してください。 実習を理由とした テーションは、本 必要な書類提出、	オリエンテーション 受業を避け、他のB 身だしなみのチェ	ロ要件になります。タントの参加であって・ 曜日と時間を設定す マックを定期的に行し よります。期限厳守さ	も、授業は るようにし います。書類	欠席扱いとな てください。 頃未提出、身	います。実習園	へのオリエン		

	教育実習 Ⅱ〔オリエンテーション/事前準備及び実習終了までの手続きの確認/指導案作成のポイ	<b>イント</b> 〕
	1 〈予習〉ガイドブックの教育実習Ⅱに関する部分を読んでおく。45分 〈復習〉教育実習Ⅱの目標・課題を立て、記入する。設定保育に向けた保育内容を構想する。45分	
	部分実習の指導案作成 年齢別指導案の作成ポイント	
	2 〈予習〉設定保育の構想シートを元に指導案を2枚作成する。45分 〈復習〉作成ポイント及び添削に基づき指導案を修正する。45分	
Ι.	責任実習指導案の作成(1日の流れと指導方法の構想)について	
3	3 〈予習〉教育実習 I の日誌を振り返り、1日の流れを確認する。45分 〈復習〉責任実習指導案(日案)を作成する。45分	
	部分実習指導案のロールプレイ(グループ別)・日案の確認	
4	4 〈予習〉発表用「模擬指導案」の準備をする。45分 〈復習〉グループシートを振り返り、改善点と課題をまとめる。45分	
١.	教育実習Ⅱ直前指導〔準備資料及び保育技術の確認など)	
5	5 〈予習〉教育実習Iの事前準備を完了させる。不明点など、大学で把握することを確認する。45分 〈復習〉ガイドブック、配付資料を読み返し、教育実習Iで求められる態度と心構え、知識及び技能を確認す	る。45分
Ι,	教育実習Ⅱ振り返り	
6	6 〈予習〉教育実習II終了後の提出書類の準備、実習先へのお礼状送付完了させる。45分 〈復習〉教育実習IIへの参加・振り返りを通して自身の課題を見つけ記録する。45分	
	保育実習Ⅱに向けて施設実習Ⅱに向けて	
7	事前指導①(実習の特色とねらい/進め方/実習 事前指導①(実習のねらい/進め方/実習先の7 目標・課題の立て方) 握等)	実態把
	〈予習〉ガイドブック第4・5章を下読みし、実習の特色とねらい を理解する。45分 〈復習〉実習目標と課題を立て、記入する。45分 〈復習〉実習日標と課題を立て、記入する。45分	解する。
	事前指導②(実習 I 振り返りから、実習先の実態 を把握する)	
8	8 〈予習〉実習先の概要をホームページ等で確認し、特色をまと める。45分 〈復習〉責任実習等で行いたい活動を構想す る。(完成品見本等の作成も行う)45分 体的に構想する。45分	
	事前指導③(3歳未満児クラスの特色と指導) 事前指導③(利用者の特性と支援)	
9	9 〈予習〉3歳未満児クラスの指導案を作成、準備する。45分 〈復習〉3歳未満児クラスの指導案を作成、完成させる。45分 〈復習〉日中活動等における指導案を作成する。45分 〈復習〉日中活動等における指導案を作成する。45分	汾
	事前指導④(3歳以上児クラスの特色と指導) 事前指導④(活動内容の特質と支援)	
10	10 〈予習〉3歳以上児クラスの指導案を作成、準備する。45分 〈復習〉3歳以上児クラスの指導案を作成、完成させる。45分   (予習〉日中活動等における指導案をもとに実際の活動で   林等を整理する。45分   (復習〉日中活動等のロールブレ   けた教材等を整理する。45分	
	事前指導⑤(ロールプレイと評価) 事前指導⑤(ロールプレイ準備)	
1	(予習)ロールプレイができるように事前準備を行う。45分   (予習)日中活動等のロールプレイに向けた教材等を準備	情する。45
	〈復習〉自身が行ったロールブレイと指導案の評価を行い、自 一定課題を把握する。45分 (復習〉試行したロールブレイの課題等を整理し、本番に同 備する。45分	句けて準
	直前指導 事前指導⑥(ロールプレイと評価)及び直前指	導
13	12 〈予習〉保育実習 I の事前準備を完了させる。45分 〈復習〉ガイドブック、配付資料を読み返し、保育実習 I で求 められる態度と心構え、知識及び技能を確認する。45分 I で求められる態度と心構え、知識及び技能を確認する。45分	導案の評 記実習
	【後期①】保育実習Ⅱ・施設実習Ⅱ振り返り 事後指導(自己評価と自己課題)	
1:	(予習)保育実習Ⅱ/施設実習Ⅱ終了後の提出書類準備、実習園へのお礼状の送付を完了する。45分 〈復習〉これまでの実習経験に対して振り返り、2年間での実習に関する自己課題をまとめる。45分	
١.	【後期②】実習に関する総まとめ①(グループ討議と発表準備)	
	4 〈予習〉2年間での実習の学び、事前に養うべき実習の知識/技能/姿勢をまとめる。45分 〈復習〉グループでの発表に向けて協議し、グループ内で発表準備をする。45分	
	【後期③】実習に関する総まとめ②(発表) 実習報告会/実習懇談会の準備	
1:	(予習)グループ全員が協働して発表できるよう、準備を整える。45分、 (復習)実習報告会/実習懇談会に向けた準備を進める。45分	
		「・平田)がイドブックの教育業習 II に関する部分を読んでおく、45分 (復習)教育業習 II の自様・課題を立て、記入する。設定保育に向けた保育内容を構想する。45分 部分実習の指導案件成 年齢別指導案を2枚作成する。45分 (復習)作成ポイントとで表謝に基づき指導案を2枚作成する。45分 (復習)作成ポイント及活動に基づき指導案を2枚作成する。45分 (復習)作成ポイント及び国際に基門と基づき指導案を2枚作成する。45分 (復習)作成ポイント及び国際と権以返り、1日の流れを確認する。45分 (復習)が見た実習指導案のロールプレイ(グループ別)・日案の確認 (十一音)条表用「複媒指導案」の単議をする。45分 (復習)を表用「複媒指導案」の単議をする。45分 (復習)カループンーを担い返り、改善点は建理をまとめる。45分 教育業習 II 直向情報「準備資料及び保育技術の確認など) を書き、45分 (復習)カイアラウ、配付資料を読み返し、教育業習 II 表が良いを満しまし、教育業習 II 医の事前準備を完了させる。不明点など、大学で把握することを確認する。45分 (復習)教育実習 II 仮り返り、改善点は変越を支わられる態度と心構え、知識なび技能を確認する。45分 (復習)教育実習 II 振り返り (千字) 教育実習 II 振り返り (本容) 教育実習 II 振り返り (本容) 教育実習 II 仮りよりを通して自身の課題を見つけ記録する。45分 (復習)教育実習 II 振り返りから、実習たの実態を見つけ記録する。45分 (復習)教育実習 II 振り返りから、実習たの実態を把握する。45分 (復習)素書が見る。45分 (復習)表書をのは表れている。45分 (復習)表書をのは表れている。45分 (復習)を表しまままままままままままままままままままままままままままままままままままま

授業科目名		保育実習 I *						
配当年次	1	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習	
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必	修〔保育実習 [ ]				ナンバリング	1D704	
授業内容を示す キーワード	保育所 見学·観	察実習 参加実習	部分実習 保育學	ミ践ボラン	ティア			
授業の概要			背導のもと、見学・観 解を深めるとともに、					
		-役割を具体的にま こ対する理解を深	里解するとともに、乳 める。	.幼児の観	察やかかわ	りを通して、子と	もへの理解及	
授業のねらいと 到 達 目 標	(1)保育所の機能 (2)乳幼児への観 に援助へと行動が	察やかかわりを通 ができる。	察を通して把握し、 して、各年齢の発達 保育を部分的に実	段階を理	解し、個別性		を深め、直接的	
授業の方法等	·見学·観察実習	、参加実習、短時間	一部、私立保育所) 間の部分実習を中心 時間数は80時間以上	いに行いま	す。			
成績評価の基準と方法	■その他〔総合詞	平価:実習園評価(	65%、日誌評価 209	%、勤惰り	∜況 15% 〕	100%		
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:20	0% DP2:10%	DP3:20% DP4:	10% DP	5:10% DP	6:30% 〔合言	+100%]	
教科書		ク』山村学園短期: 針解説」〔ISBN:97	大学 8-4577814482]/厚	生労働省	(編集)/フレ・	ーベル館		
参考書	「フォトランゲージ	で学ぶ子どもの育	ちと実習日誌・指導	計画」/神	⅓永直美著/萌	有文書林		
関連科目	実習指導 I 実習	習指導Ⅱ 保育実習	<b>習 II</b>					
質問受付の方 法	実習アドバイザー	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	当、実習参加条件	‡を満たさないと、	導Ⅱの出席状況」、 実習へは参加できま 「等における「保育§	きせん。				

ے

### 【実習の内容】

### 時間外学習

- 1. 保育所の役割と機能
- (1)保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり
- (2)保育所保育指針に基づく保育の展開
- 2. 子どもの理解
- (1)子どもの観察とその記録による理解
- (2)子どもの発達過程の理解
- (3)子どもへの援助や関わり
- 3. 保育内容・保育環境
- (1)保育の計画に基づく保育内容
- (2)子どもの発達過程に応じた保育内容
- (3)子どもの生活や遊びと保育環境
- (4)子どもの健康と安全
- 4. 保育の計画・観察・記録
- (1)全体的な計画と指導計画及び評価の理解
- (2)記録に基づく省察・自己評価
- 5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理
- (1)保育士の業務内容
- (2)職員間の役割分担や連携・協働
- (3)保育士の役割と職業倫理

### 【予習・復習の内容】

- ・実習オリエンテーションは、実習先の保育所において授業時間外に行います。
- ・実習日誌の記入や部分実習指導案の立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。

定期 試験 ◆定期試験は実施せず。

授業科目名		施設実習 I *							
配当年次	1	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習		
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必	修〔保育実習 I 〕				ナンバリング	1D705		
授業内容を示す キーワード	児童福祉施設 №	章害児·者 児童養	護 日常生活支援	施設保育	「士 デイリー	-プログラム			
授業の概要	生活に参加し、実		型児童福祉施設や の下、利用者の理解 ます。						
		で子どもや利用者 )役割と機能につし	とともに生活するこ。 いて理解する。	とにより、方	も設における	保育士としての	役割や養護、支		
授業のねらいと 到 達 目 標	児童福祉施設等 説明できる。子ど		設等の生活と一日 <i>0</i> 3等を受容し、共感す 旦当できる。						
授業の方法等	上90時間未満の	実習を行います。	援施設、指定障害福 宿泊を伴うこともあ		ス事業所等に	おいて、10日間	以上、80時間以		
成績評価の基準と方法	■その他[総合]	平価:実習園評価	65%、日誌評価 209	%、勤惰状	∵況 15% 〕	100%			
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:3	0% DP2:10%	DP3:20% DP4:2	20% DP	5:10% DP	6:10% 〔合計	†100%]		
教 科 書	『実習ガイドブック	7』山村学園短期大	学						
多考書	必要な資料は適	直配布します。							
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅱ	実習指導 I・Ⅲ インクル―シブ教育・保育 I・Ⅲ 社会的養護 I・Ⅱ							
質問受付の 方 法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接またはEduNaviを利用して質問してください。								
履修上の注意	できません。	関指導 I・Ⅱの出 は大学が行います	出席状況、麻疹の予 · 。	防接種証	等、実習参加	ロ条件を満 <i>た</i> さな	いと実習参加		

### ے

### 【実習の内容】

- 時間外学習 1. 施設の役割と機能
  - (1)施設における子どもや利用者の生活と保育士の援助や関わり
  - (2)施設の役割と機能
  - 2. 子どもや利用者の理解
  - (1)子どもや利用者の観察とその記録
  - (2)個々の状態に応じた援助や関わり
  - 3. 施設における子どもや利用者の生活と環境
  - (1)計画に基づく活動や援助
  - (2)子どもや利用者の心身の状態に応じた生活と対応
  - (3)子どもや利用者の活動と環境
  - 4. 計画と記録
  - (1)支援計画の理解と活用
  - (2)記録に基づく省察・自己評価
  - 5. 専門職としての保育士の役割と倫理
  - (1)保育士の業務内容
  - (2)職員間の役割分担や連携
  - (3)保育士の役割と職業倫理

### 【予習・復習の内容】

- ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。
- ・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び実践の準備は、原則自宅で行います。

### 定期 試験 ◆定期試験は実施せず。

授業科目名		教育実習 [ *	:	教員名		巣立 佳宏	
配当年次	1	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇幼稚園教諭2科	重免許状必修〔教	育実践に関する科目	∄/教育実	習〕	ナンバリング	1D706
授業内容を示す キーワード	幼稚園 幼稚園教	<b>数諭 観察実習 部</b>	分実習 子どもの発	達理解			
授業の概要	努め、幼児教育と 行うことで、幼児(	:幼稚園教諭の教 の実態や幼稚園教	実習指導者の指導 育活動の基本的事項 諭が行うさまざまな 、子ども学科の教員	頁を学びま 保育活動	す。特に、実 について学び	ミ際の現場におい がます。	ヽて見学・観察を
			女育活動の保育環境 引及び幼稚園の実態				
授業のねらいと 到 達 目 標	・教育実習の意義 ・幼児との関わり	を通して、その実態	しての基本的な心様 長を把握し自己課題 里解し、クラスの担任	を明確にす	することがで	きる。	
授業の方法等	公立または私立のす。	の幼稚園および認	定こども園などにお	いて、見学	堂∙観察実習∂	を中心に2週間の	)実習を行いま
成績評価の基準と方法	■その他[総合]	評価:実習園評価 (	65%、日誌評価 209	%、勤惰状	₹況 15% 〕 <sup>-</sup>	100%	
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:2	0% DP2:20%	DP3:30% DP4:1	10% DP	5:10% DP	6:10% 〔合計	100%]
教 科 書	「幼稚園教育要領		.学 −4577814475)文部 育要領解説」(ISBN				省、厚生労働省
参考書	「幼児の思いをつ 「幼児理解に基づ	なぐ指導計画の作 がいた評価」 文部	ちと実習日誌・指導 『成と保育の展開』 科学省/チャイルドネ 科学省/チャイルドネ	文部科学 <社			
関連科目	実習指導Ⅰ・Ⅱ	教育実習Ⅱ					
質問受付の 方 法	実習アドバイザー	-及び科目担当教貞	員に直接、またはEd	uNaviを利	用して質問し	してください。	
履修上の注意	実習アドバイザー	-及び科目担当教貞	員に直接、またはEd	uNaviを利	用して質問し	してください。	

### 【実習の内容】

### 時間外学習

- 1. 幼稚園の一日の流れを把握する。
- 2. 幼児の発達や興味・関心、個性などの幼児に関する理解に努める。
- 3. 物的環境や人的環境、社会的環境などの保育・教育環境について学ぶ。
- 4. 保育内容や幼児の活動について学ぶ。
- 5. 幼稚園教諭の行うさまざまな保育・教育活動について知り、理解する。

### 【予習・復習の内容】

- ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。
- ・実習日誌の記入や部分実習指導案の立案及び保育実践の準備等は、原則自宅で行います。

定期 試験 ◆定期試験は実施せず。

授業科目名		保育実習Ⅱ *					
配当年次	2	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格選	択必修[ 保育実習	'П)			ナンバリング	2D707
授業内容を示す キーワード	保育所 ロープレ	イ 指導案作成と	保育実践 子ども理	解と評価	部分•責任	実習	
授業の概要	として必要な資質	・能力・技術の定規	こおいて実習指導者 着をめざします。また をうとともに、子育て	こ、家庭と	地域の生活乳	€態にふれて、∃	子ども家庭福祉
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】 子どもの個性や二評価等を適切に行	保育全般に参加し、保育所の保育士に求められる資質・能力・技術について、その確実な習得を図る。					
授業の方法等			学・観察・参加実習 =90時間未満で実習			を伴う部分・責任	壬(全日)実習を
成績評価の基準と方法	■その他[総合]	平価:実習園評価(	65%、日誌評価 200	%、勤惰∜	<b>党況 15%</b> 〕	100%	
D Pに掲げる 学 カ の 割 合	DP1:20	0% DP2:10% I	DP3:20% DP4:2	20% DP	5:10% DP	6:20% 〔合訂	†100%〕
教 科 書	「保育所保育指針		学 うプレーベル館 20 育要領解説」内閣府		学省、厚生労	竹働省 フレーベ	ル館 2018
参考書			ちと実習日誌・指導 集、第5集)」文部科		永直美著 萌	文書林 2016	
関連科目	保育実習 I 実習	保育実習 I 実習指導 I·II·III					
質問受付の 方 法	実習アドバイザー及び科目担当教員に直接またはEduNaviを利用して質問してください。						
履修上の注意	加できません。ま	た「施設実習Ⅱ」と	査陰性、実習指導I の重複履修はでき で自分で実習園を選	ません。			さないと実習参

### ے

### 【実習の内容】

- 時間外学習 1. 保育所の役割や機能の具体的展開
  - (1)養護と教育が一体となって行われる保育
  - (2)保育所の社会的役割と責任
  - 2. 観察に基づく保育の理解
  - (1)子どもの心身の状態や活動の観察
  - (2)保育士等の援助や関わり
  - (3)保育所の生活の流れや展開の把握
  - 3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携
  - (1)環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育
  - (2)入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援
  - (3)関係機関や地域社会との連携・協働
  - 4. 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価
  - (1)全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解
  - (2)作成した指導計画に基づく保育の実践と評価
  - 5. 保育士の業務と職業倫理
  - (1) 多様な保育の展開と保育士の業務
  - (2)多様な保育の展開と保育士の職業倫理
  - 6. 自己の課題の明確化

### 【予習・復習の内容】

- ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。
- ・実習中の実習日誌記入や部分・責任実習指導案立案及び保育実践の準備は、原則自宅で行います。

### 定期 試験 ◆定期試験は実施せず。

授業科目名	施設実習Ⅱ * 教員名 宇田川 和久		<i>ر</i>				
配当年次	2	開講時期	集中	単位数	2	授業形態	実習
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇保育士資格必	〇保育士資格必修〔保育実習Ⅲ〕 ナンバリング 2D708				2D708	
授業内容を示す キ — ワ — ド	個別支援計画 児童家庭福祉 社会的養護 家族支援 障害特性 生活リズム 生活指導						
授業の概要	保育所以外の児童福祉施設(児童館を含む)等で実習指導者の指導の下その生活に参加し、役割や機能を実践を通して理解するとともに、子ども・利用者の養護や支援の実際について理解を深めます。また、子どもや利用者の置かれている環境や障がいの状況等にも目を向け、地域や社会との関連性についても理解を深めます。さらに、保育士として業務内容や職業倫理についても実践に結びつけて学びます。						
	際、施設の役割と		生活することにより、 解する。さらに、家庭 导を図る。				
授業のねらいと 到 速 目 標	子どもや利用者の際を理解し個別3		も感して、援助や支きる。 子どもや利用 そることができる。				
授業の方法等	保育所以外の児童福祉施設(児童館等を含む)、障害児通所施設、障害者支援施設、指定福祉サービス事 等業所等において、10日間以上、80時間以上90時間未満の実習を行います。 原則、通勤での実習になりますが、宿泊を伴うこともあります。						
成績評価の基準と方法							
D P に掲げる 学 カ の 割 合	DP1:3	0% DP2:10%	DP3:20% DP4:2	20% DP	5:10% DP	6:10% 〔合計	l 100%]
教 科 書	『実習ガイドブック』山村学園短期大学						
参考書	必要な資料は適宜配布します。						
関連科目	社会的養護 Ι・Ι	「 インクルーシフ	ブ教育・保育Ⅰ・Ⅱ	実習指導	算Ⅱ・Ⅲ 施	設実習 I	
質問受付の 方 法	実習アドバイザー	-及び科目担当教貞	員に直接またはEdul	Naviを利用	月して質問し <sup>-</sup>	てください。	
履修上の注意	「施設実習 I 」の単位取得、細菌検査陰性、実習指導皿の出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。また、「保育実習 II 」との重複履修はできません。 児童館を含む実習施設は自己決定方式で行います。						

### ۲

### 【実習内容】

- 時間外学習 1. 児童福祉施設等(保育所以外)の役割と機能
  - 2. 施設における支援の実際
  - (1)受容し、共感する態度
  - (2)個人差や生活環境に伴う子どもや利用者のニーズの把握と子ども・利用者の理解
  - (3)個別支援計画の作成と実践
  - (4)子どもや利用者の家族への支援と対応
  - (5)各施設における多様な専門職との連携・協働
  - (6)地域社会との連携・協働
  - 3. 保育士の多様な業務と職業倫理
  - 4. 保育士としての自己課題の明確化

### 【予習・復習の内容】

- ・実習オリエンテーションは、実習先の施設において授業時間外に行います。
- ・実習日誌の記入や部分・責任実習指導案の立案及び実践の準備は、原則自宅で行います。

定期 試験 ◆定期試験は実施せず。

授業科目名	教育実習Ⅱ * 教員名		教員名	相沢 和惠			
配当年次	1	開講時期	集中	単位数	3	授業形態	実習
卒業・免許・資格 と の 関 係	〇幼稚園教諭2種免許状必修〔教育実践に関する科目/教育実習 〕 ナンバリング 2D709						
授業内容を示す キ ー ワ ー ド	幼稚園 幼稚園教諭 部分・責任実習 指導案作成と保育展開 幼児理解と評価 学級運営						
授業の概要	<ul> <li>幼稚園において実習指導者の指導の下、幼児とかかわりながら幼稚園教諭として必要な資質・能力・技術を培います。特に、実際の現場において幼児の活動へ参加することに加え、幼稚園教諭が行うさまざまな活動(保育指導、学級運営、その他の職務など)を助手的立場あるいは担任に代わって行い、幼児教育と幼稚園教諭の教育活動を実践的に学ぶとともに、その本質や役割への理解を深めます。</li> </ul>						
	【ねらい】 幼稚園での幼児の実態を踏まえて、保育内容・5領域や教職に関する専門的知識・理論・技術等(話法・保育 形態・保育展開・環境構成他)、保育を実践するために必要な基礎を確実に身につける。						
授業のねらいと 到 達 目 標	【到達目標】 ・幼稚園教育要領及び幼児の実態等を踏まえた適切な指導案を作成し保育を実践することができる。 ・クラス担任の役割と職務内容を実地に即して理解している。 ・さまざまな場面で適切に幼児と関わることができる。						
授業の方法等	授業の方法等 原則として、教育実習 I と同じ幼稚園において部分・責任実習を中心に3週間の実習を行います。						
成績評価の基準と方法	成 綾 評 価 の 基 準 と 方 法						
D Pに掲げる 学力の割合	DP1:2	0% DP2:20%	DP3:30% DP4:1	0% DP!	5:10% DP	6:10% 〔合計	†100%]
教 科 書 『実習ガイドブック』山村学園短期大学 「幼稚園教育要領解説」文部科学省 フレーベル館 2018 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館 2018							
参 考 書	「フォトランゲージで学ぶ子どもの育ちと実習日誌・指導計画」神永直美著 萌文書林 2016 「幼稚園教育指導資料(第1集、第3集、第5集)」文部科学省						
関連 科目	教育実習 I 実習指導 I・Ⅲ・Ⅲ						
質問受付の 方 法	実習アドバイザー	-及び科目担当教員	員に直接、またはEd	uNaviを利	用して質問し	してください。	
履修上の注意	「実習指導 I 」及び「教育実習 I 」の履修が済み、「実習指導Ⅲ」の出席状況等、実習参加条件を満たさないと実習参加できません。 実習園の決定は、希望調査を実施して大学で行います。						

### 【実習の内容】

### 時間外学習

- 1. 保育全般に参加し、幼稚園教諭の保育技術・指導方法を習得する
- 2. 指導案を立案し、保育の一部または全部を担当し、実際に実践する。
- 3. 幼児の個性、発達、興味・関心など個々の幼児の理解を深め、対応方法を習得する。
- 4. 幼稚園教諭、幼稚園に求められる地域社会のニーズを体験・理解する。
- 5. 幼稚園教諭としての職業倫理を実践的に理解する。
- 6. 幼稚園教諭に求められる資質・能力・技術に照らし合わせ、自己の課題を明確化する。

### 【予習・復習の内容】

- ・実習オリエンテーションは、実習園において授業時間外に行います。
- ・実習日誌の記入や部分実習指導案の立案及び保育実践の準備等は、原則自宅で行います。

定期 試験 ◆定期試験は実施せず。

そ の 他

### 山村学園短期大学子ども学科カリキュラムツリー

田村宇園短期大学子ども学科カリキュラムツリー

ディブロマボリシー(学位授与の方針)
 子とと学科では、建学の精神(質楽・英知・受徴)、学則にある短期大学及び子ども学科の目的に則り、学則第43条(卒業)に示す所定の教育課程を修め、66単位以上を累積GPA一定以上の成積で修得し、以下のような知識・技能・思考か・判断が・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を備えた者に対し、その卒業を認定し短期大学士の学位を授与します。
 (知識・技能) 1 保育者としての専門的知識・技能
 2 社会人として必要な教養・知識
 (思考)・判断が・表現力
 3 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、職業や社会における諸問題を自ら発見、分析、解決方法について
 考察する力、さいに自分の考えを他者に口頭、文章、あるいは身体をもって的確に表現する力
 (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)
 4 保育への情報と使命感を持って社会に買家しようとする主体的・積極的な態度
 5 人や自然を深く愛し、聴しむ態度
 6 社会人として必要なマナー・常識・態度

卒業必修	保育士資格に必修		呆育士資格に選択必修	幼稚園教諭2種免許状に必修	選択科目
入学前		1年			年
八丁前	前期 1D601		後期 1D602	前期 2D603	後期 2D604
入学前教育	子ども学演習 Ι		子ども学演習 Ⅱ	2D003 子ども学ゼミナール I	2D004 子ども学ゼミナール II
4D111	保育体験 I /保育 1D107	体験Ⅱ/保育体	: <u>験Ⅲ/保育体験Ⅳ</u> 1D108	保育( 2D109	本験Ⅳ 2D110
保育入門	キャリアアップセミナー	· I =	10108 -ャリアアップセミナー II	2D109 キャリアアップセミナーⅢ	2DTIU キャリアアップセミナーIV
	1D42A		1D608		2D424
	<u>子ども文化演習A</u> 1D408		ソーイング演習 1D409	2D425	子ども文化演習B 2D426
	音楽 I 1D410		音楽Ⅱ	ピアノI	ピアノⅡ
	図画工作				
	3D609 ナチュラルアート			3D609	,
	1D411		3D610	ナチュラルアート	3D610
	幼児体育 3D606		ダンスムーブメント	3D606	ダンスムーブメント
	3D000 アウトドア演習A			プロの6 アウトドア演習A	2D607 アウトドア演習B
					2D103
					<u>体育実技</u> 2D102
	10001		1D414	00005	体育講義
	1D304 子どもの保健		1D414 子どもの健康と安全	2D305 子どもの食と栄養	2D605 乳児小児救命法
	1D403		1D418		
	<u>保育内容健康</u> 1D404	1	<u>保育内容健康の指導法</u> 1D419		
	保育内容人間関係	保証	育内容人間関係の指導法		
	1D405 保育内容環境			2D420 保育内容環境の指導法	2D402 保育内容総論
	1D406		1D421		
	保育内容言葉	1	<u>保育内容言葉の指導法</u> 1D407	2D422	
			保育内容表現	保育内容表現の指導法	
			1D501 教育方法·技術論	2D401 保育·教育課程論	
			3D503	P1-12 22412 IP1-125 IIII	3D503
	1D201		ICT教育の理論と方法	1	ICT教育の理論と方法 2D207
	保育原理				保育·教職論
					2D202 教育原理
			1D203	2D204	2/ U //\-
			<u>子ども家庭福祉</u> 1D206	社会福祉 2D416	
			社会的養護 I	社会的養護Ⅱ	
		1	1D208 レクルーシブ教育・保育 I	2D415 インクルーシブ教育・保育 II	
	1D205	1-	7,7 7770日 休日 1	2D417	2D302
	<u>子ども家庭支援論</u> 1D301			保育・教育相談の理論と方法 2D303	子ども家庭支援の心理学
	保育の心理学			子どもの理解と援助	
			1D412 乳児保育 I	2D413 乳児保育Ⅱ	
			3D427	TUJU IA H II	3D427
			SDGsと教育・保育 3D428		SDGsと教育・保育 3D428
		ダ	イバーシティと教育・保育		ダイバーシティと教育・保育
					2D104 保育英会話
	1D106				<b>休日天五</b> 帕
	コンピュータ演習			2D101	,
				日本国憲法	
			3D105 生命倫理		3D105 生命倫理
	1D701		生命倫理 1D702	2D703	生命倫理 2D502
	実習指導I		実習指導 Ⅱ	実習指導Ⅲ 2D709	保育·教職実践演習(幼稚園
		保育実践	1D706 教育実習 I	2D709 教育実習 II	
		ボランティア	1D704	2D707	
			<u>保育実習 I</u> 1D705	保育実習Ⅱ 2D708	

○アルファベットは学科の記号、アルファベットの前の数字は配当年次(3:1・2年生どちらの学年も可、4:入学前「僕育入門」)、下3桁は系統(系列)番号、下1・2桁は科目番号を示す。 ○保育体験 I は幼稚園・保育所の協力を得て行うふれあい体験活動、II は幼稚園・保育所見学、III は施設見学を示す。保育体験IVは1・2年生全員が参加するボランティア活動を示す。

# 令和7年度 実務教員科目一覧

R7.4.1

系統(系列)	授業科目名	単位数
	キャリアアップセミナー I	1
教養科目	キャリアアップセミナーⅡ	1
<b>教食料日</b> 	キャリアアップセミナーⅢ	1
	キャリアアップセミナーIV	1
	保育原理	2
	教育原理	2
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2
保育の内容・方法に関する科目	保育内容総論	2
教職に関する科目	保育·教職実践演習(幼稚園)	2
	子ども学演習 I	1
収容者の姿質を言めて利用	子ども学演習Ⅱ	1
休月白の貝貝を向める村日 	子ども学ゼミナール Ι	1
	子ども学ゼミナールⅡ	1
	実習指導I	1
保育の内容・方法に関する科目教職に関する科目保育者の資質を高める科目	実習指導Ⅱ	2
	実習指導Ⅲ	1
	保育実習I	2
実習科目	施設実習I	2
	教育実習Ⅰ	2
	保育実習Ⅱ	2
	施設実習Ⅱ	2
	教育実習Ⅱ	3
単位数 合計		35

## 令和7年度 実務教員の略歴

R7.4.1

	·-	R7.4.1
教員名	略歴	担当科目
相沢 和恵	昭和52年より東京都区立の幼稚園で幼稚園教諭として勤務。 平成19年から都内保育所にて常勤保育士として勤務、その後派遣 保育士、非常勤保育士として勤務。平成26年短期大学・専門学校 の非常勤・専任を経て現在に至る。	保育内容総論 子ども学ゼミナール I 実習指導 I 実習指導 I 実習指導Ⅲ
伊藤 えつ子	昭和56年より埼玉県立高等学校の教諭として勤務。 平成2年より養護学校教諭、平成15年より特別支援学校の教諭。 平成16年より埼玉県教育局指導部体育課、平成18年より埼玉県 教育局県立学校部保健体育課の指導主事の後、特別支援学校の教 頭や校長、県立高校の校長を経て現在に至る。	キャリアアップセミナー I キャリアアップセミナー I キャリアアップセミナー I 子ども学演習 I 子ども学演習 I 子ども学せミナール I
宇田川 和久	昭和58年より埼玉県立養護学校の教員として勤務。 平成18年から養護学校の開設準備委員、開設準備副委員長、埼玉 県立総合教育センター、埼玉県教育局で勤務の後、平成29年埼玉 県立特別支援学校校長を経て現在に至る。	教育原理 子ども学ゼミナールⅡ 実習指導 I 実習指導Ⅲ 実習指導Ⅲ
髙後 仁	昭和60年よりさいたま市立(大宮市立)小学校の教員として勤務。 平成17年~19年、平成22年にさいたま市教教育委員会で勤務 の後、さいたま市立舘岩少年自然の家所長、さいたま市立小学校 の校長を経て現在に至る。	教育原理 保育・教職実践演習(幼稚園) 子ども学ゼミナール I
酒井 誠	平成24年より千葉県の私立高等学校の非常勤講師として勤務。 平成25年より東京都の国立大学にて教育研究助手として勤務の 後、平成28年より埼玉県の私立小学校非常勤講師、平成30年よ り東京都の私立大学非常勤講師を経て現在に至る。	キャリアアップセミナーⅢ キャリアアップセミナーⅣ 保育・教職実践演習(幼稚園) 子ども学ゼミナールⅠ
巣立 佳宏	平成23年より子育て支援センターの保育士として勤務。また、児童養護施設にて心理士、小学校(群馬県)の学校カウンセラー、鴻巣市教育支援センターで埼玉県スクールソーシャルワーカーとして勤務の後、現在に至る。	保育の心理学 キャリアアップセミナーIII キャリアアップセミナーIV 子ども学ゼミナールII 実習指導 I 実習指導II 実習指導II
橋本 淳一	平成3年より東京都社会福祉協議会東京ボランティアセンター専門員として勤務。 昭和63年より看護専門学校の非常勤講師、保育専門学校の講師、短期大学・大学での非常勤講師を経て現在に至る。	キャリアアップセミナー I キャリアアップセミナー II 保育・教職実践演習(幼稚園) 子ども学演習 I 子ども学演習 I 子ども学でミナール I 実習指導 I 実習指導 I 実習指導 II
室井佑美	平成17年より東京都区立の障害保健福祉センター子ども療育事業で保育士として勤務の後、平成18年より病院内の医事課連携相談室で社会福祉士として勤務。 平成19年からは大学にて助教(実習担当)、専門学校での専任講師および非常勤講師、病院内で非常勤保育士として勤務を経て現在に至る。	キャリアアップセミナーⅢ キャリアアップセミナーⅣ 子ども学ゼミナール I 実習指導 I 実習指導Ⅲ 実習指導Ⅲ

# 山村学園短期大学

〒350-0396 埼玉県比企郡鳩山町石坂604

[TEL] 049-296-2000

[FAX] 049-096-4880